



平成30年度 小山町町民意識調査 分析結果まとめ

- 調査方法 : 往復郵便・留置記入方式
(質問と回答が一体となったアンケート用紙に回答を直接記入し、その用紙を返信用封筒でそのまま返信していただく調査方法)
- 調査対象 : 町内在住20歳以上の男女
(町内5地域よりバランスよく無作為抽出)
- 配布票数 : 1,500票
- 調査期間 : 平成30年7月2日 ~ 平成30年7月20日
- 回収結果 : 回収票数520通 ※回収率 34.6%

平成30年8月

目次

ページ

・基本事項集計結果（問1～問5）	1
・後期基本計画の目標（指標）に関する結果一覧表	2
・問6「あなたは今後とも小山町に住み続けたいと思いますか」	3
・問7「あなたは町の施策全般について、どの程度満足していますか」	4
・問8－（1）「自然環境が保全されている」	5
・問8－（2）「清らかで豊かな水資源が守られている」	6
・問8－（3）「ごみの減量化や資源化が進んでいる」	7
・問8－（4）「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした 美しいまちづくりができています」	8
・問8－（5）「安全な水道水が安定供給されている」	9
・問8－（6）「汚水（下水）が適切に処理されている」	10
・問8－（7）「計画的な土地利用が行われている」	11
・問8－（8）「道路網が便利で快適である」	12
・問8－（9）「小山町は快適な公共交通の整備に取り組んでいる」	13
・問8－（10）「誰もが住みやすい住環境が整っている」	14
・問8－（11）「公園・緑地が確保されている」	15
・問8－（12）「町民が地域で互いに支え合って暮らしている」	16
・問8－（13）「みんなが主体的に健康づくりに取り組んでいる」	17
・問8－（14）「必要な時に適切な医療が受けられる」	18
・問8－（15）「地域（近所）において、自身や家族の悩み事などを 真剣に相談できる人間関係が構築されている」	19
・問8－（16）「高齢者が自立していきいきと暮らしている」	20
・問8－（17）「介護が必要な状態になった場合、 適切な公的サービスを受けることができる」	21
・問8－（18）「障がいのある人が社会参加し、自立している」	22
・問8－（19）「安心して子どもを産み育てる環境が整っている」	23
・問8－（20）「地域に安心できる防災の仕組みがある」	24

・問 8－(2 1)「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」…	2 5
・問 8－(2 2)「消防・救急体制が整っている」…	2 6
・問 8－(2 3)「消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる」…	2 7
・問 8－(2 4)「生涯学習活動の機会や場が充実している」…	2 8
・問 8－(2 5)「図書館が便利で使いやすい」…	2 9
・問 8－(2 6)「伝統文化や郷土を大切にしている」…	3 0
・問 8－(2 7)「次世代を担う子どもたちが健やかに成長している」…	3 1
・問 8－(2 8)「みんなが気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」…	3 2
・問 8－(2 9)「生きる力を育む学校教育が行われている」…	3 3
・問 8－(3 0)「子どもの教育について、 学校・家庭・地域の連携が取れている」…	3 4
・問 8－(3 1)「地域間交流や国際交流が活発に行われている」…	3 5
・問 8－(3 2)「普段の生活の中で、男女が平等である」…	3 6
・問 8－(3 3)「企業誘致を活発に進めている」…	3 7
・問 8－(3 4)「小山町が“農業”の活性化に取り組んでいる」…	3 8
・問 8－(3 5)「小山町が“林業”の活性化に取り組んでいる」…	3 9
・問 8－(3 6)「町内の観光施設等で外国語表記が充実している」…	4 0
・問 8－(3 7)「“金太郎生誕の地おやま”の PR が行われている」…	4 1
・問 8－(3 8)「富士山須走口について情報発信が行われている」…	4 2
・問 8－(3 9)「賑わいのある商業地づくりを行っている」…	4 3
・問 8－(4 0)「周辺市町村との連携が進んでいる」…	4 4
・問 8－(4 1)「町の財政運営が健全である」…	4 5
・問 8－(4 2)「町民のための行政運営が行われている」…	4 6
・問 8－(4 3)「地域コミュニティが活発である」…	4 7
・問 8－(4 4)「町民が参加してまちづくりを進めている」…	4 8
・問 8－(4 5)「役場からの必要な情報が伝わっている」…	4 9

◆◆◆◆◆ 基本事項集計結果 ◆◆◆◆◆

問1 あなたの性別は。

男性：250人 (48.1%) 女性：266人 (51.1%) 無回答：4人 (0.8%)

問2 あなたの年齢は。

20代：36人 (6.9%) 50代：91人 (17.5%) 80代：3人 (0.6%)
30代：50人 (9.6%) 60代：138人 (26.5%) 無回答：3人 (0.6%)
40代：72人 (13.9%) 70代：127人 (24.4%)

問3 あなたのお住いの地区はどこですか。

成美地区：111人 (21.3%) 北郷地区：176人 (33.8%)
明倫地区：71人 (13.7%) 須走地区：101人 (19.4%)
足柄地区：57人 (11.0%) 無回答：4人 (0.8%)

問4 あなたは現在結婚されていますか。

結婚している（事実婚を含む）：405人 (77.9%)
結婚していない：67人 (12.9%)
結婚していたが、離婚・死別した：44人 (8.4%) 無回答：4人 (0.8%)

問5 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。（別居を含む）

子どもがいる：410人 (78.8%)
子どもはいない：105人 (20.2%) 無回答：5人 (1.0%)

※各項目の分析について

問6以降の結果については、全体・地区別・男女（年齢）別に分析をしました。なお分析は、第4次小山町総合計画後期基本計画の目標（指標）に関するもの（次頁参照）のみとしています。

今回、同時に調査を行った「まちづくりについて」「総合政策の『重点施策』について」「男女共同参画について」「健康・子育て・保健事業について」「町の公共交通について」の結果につきましては、それぞれの所管課において、事業立案や各種計画の策定に活用されます。

担当・問合せ：小山町 町長戦略課

76-6133

後期基本計画の目標(指標)に関する結果一覧表

後期基本計画の施策(ナンバーとタイトル)	アンケートNo.	町民アンケートによる目標(指標)	H28(前々回)	H29(前回)	H30(今回)	前回との比較	H31(目標)
1-1 恵まれた環境の保全	問8-(1)	「自然環境が保全されている」と回答する町民の割合	70%	68%	66%	↓	80%
1-2 清らかで豊かな水資源の保全と活用	問8-(2)	「清らかで豊かな水資源が守られている」と回答する町民の割合	84%	80%	80%	→	90%
1-3 ごみの減量化と適切な処理	問8-(3)	「ごみの減量化や資源化が進んでいる」と回答する町民の割合	61%	60%	58%	↓	70%
1-4 人と自然が調和する景観の形成と環境美化の推進	問8-(4)	「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しいまちづくりができている」と回答する町民の割合	48%	51%	52%	↑	70%
1-5 安全な水の安定供給	問8-(5)	「安全な水道水が安定供給されている」と回答する町民の割合	94%	93%	91%	↓	95%
1-6 適切な汚水処理の推進	問8-(6)	「汚水(下水)が適切に処理されている」と回答する町民の割合	62%	59%	63%	↑	70%
1-7 活力ある土地利用の推進	問8-(7)	「計画的な土地利用が行われている」と回答する町民の割合	32%	30%	34%	↑	50%
1-8 便利で快適な道路網の整備	問8-(8)	「道路網が便利で快適である」と回答する町民の割合	31%	33%	30%	↓	50%
1-9 公共交通の活性化	問8-(9)	町が「快適な公共交通の整備に取り組んでいる」と回答する町民の割合	26%	25%	27%	↑	50%
1-10 良好な住環境の実現	問8-(10)	「誰もが住みやすい住環境が整っている」と回答する町民の割合	25%	22%	24%	↑	50%
1-11 公園・緑地整備の推進	問8-(11)	「公園・緑地が確保されている」と回答する町民の割合	41%	38%	39%	↑	50%
2-1 地域で支え合う福祉の推進	問8-(12)	「町民が地域で互いに支え合って暮らしている」と回答する町民の割合	51%	52%	53%	↑	65%
2-2 町民主体の健康づくりと地域医療の推進	問8-(13)	「みんなが主体的に健康づくりに取り組んでいる」と回答する町民の割合	40%	37%	42%	↑	50%
2-2 町民主体の健康づくりと地域医療の推進	問8-(14)	「必要な時に適切な医療が受けられる」と回答する町民の割合	46%	44%	45%	↑	60%
2-2 町民主体の健康づくりと地域医療の推進(参考)	問8-(15)	「地域(近所)において、自身や家族の悩み事などを真剣に相談できる人間関係が構築されている」と回答する町民の割合	25%	27%	28%	↑	-
2-3 高齢者福祉の推進	問8-(16)	「高齢者が自立していきいきと暮らしている」と回答する町民の割合	34%	37%	37%	→	50%
2-4 介護予防事業と介護給付事業の充実	問8-(17)	「介護が必要な状態になった場合、適切な公的サービスを受けることができる」と回答する町民の割合	38%	40%	43%	↑	50%
2-5 障がい者福祉の充実	問8-(18)	「障がいのある人が社会参加し、自立している」と回答する町民の割合	27%	25%	27%	↑	50%
2-6 子ども・子育て支援の充実	問8-(19)	「安心して子どもを育てる環境が整っている」と回答する町民の割合	44%	43%	48%	↑	50%
2-7 災害に強いまちづくり	問8-(20)	「地域に安心できる防災の仕組みがある」と回答する町民の割合	53%	50%	48%	↓	60%
2-8 交通事故・犯罪のないまちづくり	問8-(21)	「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」と回答する町民の割合	71%	71%	72%	↑	80%
2-9 消防・救急対策の推進	問8-(22)	「消防・救急体制が整っている」と回答する町民の割合	77%	77%	75%	↓	80%
2-10 消費者教育の推進	問8-(23)	「消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる」と回答する町民の割合	69%	69%	71%	↑	80%
3-1 心豊かな生涯学習の推進	問8-(24)	「生涯学習活動の機会や場が充実している」と回答する町民の割合	49%	48%	53%	↑	50%
3-1 心豊かな生涯学習の推進	問8-(25)	「図書館が便利で使いやすい」と回答する町民の割合	42%	43%	46%	↑	50%
3-2 地域文化の振興と健全な青少年の育成	問8-(26)	「伝統文化や郷土を大切にしている」と回答する町民の割合	54%	54%	57%	↑	70%
3-2 地域文化の振興と健全な青少年の育成	問8-(27)	「次世代を担う子どもたちが健やかに成長している」と回答する町民の割合	65%	65%	63%	↓	70%
3-3 スポーツ・レクリエーション活動の振興	問8-(28)	「みんなが気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」と回答する町民の割合	43%	40%	41%	↑	50%
3-4 生きる力を育む学校教育の充実	問8-(29)	「生きる力を育む学校教育が行われている」と回答する町民の割合	44%	45%	48%	↑	50%
3-4 生きる力を育む学校教育の充実	問8-(30)	「子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携が取れている」と回答する町民の割合	47%	49%	51%	↑	55%
3-5 地域間交流・国際交流の推進	問8-(31)	「地域間交流や国際交流が活発に行われている」と回答する町民の割合	33%	37%	37%	→	50%
3-6 誰もが活躍できる男女共同参画の推進	問8-(32)	「普段の生活の中で、男女が平等である」と回答する町民の割合	46%	42%	43%	↑	55%
3-7 三来拠点事業の推進	問8-(33)	「企業誘致を活発に進めている」と回答する町民の割合	42%	48%	55%	↑	50%
3-8 活気ある農業の振興	問8-(34)	「小山町が“農業”の活性化に取り組んでいる」と回答する町民の割合(H27の数値は参考値)	35%	37%	39%	↑	50%
3-9 適切な森林整備を通じた林業の活性化	問8-(35)	「小山町が“林業”の活性化に取り組んでいる」と回答する町民の割合(H27の数値は参考値)	25%	27%	27%	→	50%
3-10 人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興(参考)	問8-(36)	「町内の観光施設等で外国語表記が充実している」と回答する町民の割合	20%	20%	19%	↓	-
3-10 人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興(参考)	問8-(37)	「“金太郎生誕の地おやま”のPRが行われている」と回答する町民の割合	47%	51%	53%	↑	-
3-10 人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興(参考)	問8-(38)	「富士山須走口について情報発信が行われている」と回答する町民の割合	32%	30%	35%	↑	-
3-11 賑わいと活気があふれる商工業の振興	問8-(39)	「賑わいのある商業地づくりを行っている」と回答する町民の割合	9%	11%	11%	→	50%
3-12 定住・移住の促進と婚活支援		— (総合戦略に掲げる指標のみで、町民アンケートによる指標はなし)					
4-1 広域連携の推進	問8-(40)	「周辺市町村との連携が進んでいる」と回答する町民の割合	26%	26%	28%	↑	50%
4-2 健全な財政運営の確立	問8-(41)	「町の財政運営が健全である」と回答する町民の割合	29%	28%	31%	↑	50%
4-3 効率的な行政運営の推進	問8-(42)	「町民のための行政運営が行われている」と回答する町民の割合	35%	32%	33%	↑	50%
4-4 参加と協働によるまちづくり	問8-(43)	「地域コミュニティが活発である」と回答する町民の割合	33%	33%	33%	→	50%
4-4 参加と協働によるまちづくり	問8-(44)	「町民が参加してまちづくりを進めている」と回答する町民の割合	29%	28%	30%	↑	50%
4-4 参加と協働によるまちづくり	問8-(45)	「役場からの必要な情報が伝わっている」と回答する町民の割合	53%	50%	47%	↓	70%

●アンケート実施期間：平成30年7月2日～平成30年7月20日

●アンケート発送数：1,500通 ⇒ 回収数：520通(最終便の到達は7月20日) ⇒ 回収率：34.6%

(参考・・・昨年度回収票数：577通 昨年度回収率：38.5%)

●前回よりも評価が上がったもの(↑)：30件

横ばいなもの(→)：6件

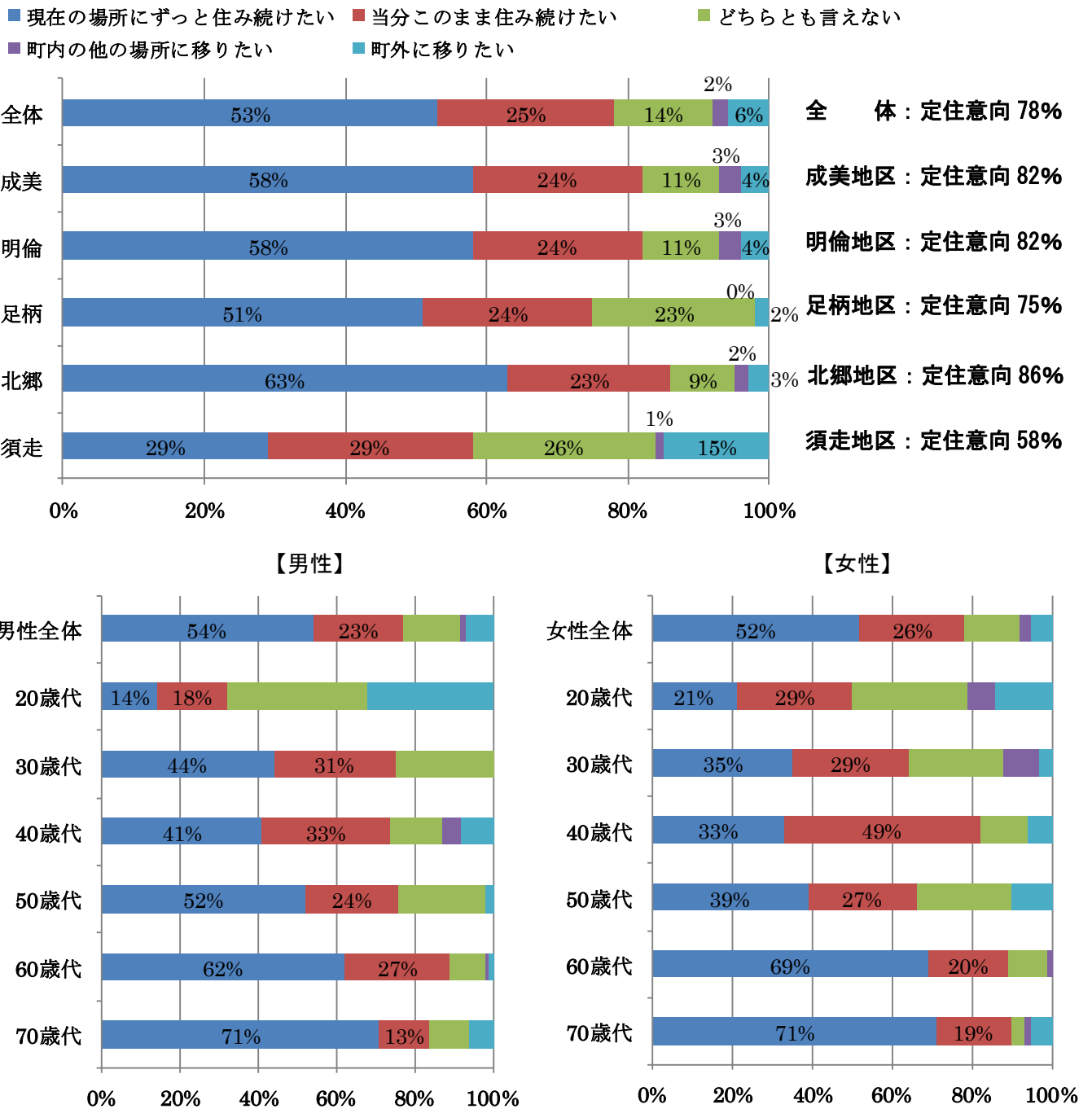
下がったもの(↓)：9件

問6 「あなたは今後とも小山町に住み続けたいと思いますか」

今回の調査で、「現在の場所にずっと住み続けたい」及び「当分このまま住み続けたい」と回答した町民の割合を、「今後とも小山町に住み続けたい」という「定住意向」がある人の割合とします。

定住意向がある人の割合 ⇒ 78%

上記の値は、前回の77%から今回の78%に1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



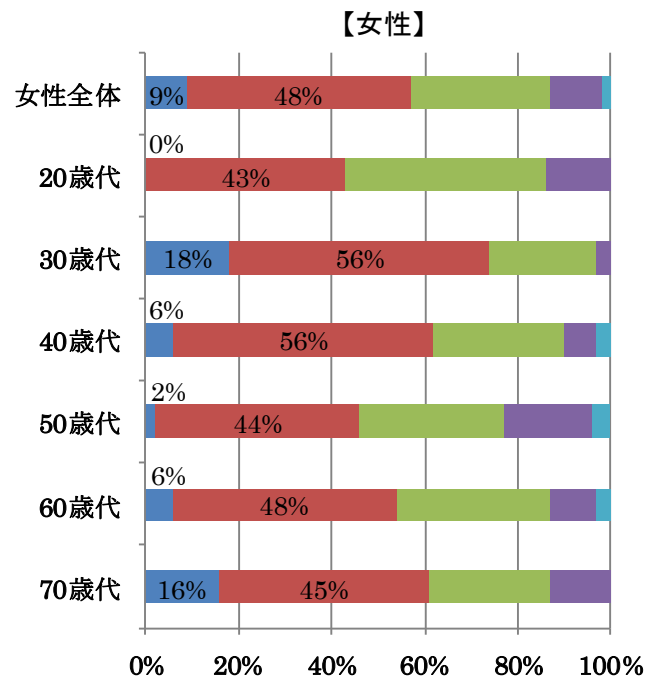
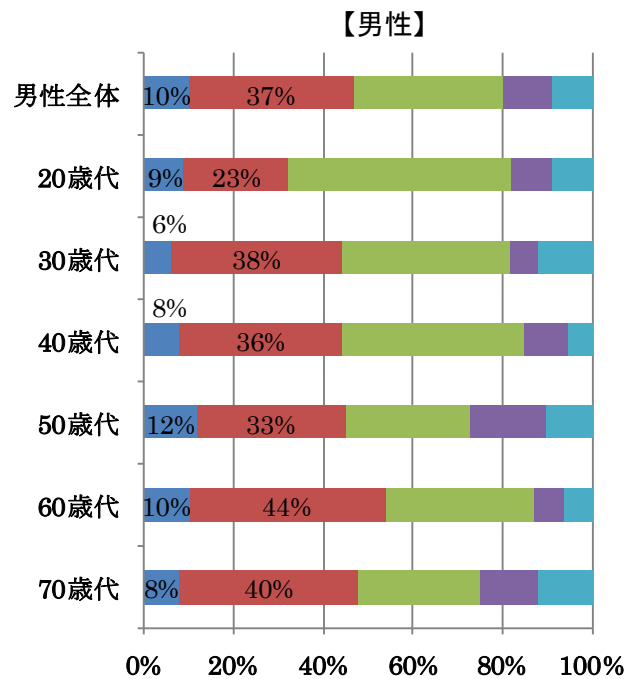
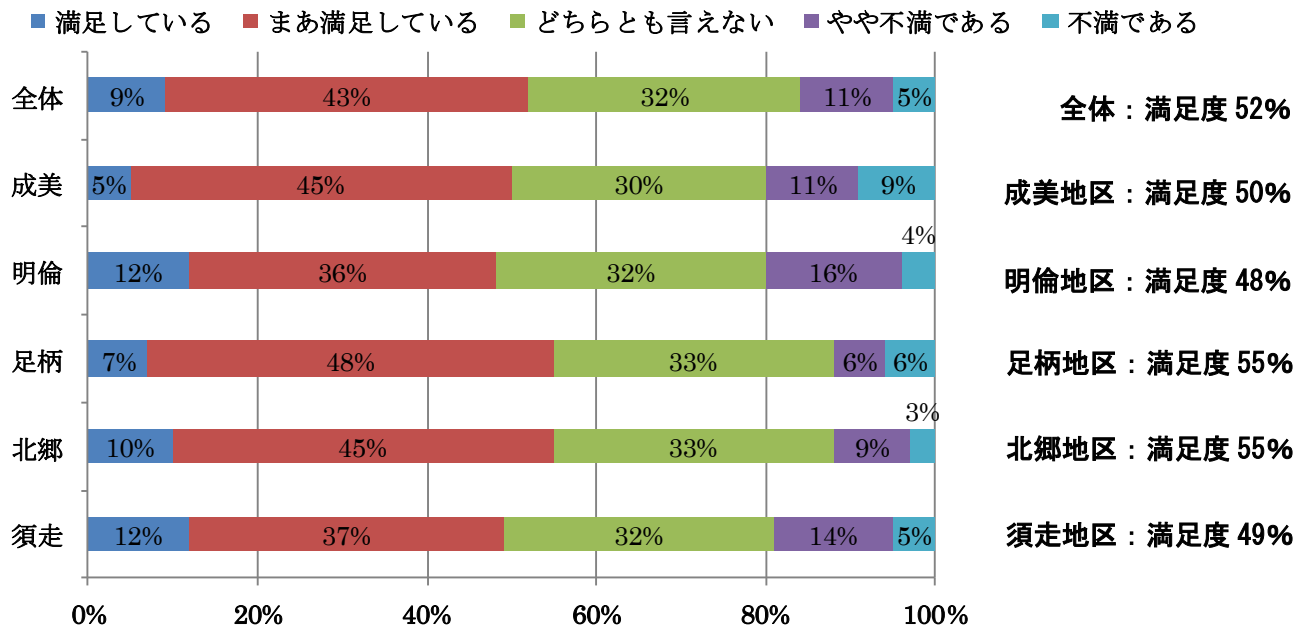
地区別の比較においては、須走を除く4地区での定住意向は高い傾向にあり、特に北郷地区の定住意向は非常に高いと言えます。男女（年齢）別の比較では、男女ともに年齢を重ねるごとに定住意向が高まる傾向にあります。しかし、男女ともに若者（特に20歳代）の定住意向は、非常に低い結果となっています。

問7 「あなたは、町の施策全体について、どの程度満足していますか。」

今回の調査で、「満足している」及び「まあ満足している」と回答した町民の割合を、町の施策全般に満足している人の割合とします。

町の施策全般に満足している人の割合 ⇒ 52%

上記の値は、前回調査時と同様の52%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



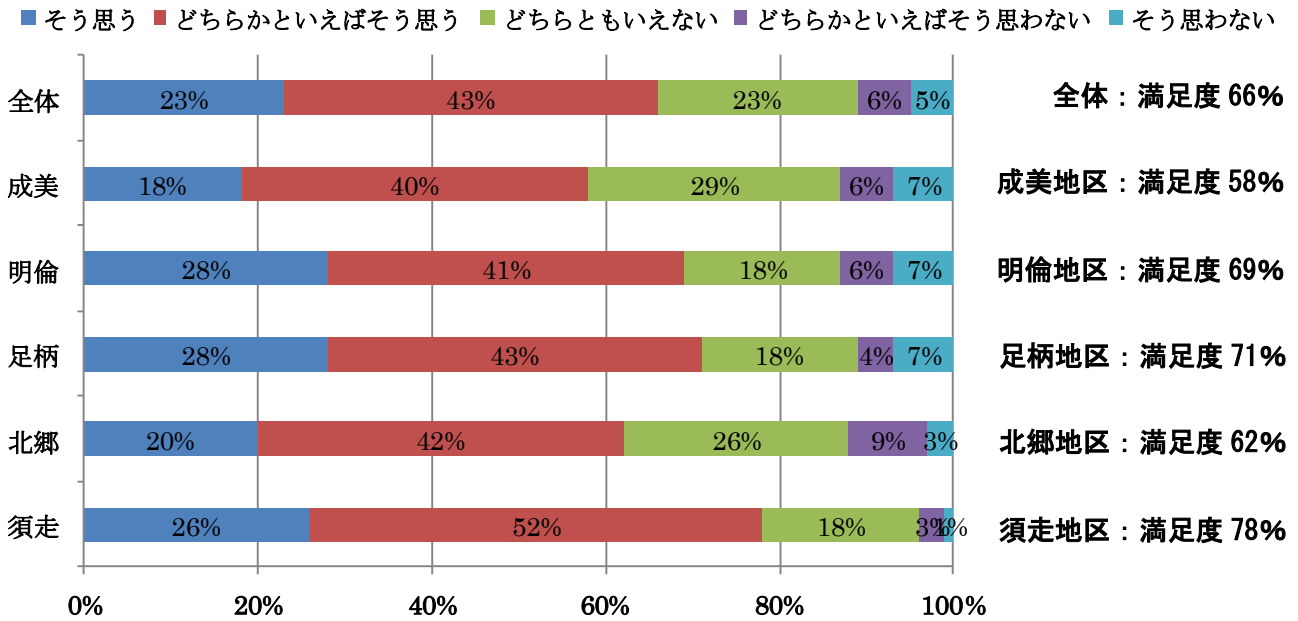
地区別で比較すると、明倫地区と須走地区の満足度が低く、足柄地区と北郷地区の満足度が高いといえます。また、男女別の比較では、女性の満足度が男性に比べて高い傾向にあります。年齢別では男女ともに20歳代の満足度が非常に低く、60歳代男性、30歳代女性の満足度が高い傾向にあります。

【※問8の全ての質問において、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合を、『町民の満足度』としています。】

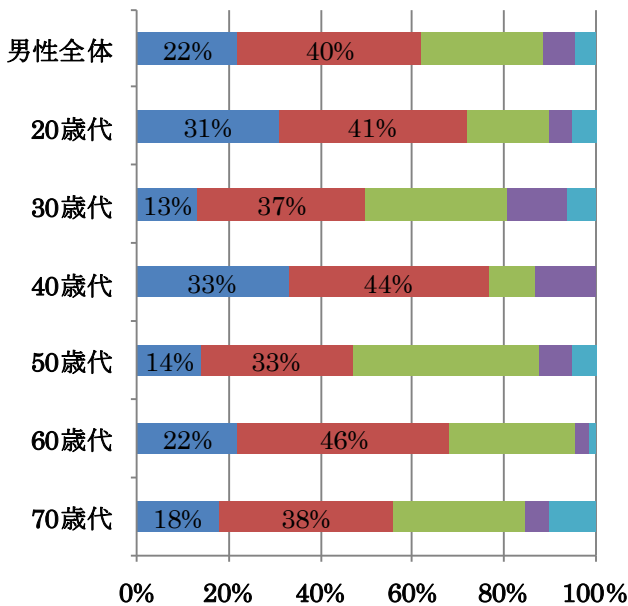
問8－（1） 「自然環境が保全されている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 66%

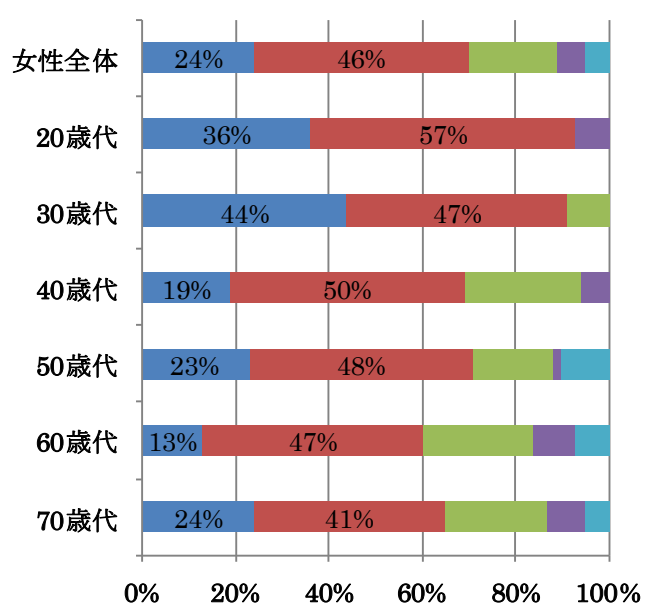
上記の値は、前回の68%から今回の66%に2%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

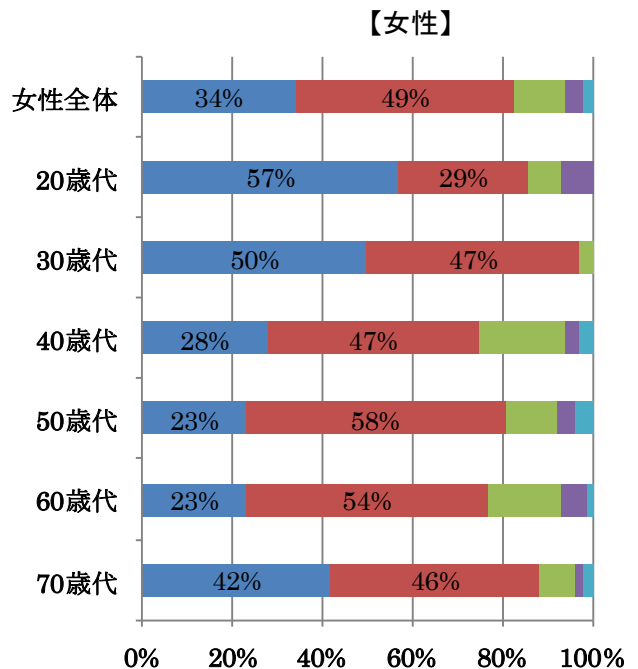
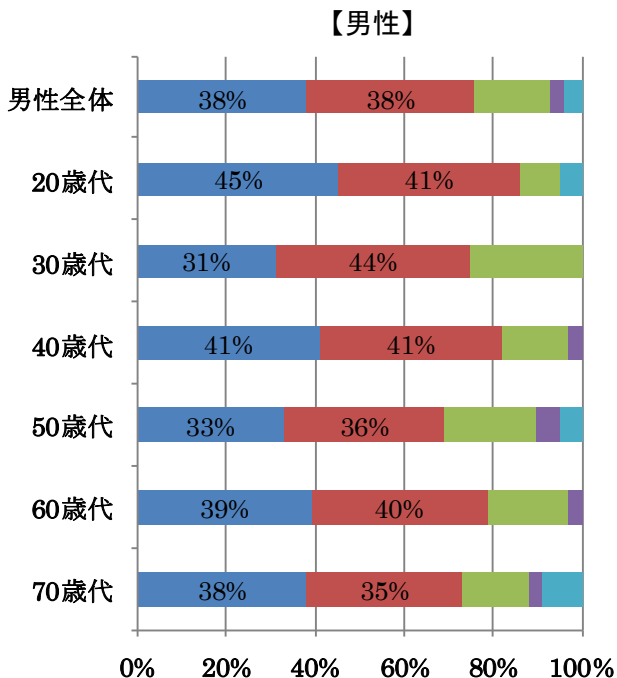
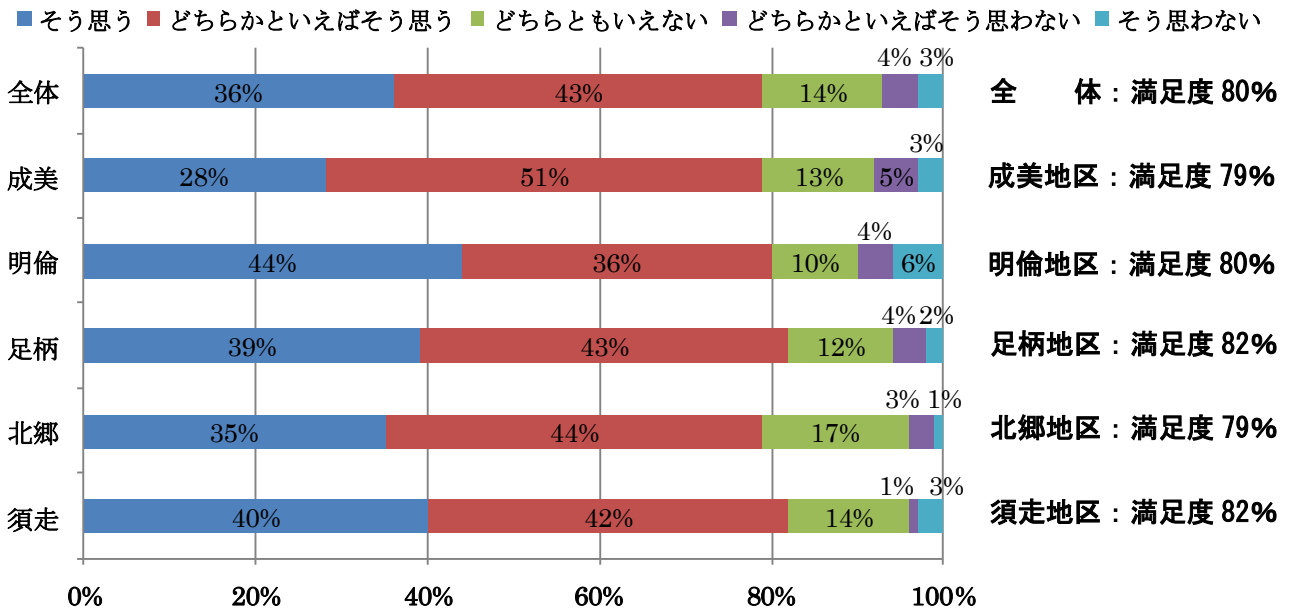


地区別の比較では、須走の満足度が高く、成美と北郷が低い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性は30歳代と50歳代の満足度が低いという結果になっています。女性は20歳代と30歳代といった若い世代の満足度が非常に高く、逆に高齢者世代（特に60歳代）の満足度が低いという結果になっています。

問8－(2) 「清らかで豊かな水資源が守られている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 80%

上記の値は、前回調査時と同様の80%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

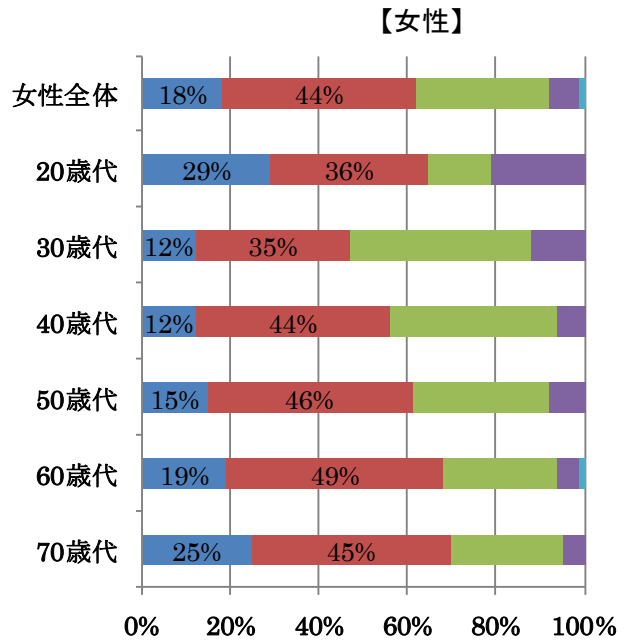
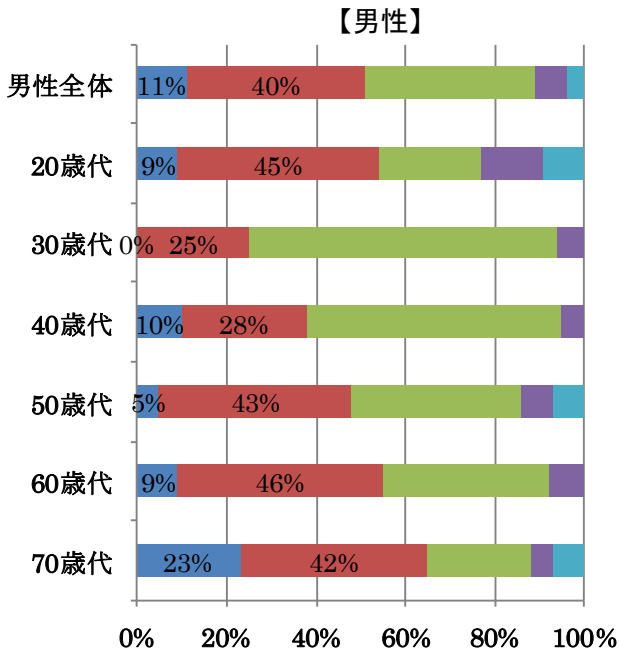
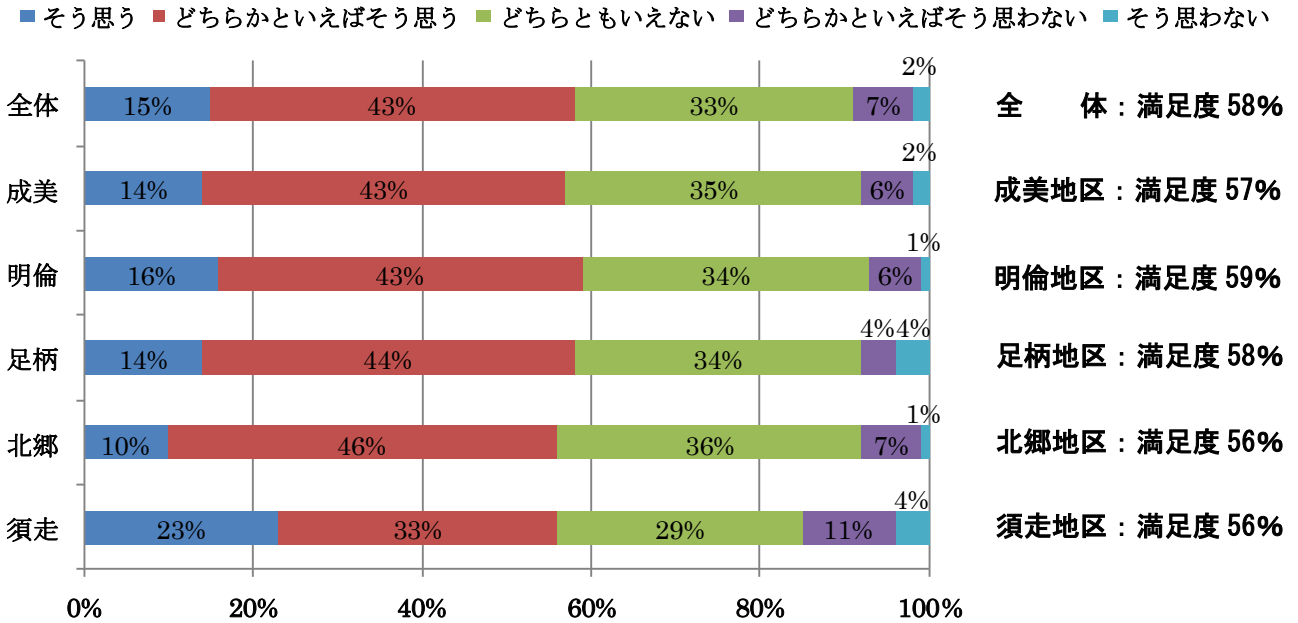


地区別の比較では、全体的に高い満足度となっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性のほうが満足度が高い傾向にあります。特に男女ともに20歳代の満足度が高くなっています。30歳代と70歳代については、男性では男性全体より満足度が低いのにに対して、女性では女性全体よりも高い傾向にあり、男女で差が大きくなっています。

問 8 - (3) 「ごみの減量化や資源化が進んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 58%

上記の値は、前回の60%から今回の58%に2%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

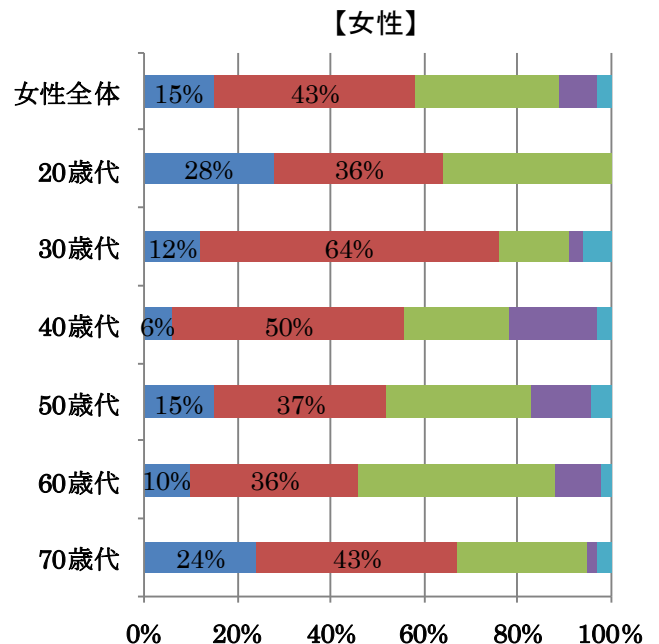
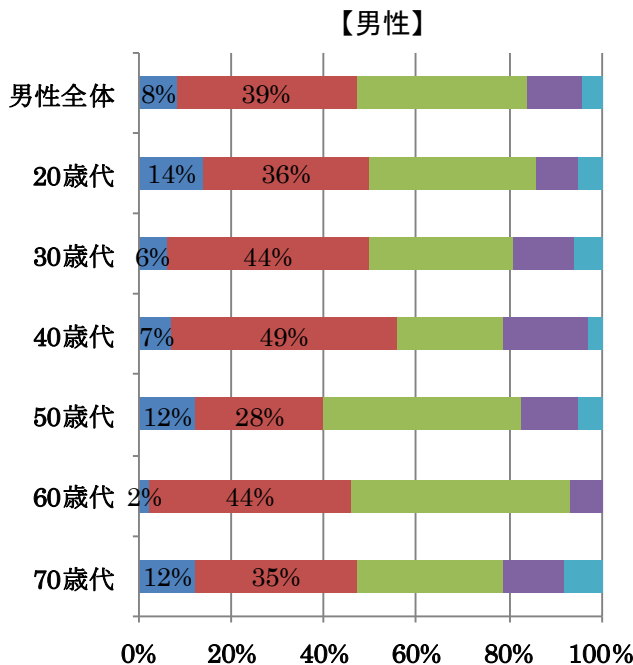
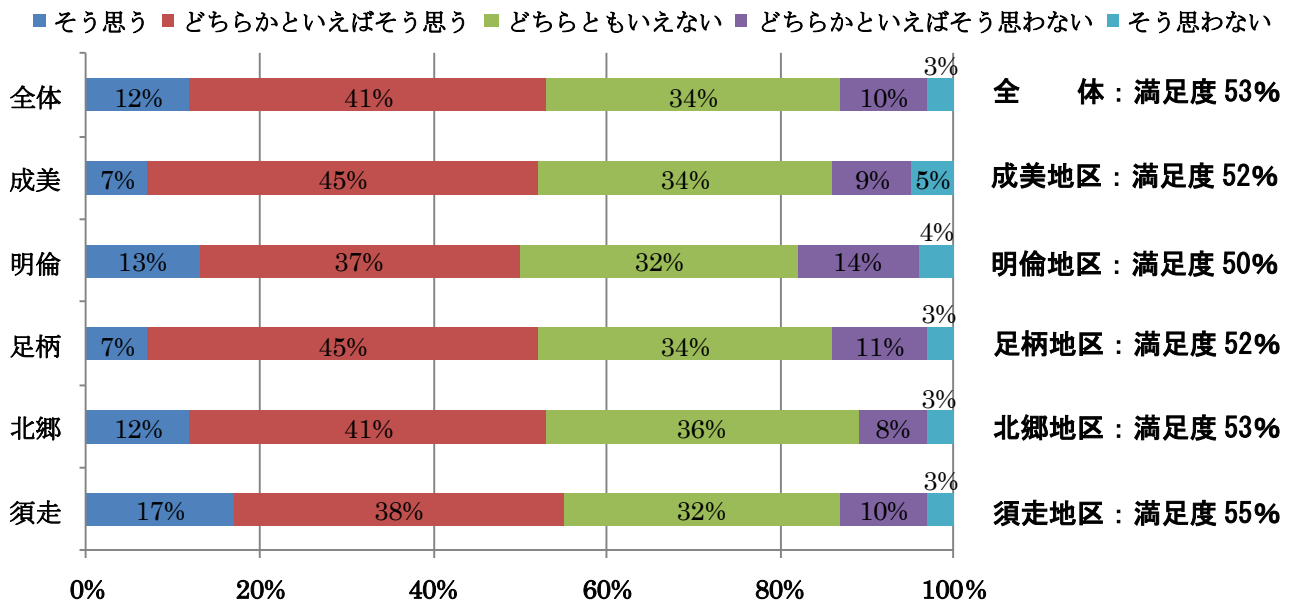


地区別の比較では、どの地区もおおむね58%前後の満足度となっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度が高い傾向にあります。また、男女ともに、20歳代の満足度が高い傾向にあり、30歳代が最も満足度が低く、それ以降は年齢が上がるほど満足度が高い傾向にあります。

問8－(4) 「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かしたまちづくりができています」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 53%

上記の値は、前回の51%から今回の53%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

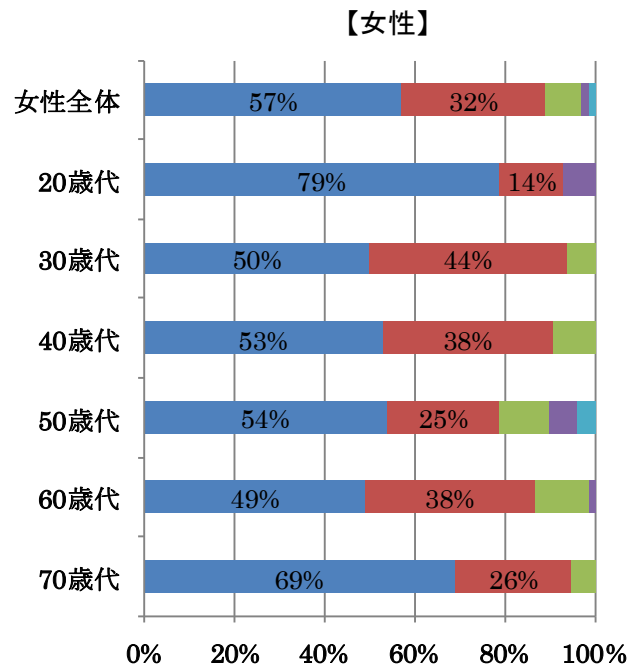
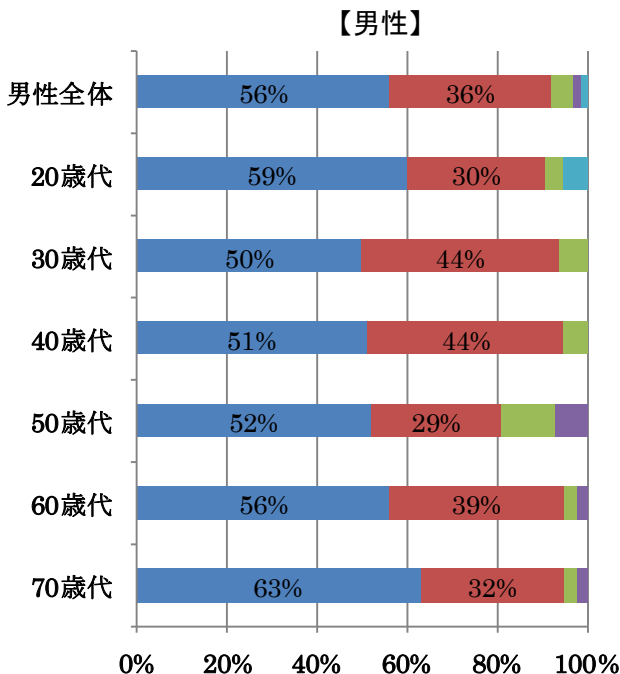
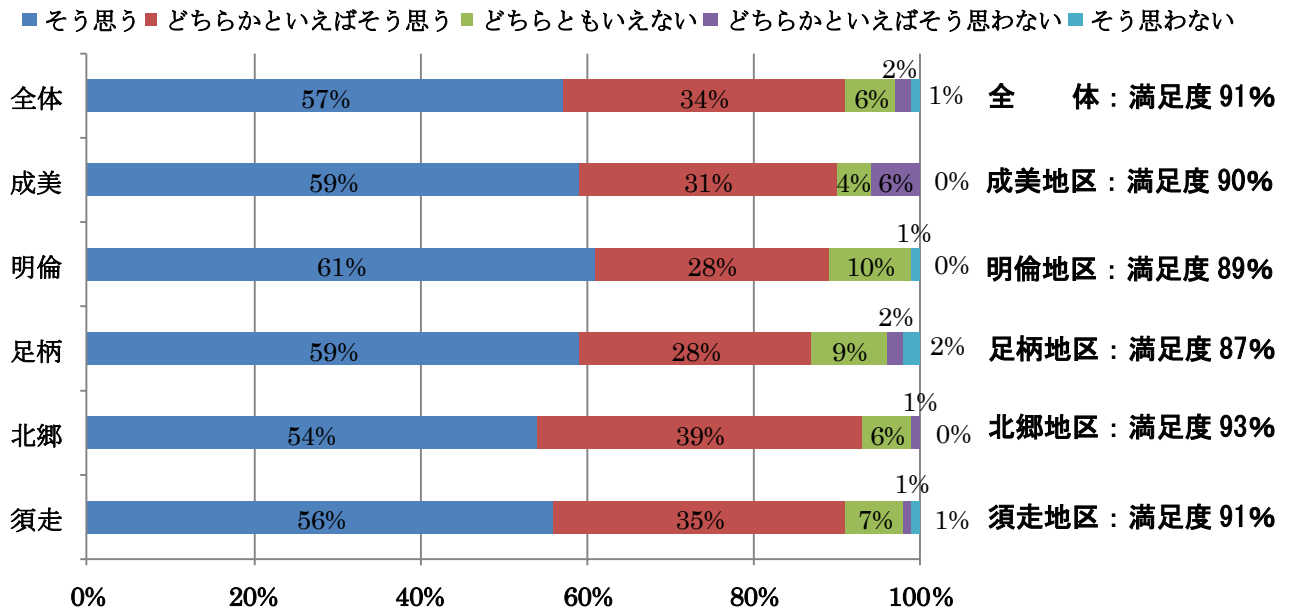


地区別の比較では、概ね53%前後の満足度となっています。男女（年齢）別の比較では、男性より女性の方が満足度が高い傾向にあります。年齢別ではばらつきがありますが、男性では50歳代、女性では60歳代の満足度が低くなっています。また、女性の30歳代の満足度がかなり高くなっています。

問8－(5) 「安全な水道水が安定供給されている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **91%**

上記の値は、前回の93%から今回の91%に2%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

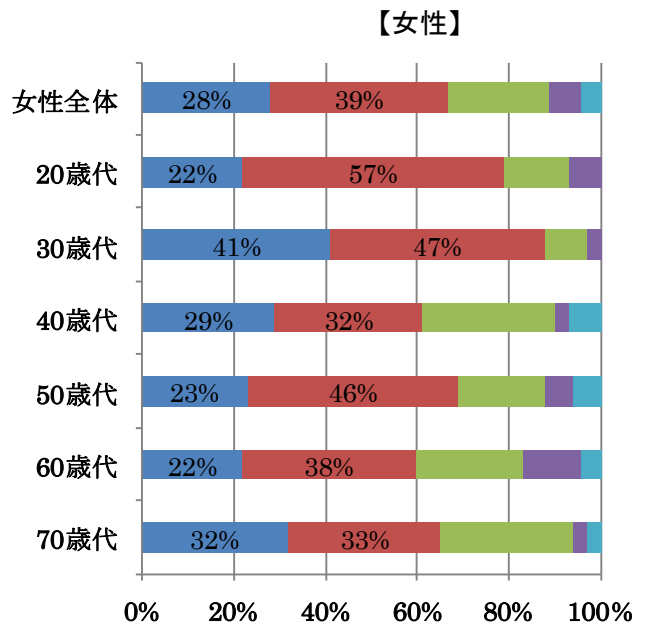
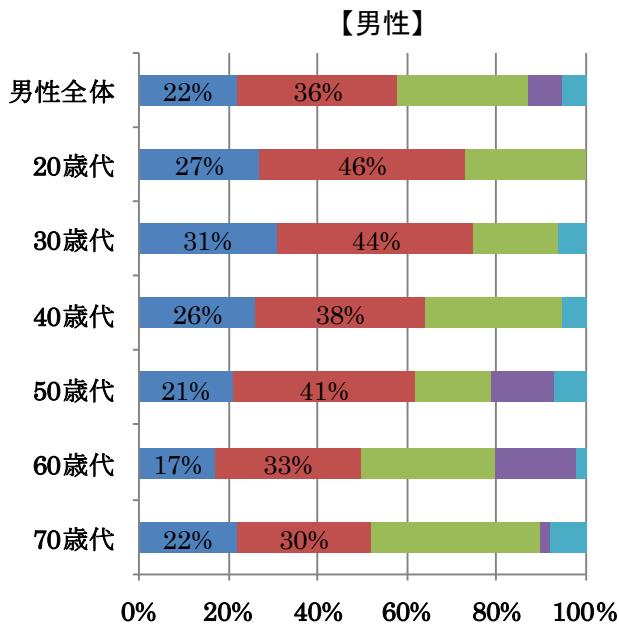
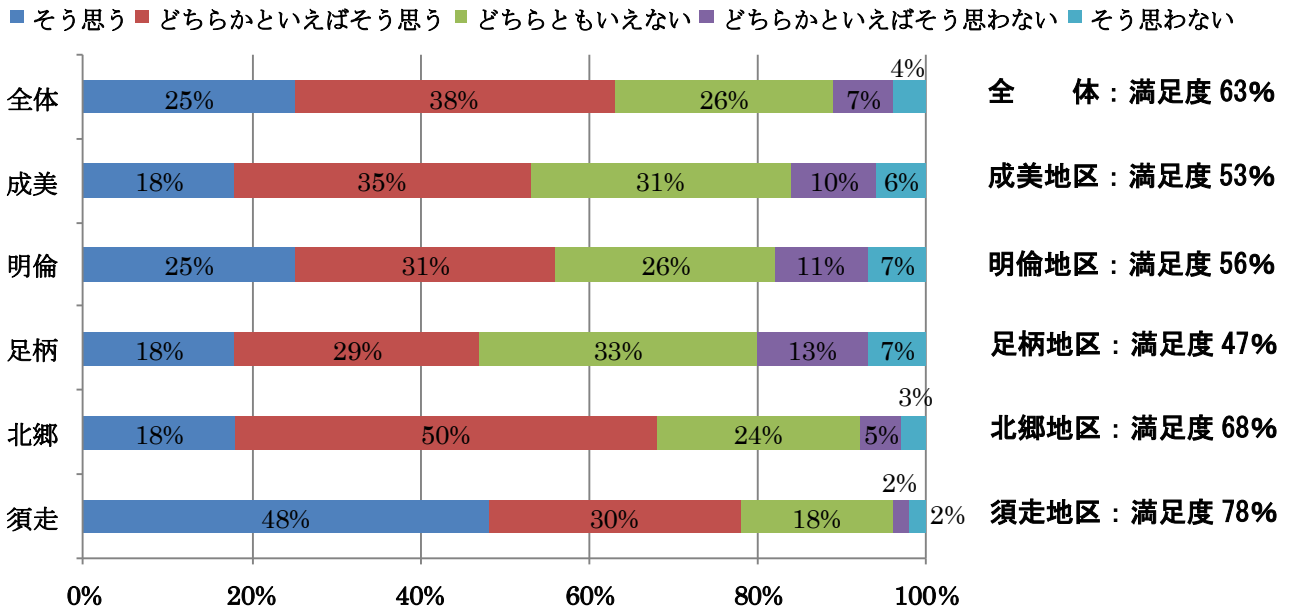


この質問に関しては、例年90%を超える高い満足度をキープし続けています。地区別及び男女（年齢）別でも、全体的に非常に高い満足度となっています。

問8－(6) 「汚水（下水）が適切に処理されている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 63%

上記の値は、前回の59%から今回の63%に4%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

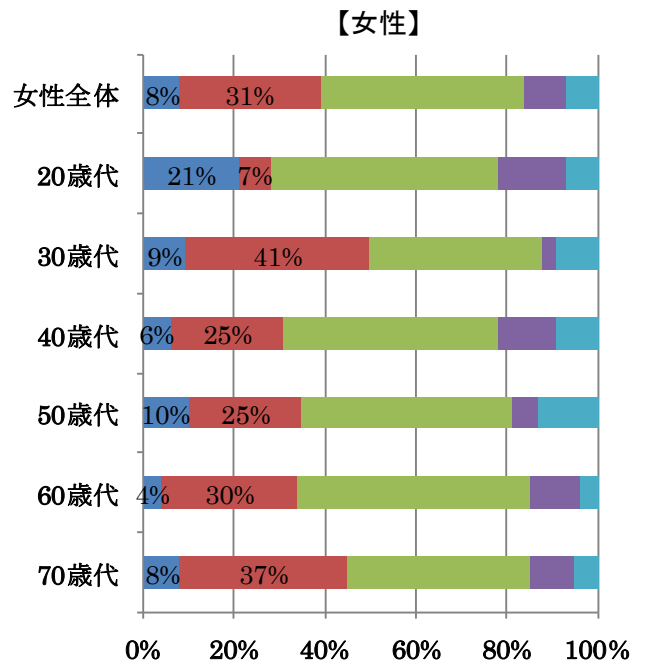
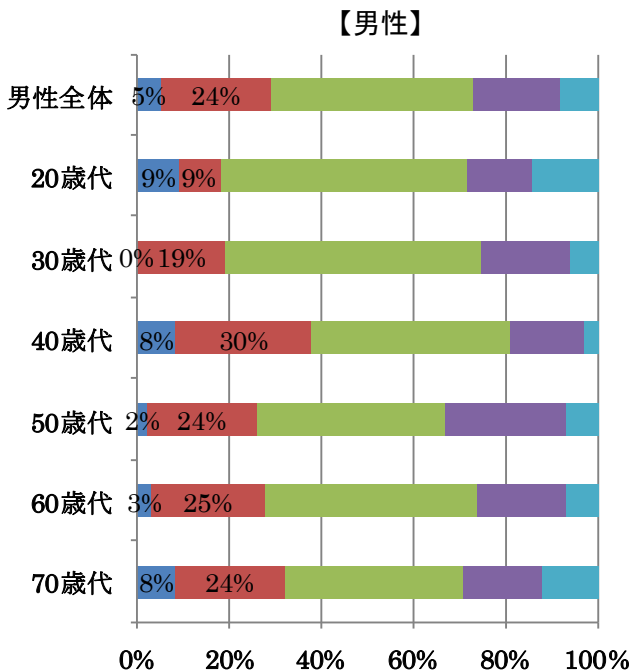
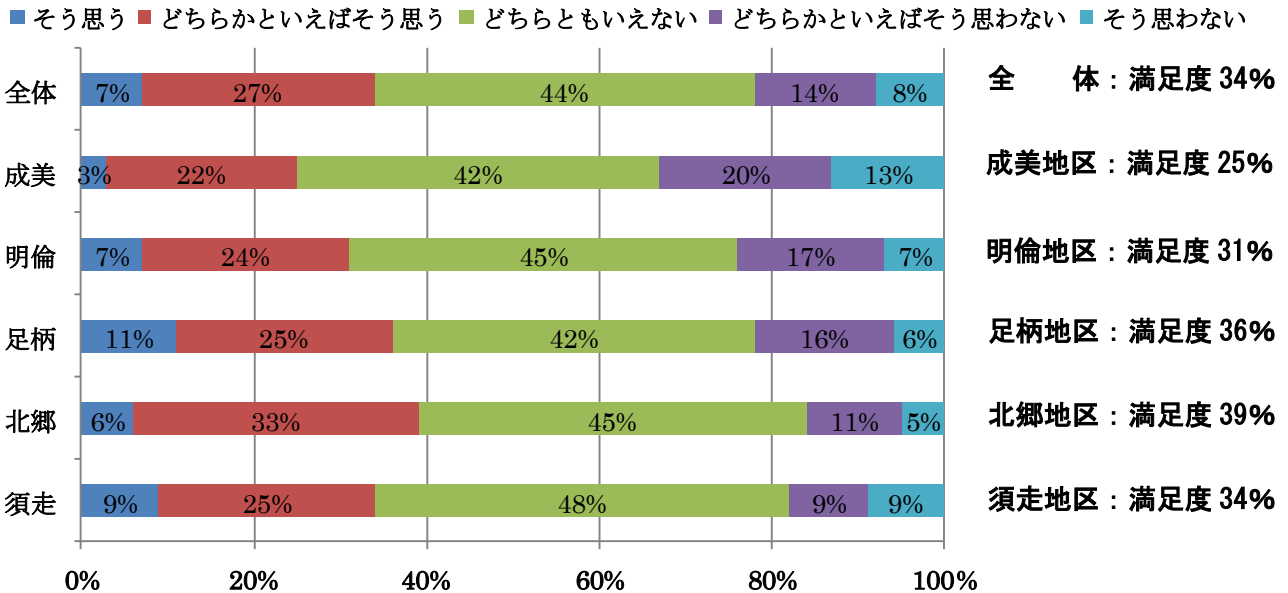


地区別の比較では、須走地区の満足度が非常に高く、足柄地区の満足度が低い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに20歳代と30歳代の満足度が高く、60歳代の満足度が低い傾向が見られます。

問8－(7) 「計画的な土地利用が行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 34%

上記の値は、前回の30%から今回の34%に4%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

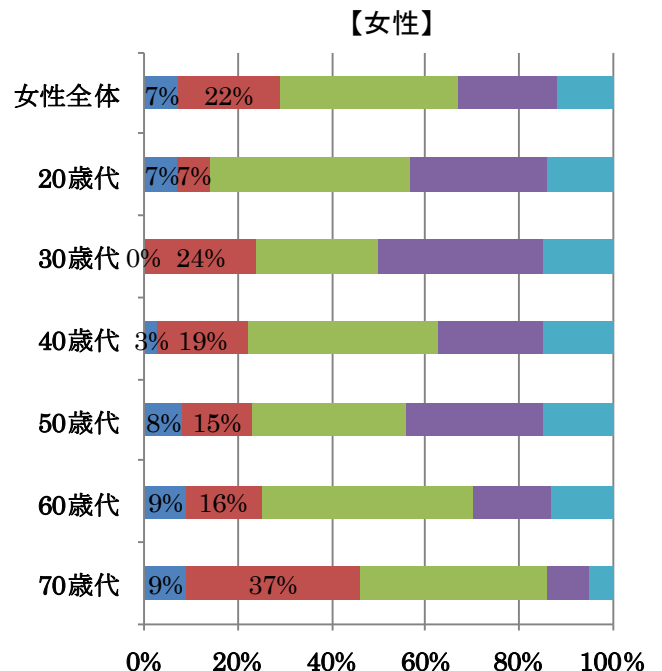
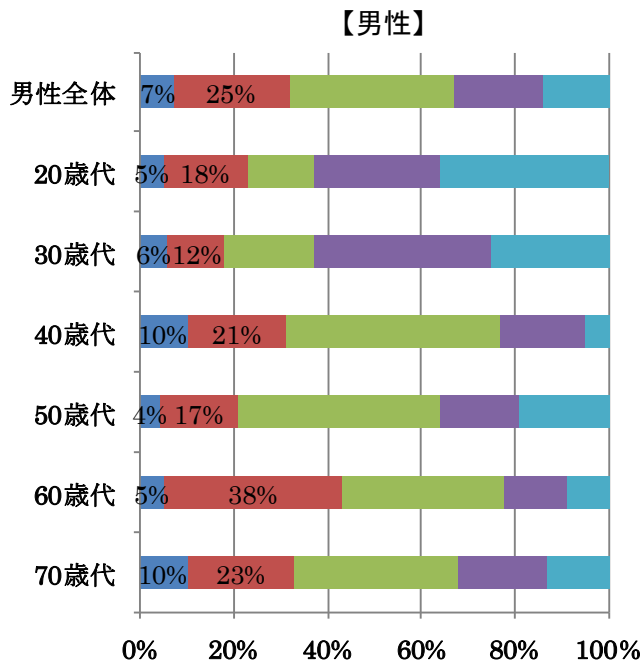
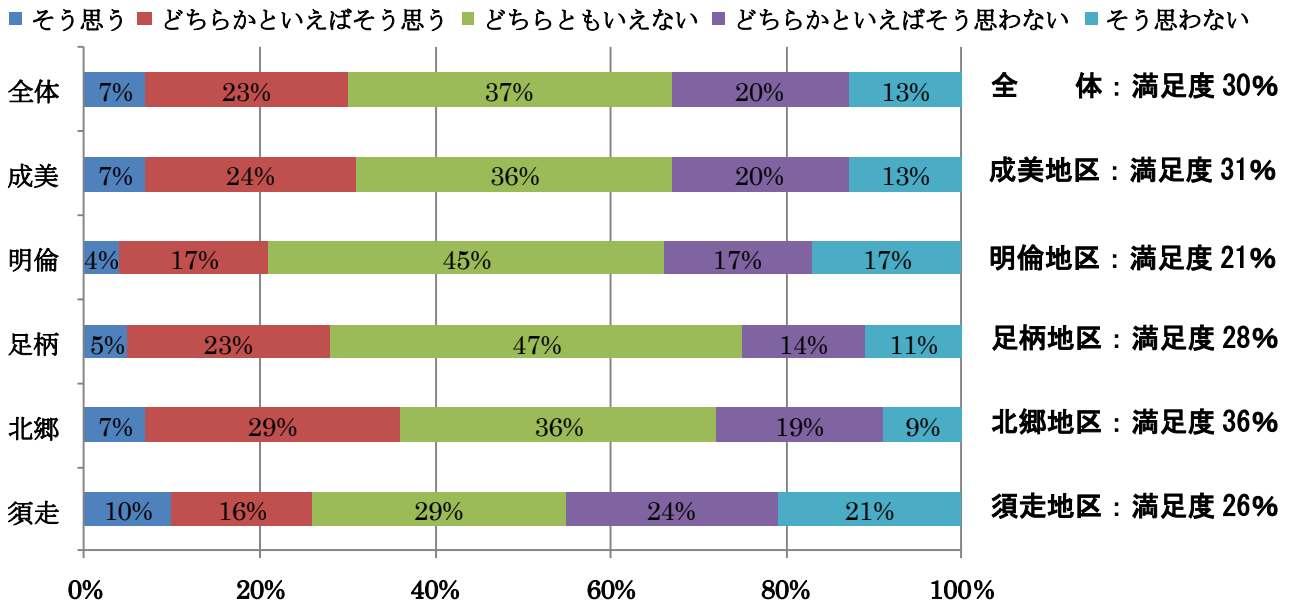


地区別の比較では、成美地区の満足度が低い結果となっています。男女（年齢）別の比較でも、全体的に満足度は低い傾向にあります。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(8) 「道路網が便利で快適である」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 30%

上記の値は、前回の33%から今回の30%に3%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

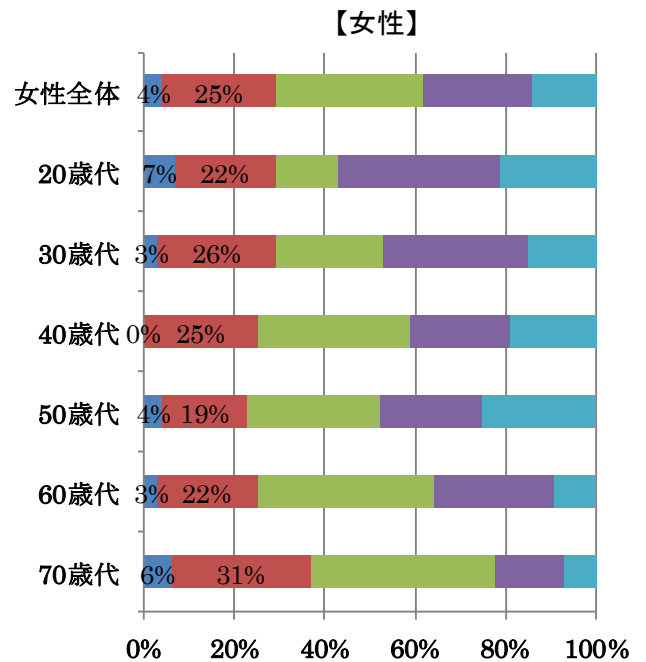
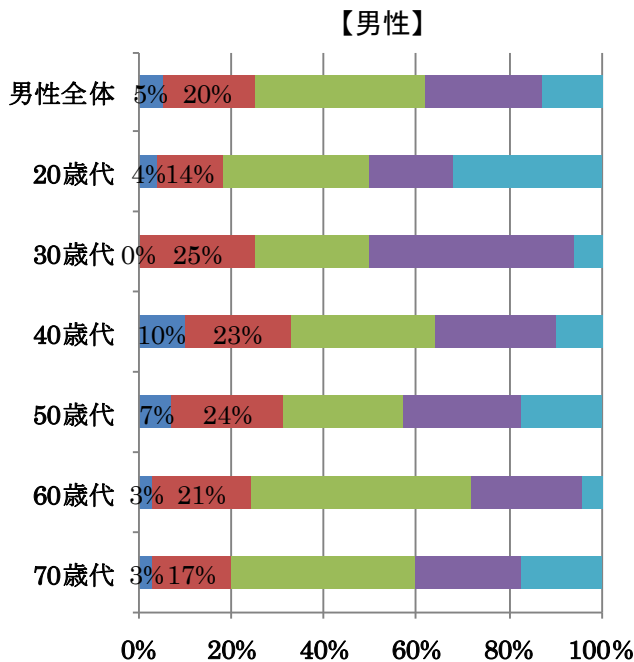
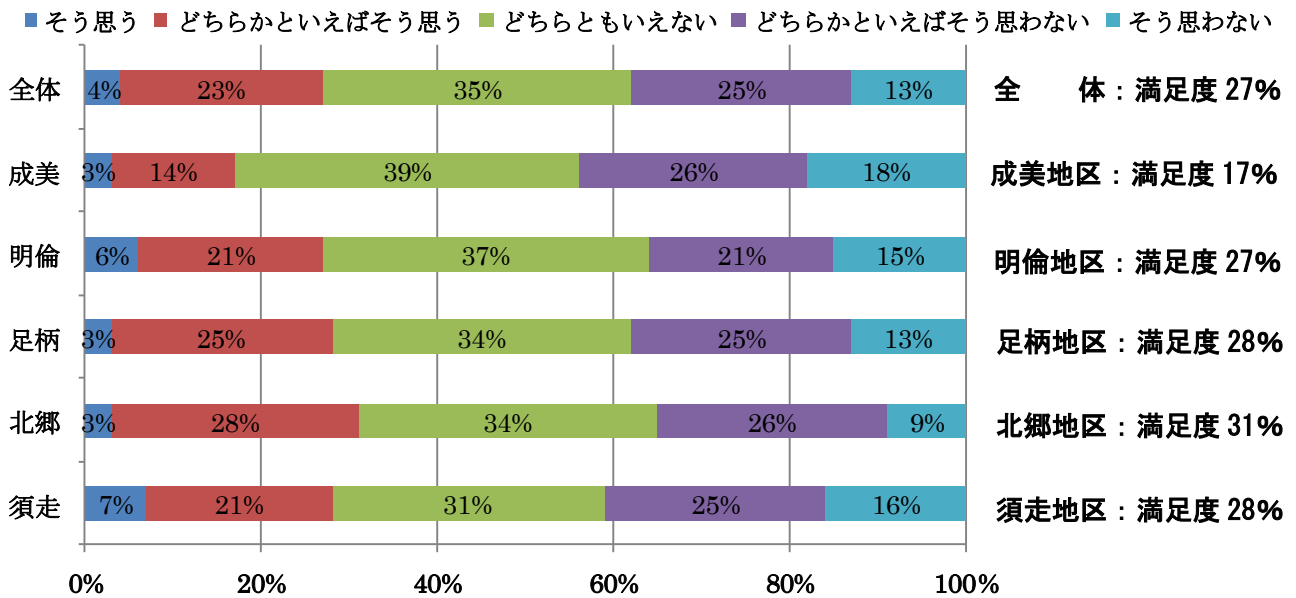


地区別の比較では、明倫地区の満足度が低く、北郷地区の満足度が高い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、全体的に満足度は低い傾向にあり、特に20歳代と30歳代といった若い世代は、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(9) 町が「快適な公共交通の整備に取り組んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 27%

上記の値は、前回の25%から今回の27%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

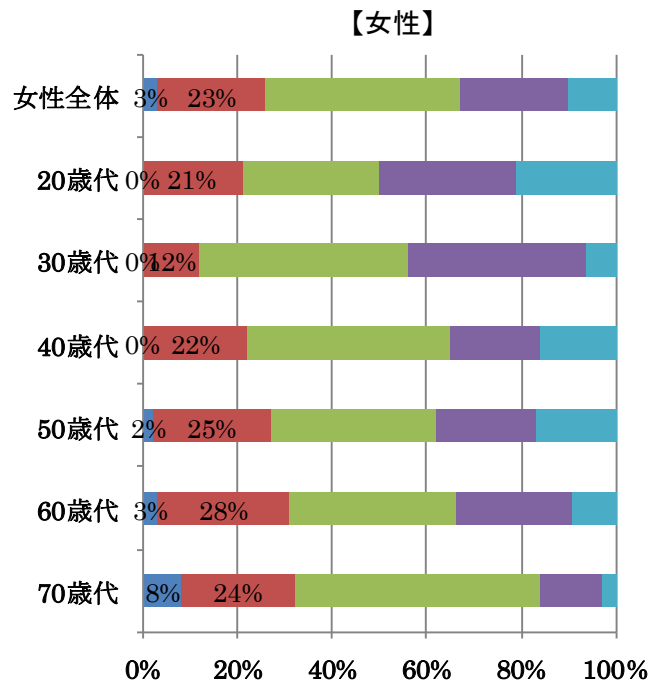
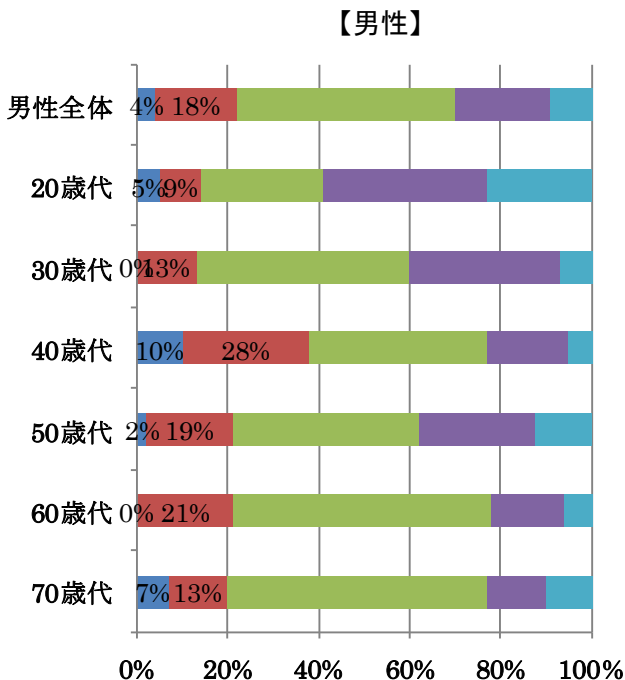
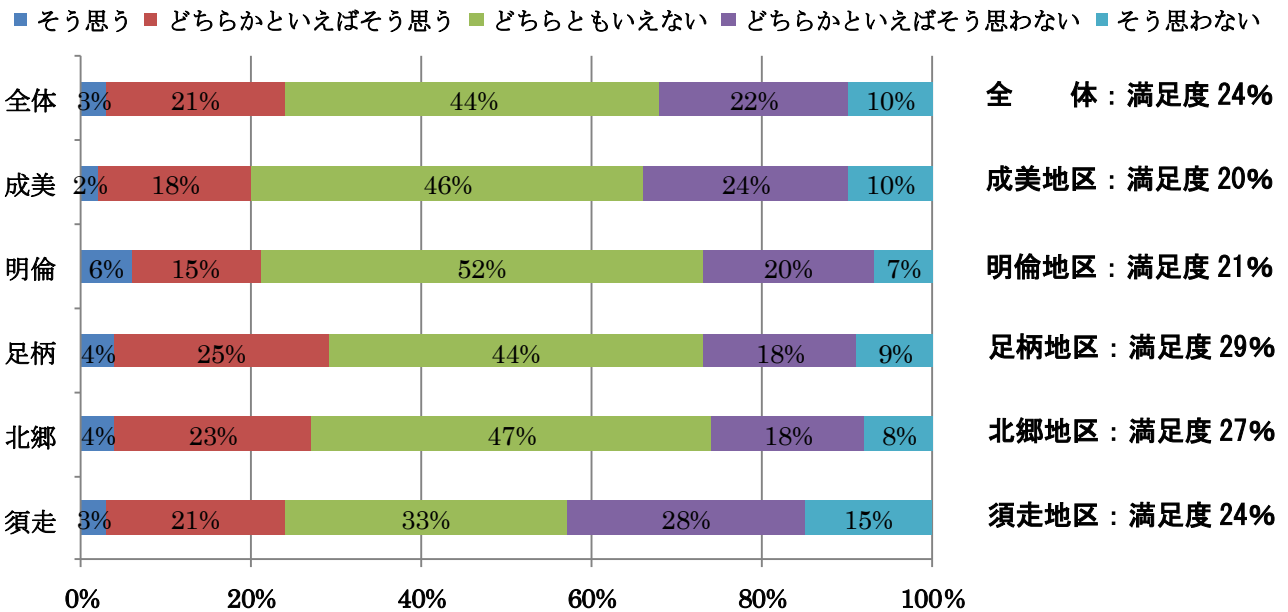


地区別の比較では、成美地区の満足度が低いですが、全体的に低い傾向にあると言えます。また、すべての地区において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。男女（年齢）別の比較でも、全体的に満足度が低い結果となっています。

問8－(10) 「誰もが住みやすい住環境になっている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 24%

上記の値は、前回の22%から今回の24%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

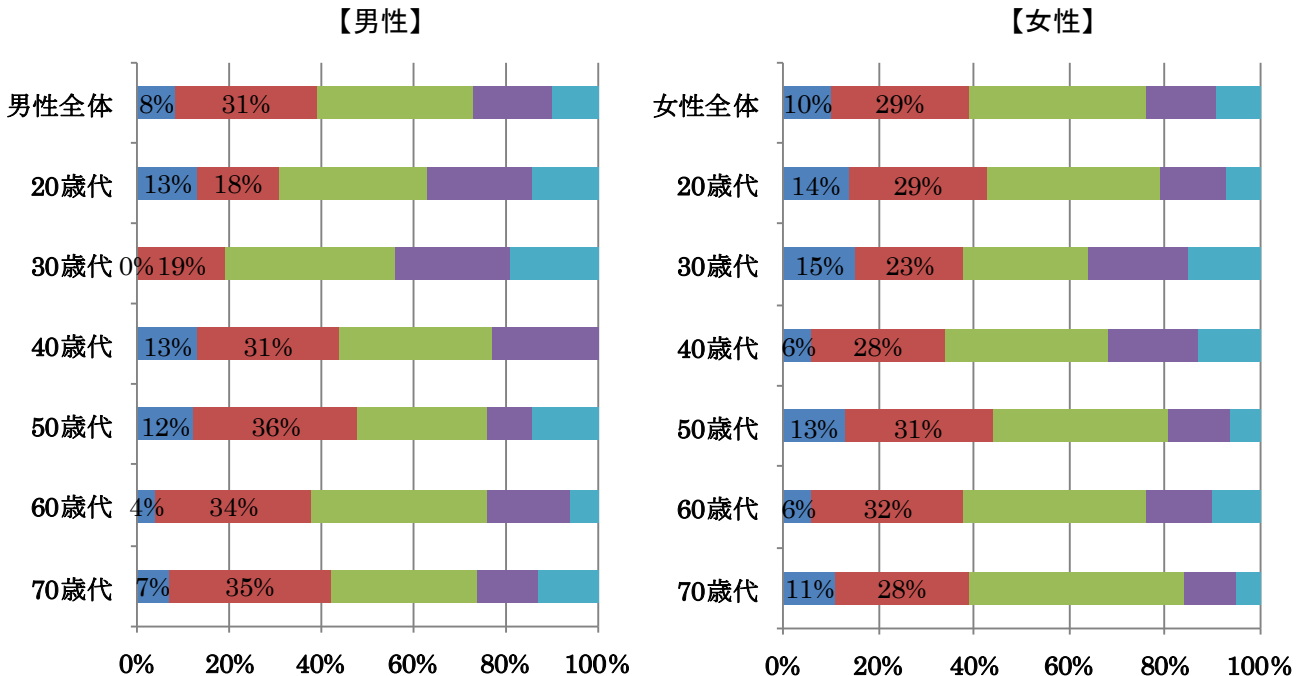
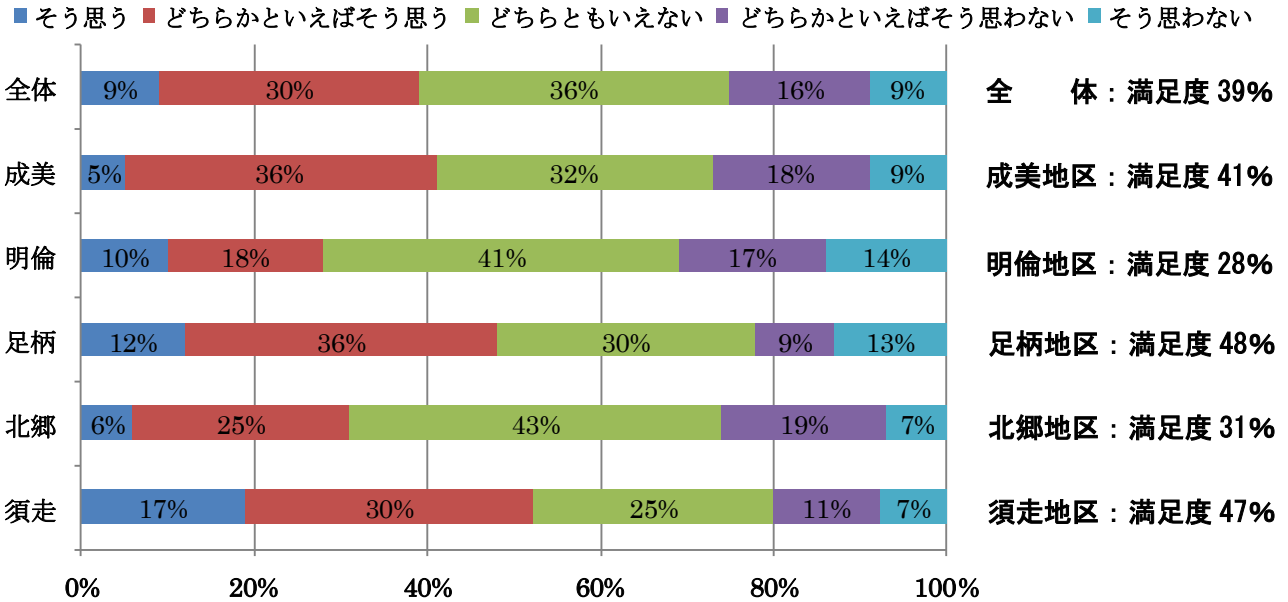


地区別の比較では、全体的に低い傾向にあり、特に成美地区と明倫地区が低い傾向にあります。男女（年齢）別の比較でも、全体的に満足度が低い傾向にあり、特に30歳代の満足度が非常に低い結果となっています。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8- (11) 「公園・緑地が確保されている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 39%

上記の値は、前回の38%から今回の39%に1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

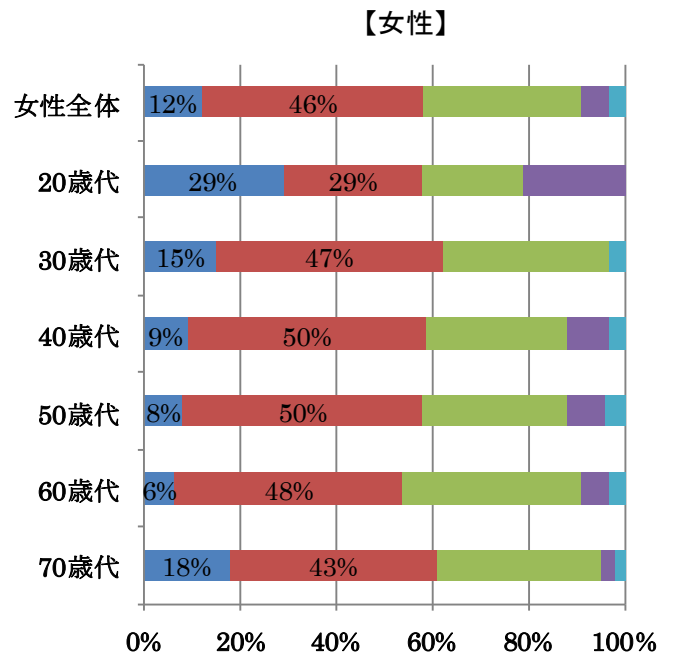
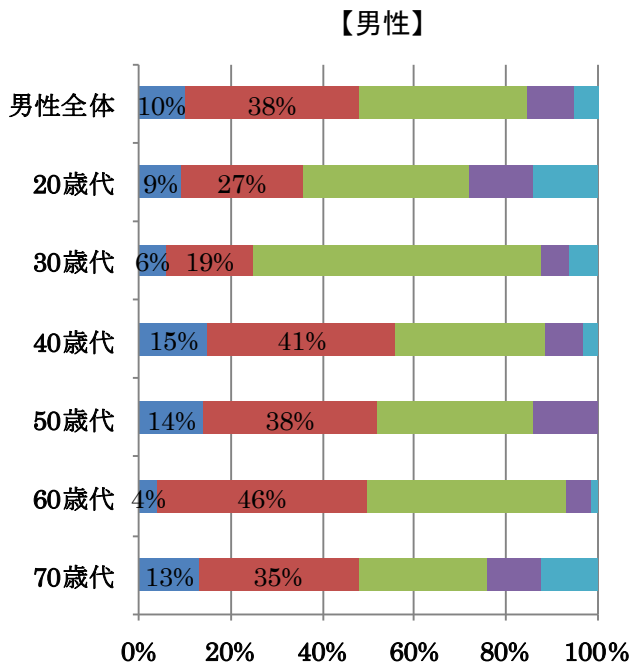
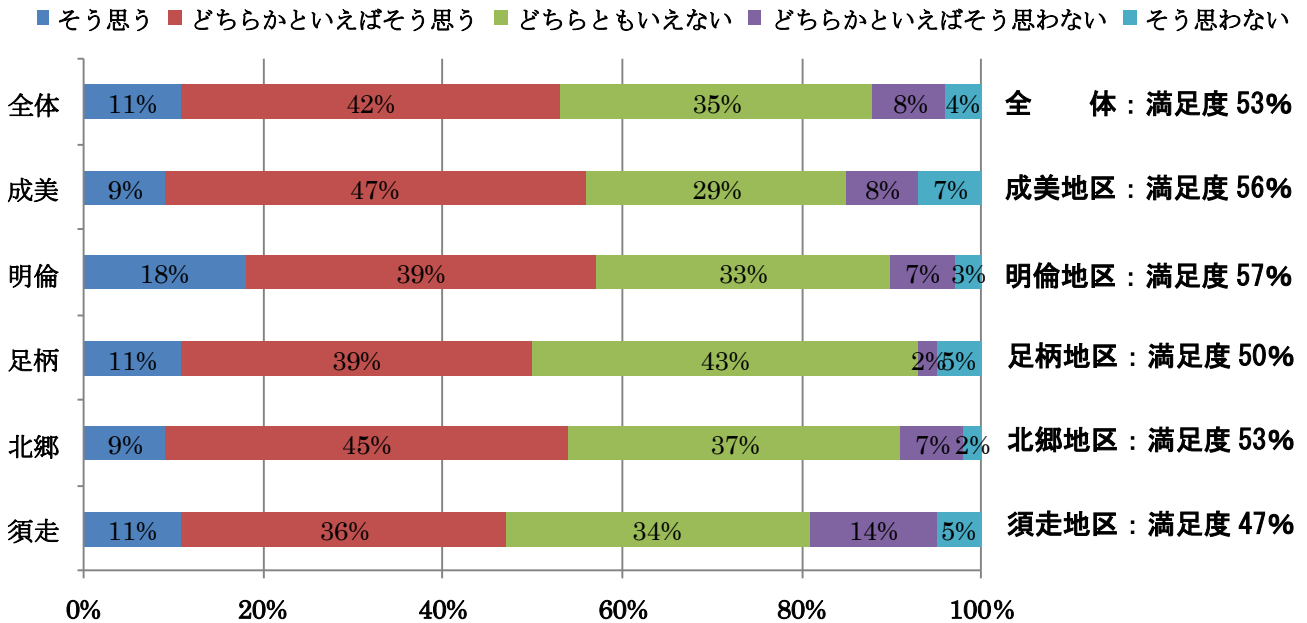


地区別の比較では、明倫地区と北郷地区の満足度が低く、足柄地区と須走地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性の20歳代と30歳代の満足度が低く、特に30歳代の満足度が非常に低いという結果となっています。女性はすべての世代がほぼ平均値に近い傾向となっています。

問 8 - (1 2) 「町民が地域で互いに支えあって暮らしている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 53%

上記の値は、前回の 52%から今回の 53%に 1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

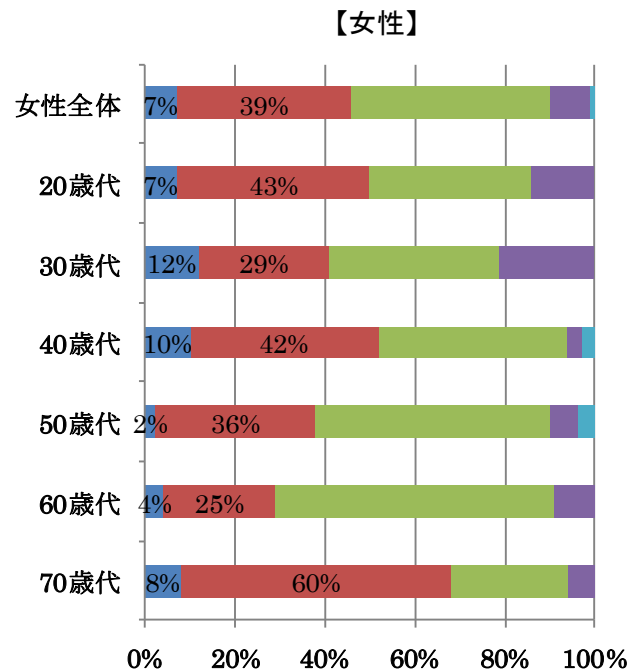
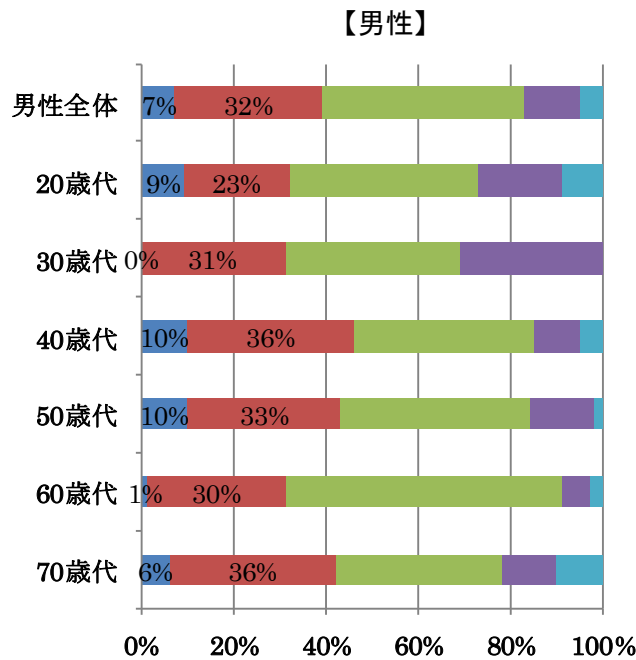
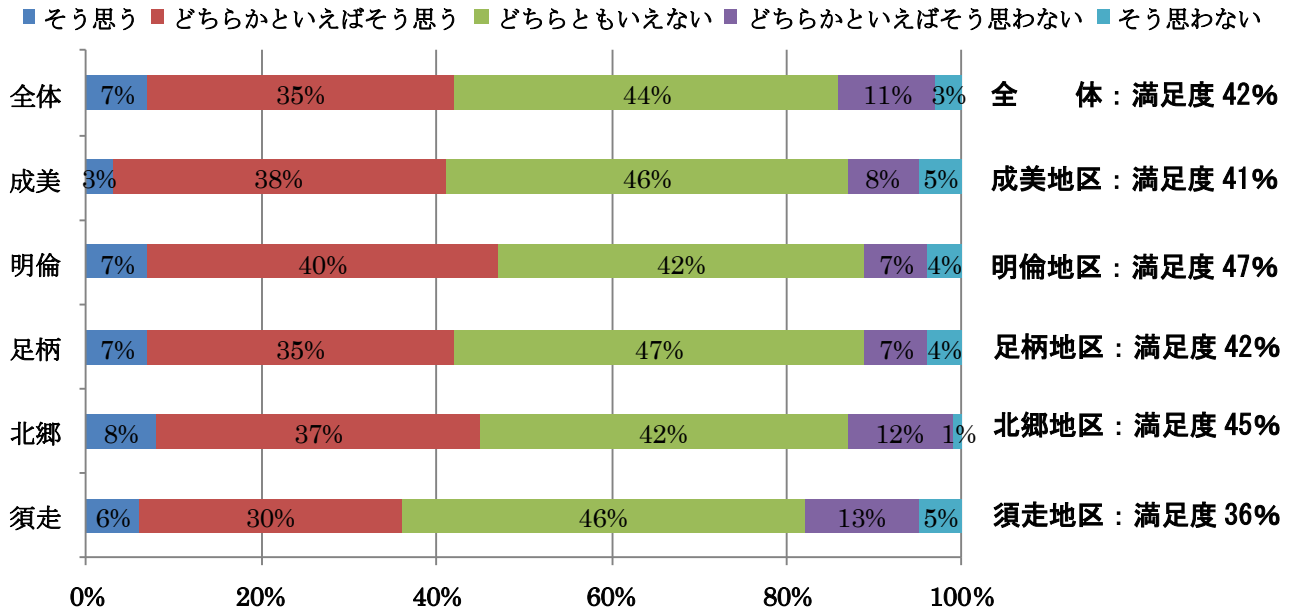


地区別の比較では、足柄地区と須走地区の満足度が他と比べてやや低いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性に比べて女性の方が、満足度がかなり高い傾向にあります。特に、男性の 20 歳代と 30 歳代の満足度が他と比較してかなり低いという結果となっています。

問 8 - (1 3) 「みんなが主体的に健康づくりに取り組んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 42%

上記の値は、前回の37%から今回の42%に5%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

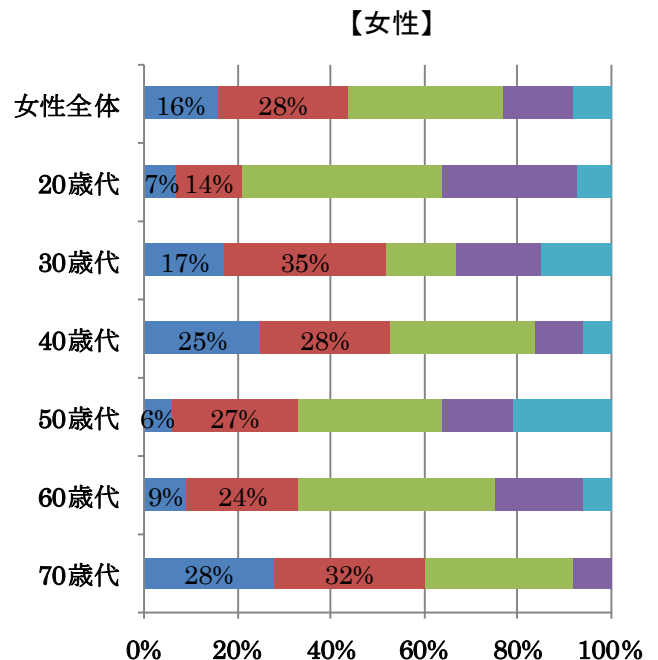
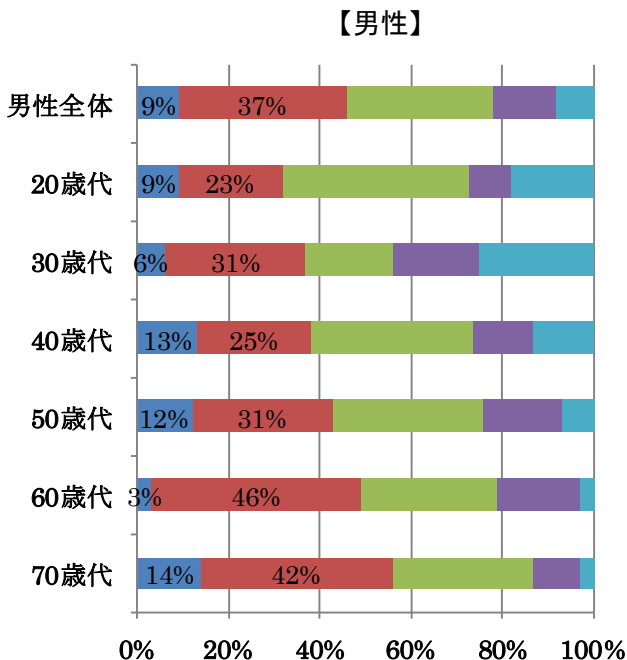
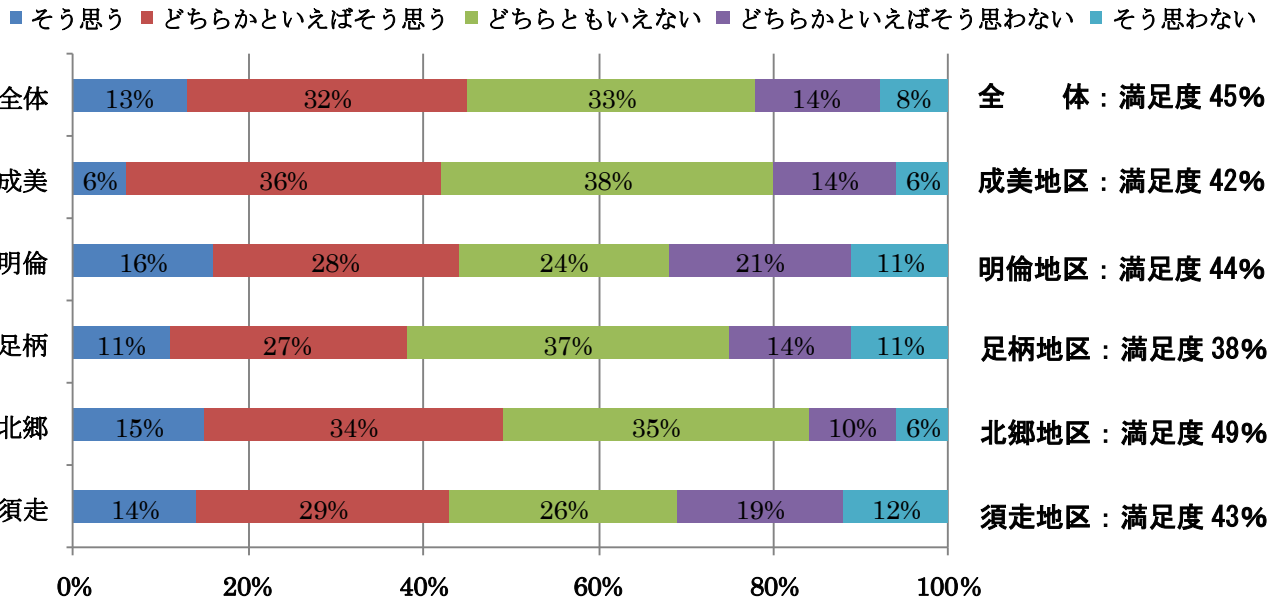


地区別の比較では、どの地区も平均値に近い結果となっていますが、明倫地区と北郷地区の満足度がやや高く、須走地区の満足度がやや低い傾向にあります。男女（年齢）別の比較では、ばらつきはありますが、男女ともに60歳代の満足度が低く、40歳代と70歳代の満足度が高い傾向にあります。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8- (14) 「必要な時に適切な医療が受けられる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 45%

上記の値は、前回の44%から今回の45%に1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

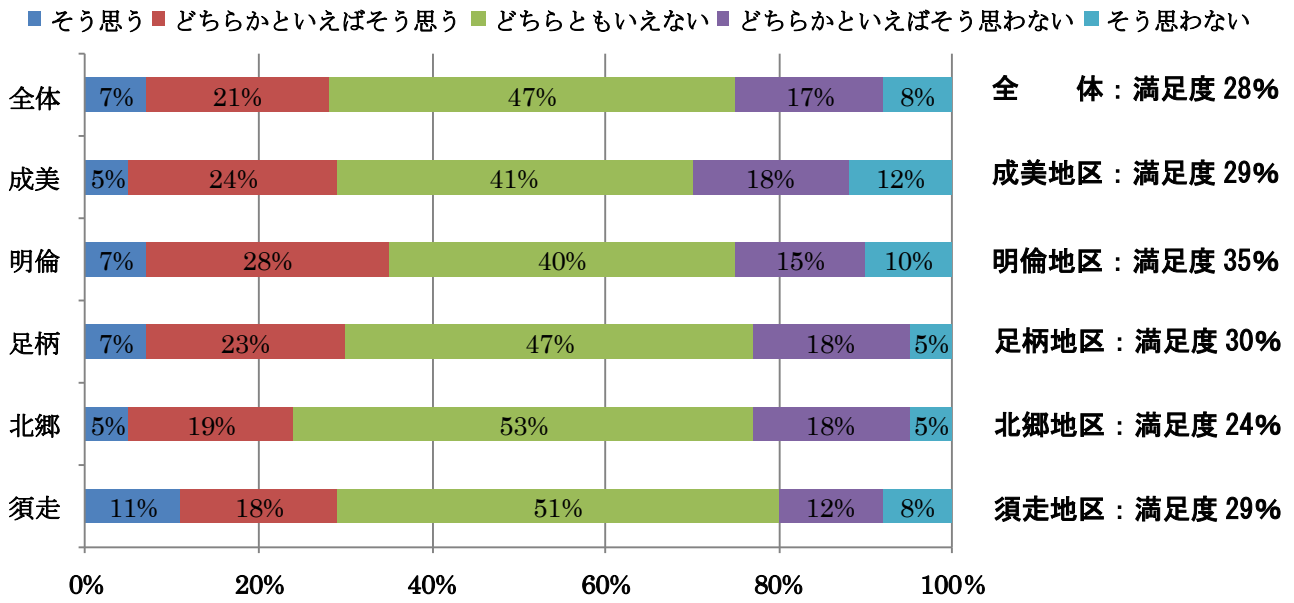


地区別の比較では、足柄地区の満足度がやや低く、北郷地区の満足度がやや高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性では年代が上がるほど満足度が高くなる傾向にあります。女性は傾向が2分化しており、30歳代、40歳代、70歳代の満足度が高く、20歳代、50歳代、60歳代の満足度が低いという構成になっていて、特に20歳代の満足度がとても低いという結果になっています。

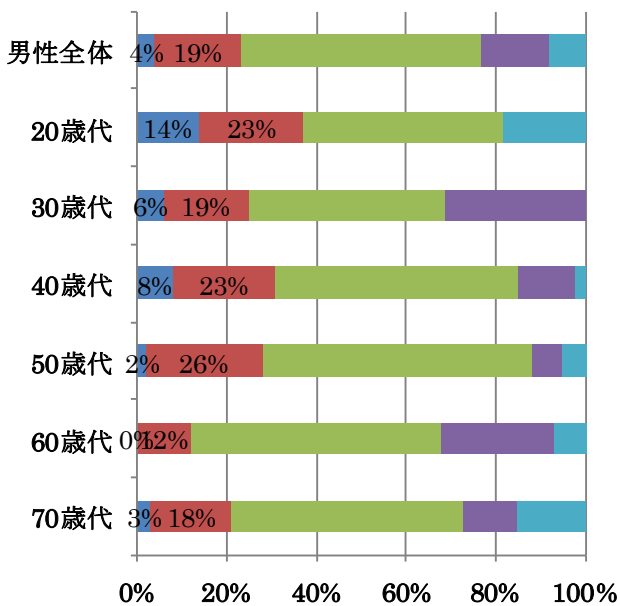
問8－(15) 「地域(近所)において、自身や家族の悩み事などを真剣に相談できる人間関係が構築されている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 28%

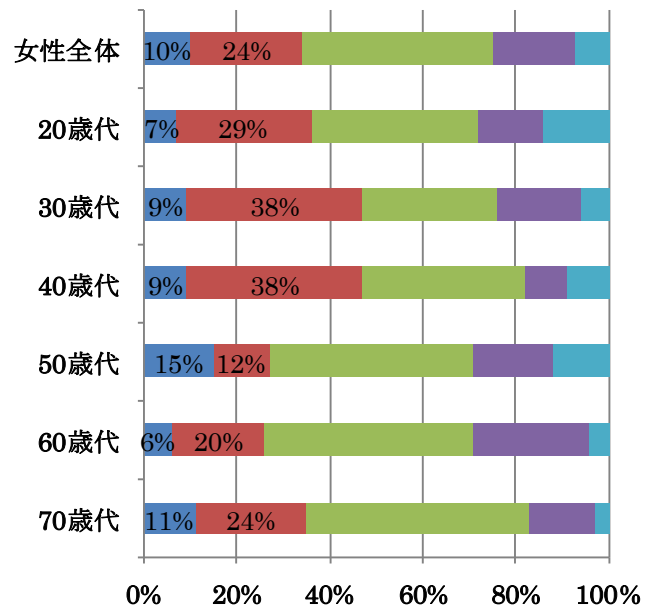
上記の値は、前回の27%から今回の28%に1%増加しています。全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

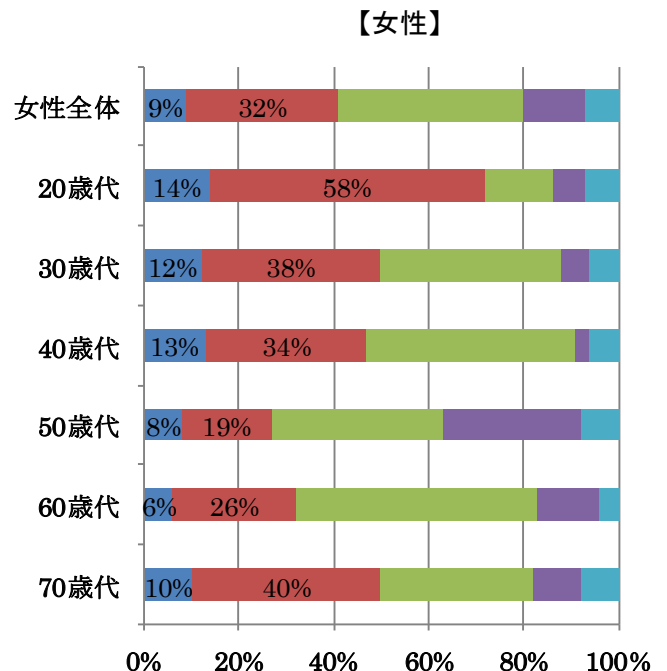
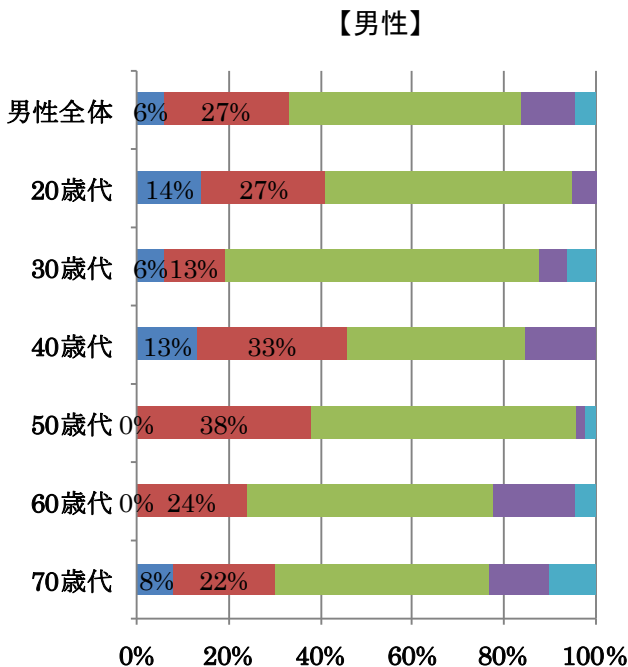
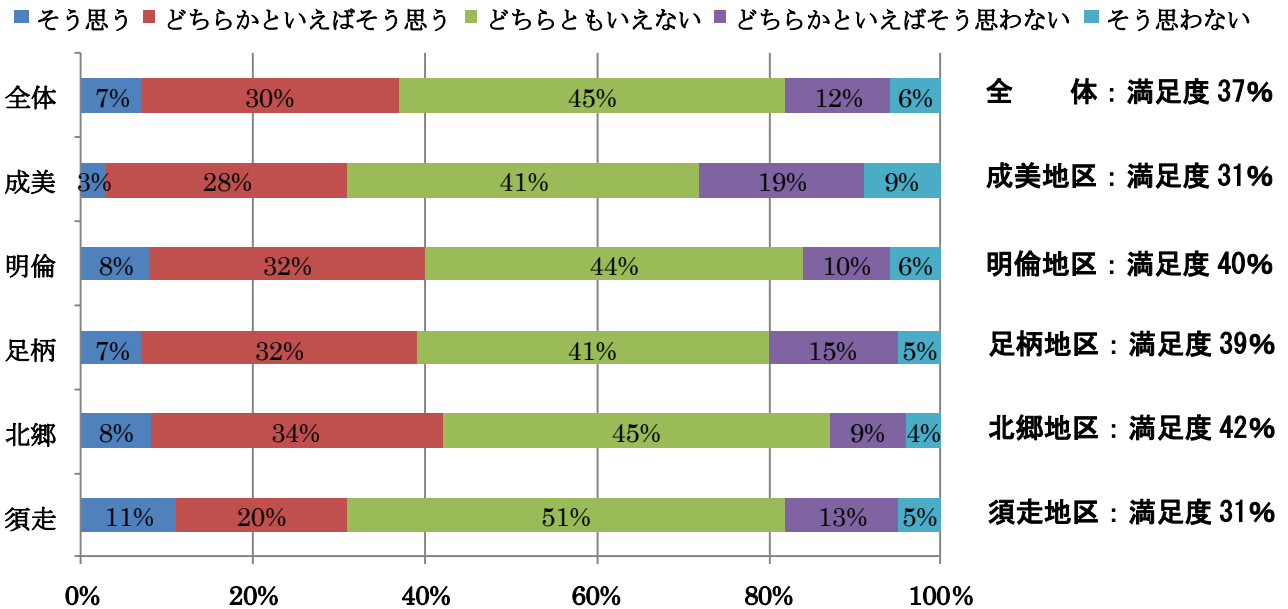


地区別の比較では、どの地区も平均値に近い満足度になっていますが、明倫地区がやや高く、北郷地区がやや低いという結果になっています。男女(年齢)別の比較では、男性より女性の方が満足度が高い傾向にあります。また、男女ともに60歳代の満足度が低い傾向があり、全体としては若い世代の方が高齢者世代に比べてやや満足度が高い傾向があります。

問8- (16) 「高齢者が自立していきいきと暮らしている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 37%

上記の値は、前回調査維持と同様の37%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

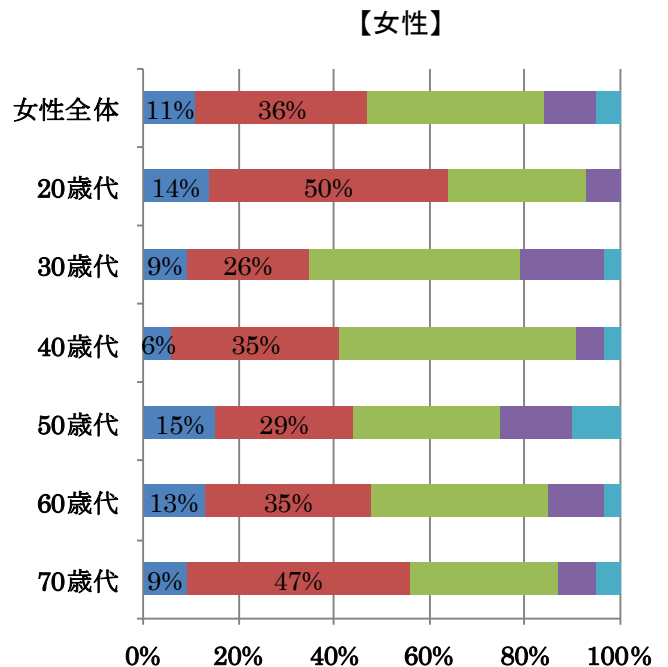
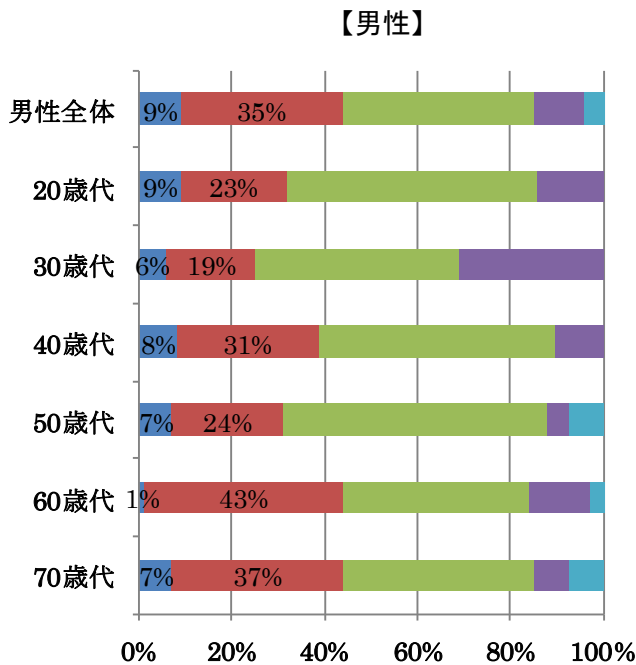
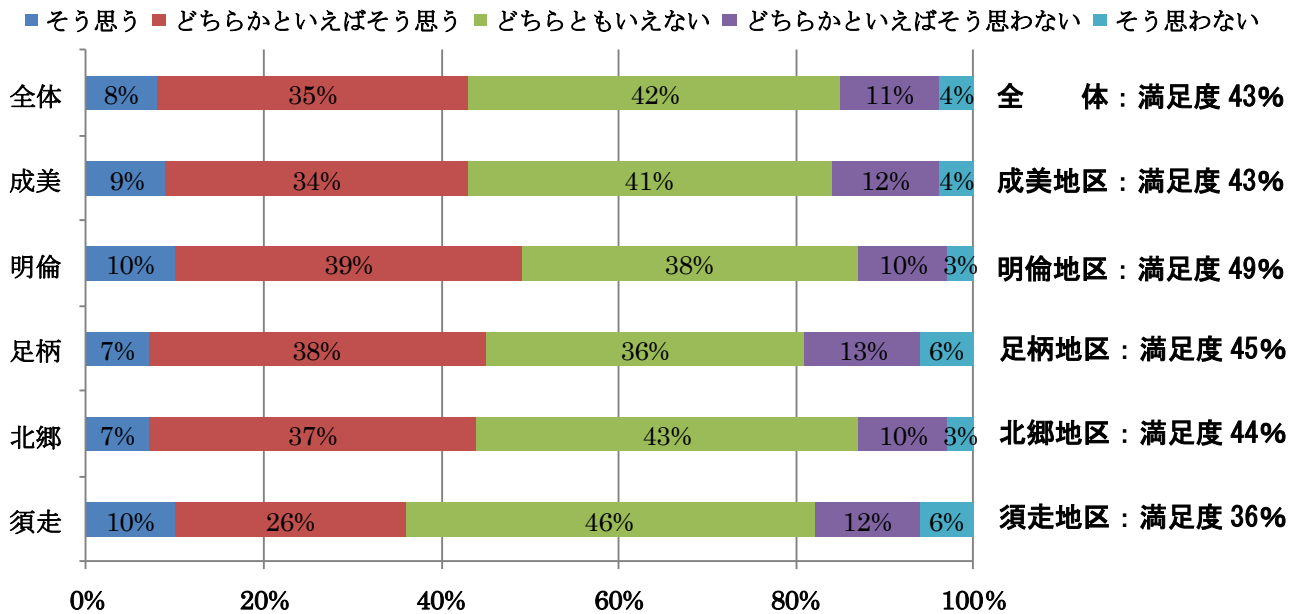


地区別の比較では、成美地区と須走地区が、他の3地区と比べてやや満足度が低いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性では30歳代と60歳代の満足度が低く、女性では50歳代にかけて段階的に満足度が減少し、60歳代以降は上昇に転じるという傾向のグラフ構造となっています。女性の20歳代の満足度は他と比べてかなり高い傾向にあります。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(17) 「介護が必要な状態になった場合、適切な公的サービスを受けることができる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 43%

上記の値は、前回の40%から今回の43%に3%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

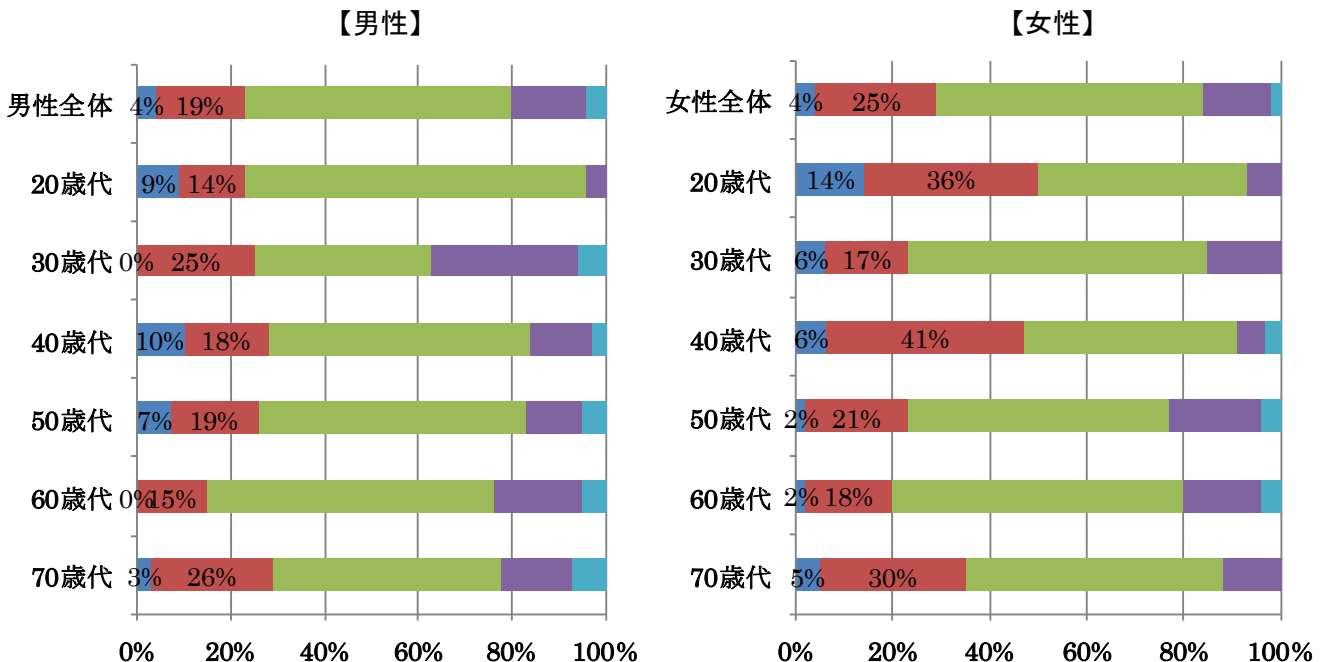
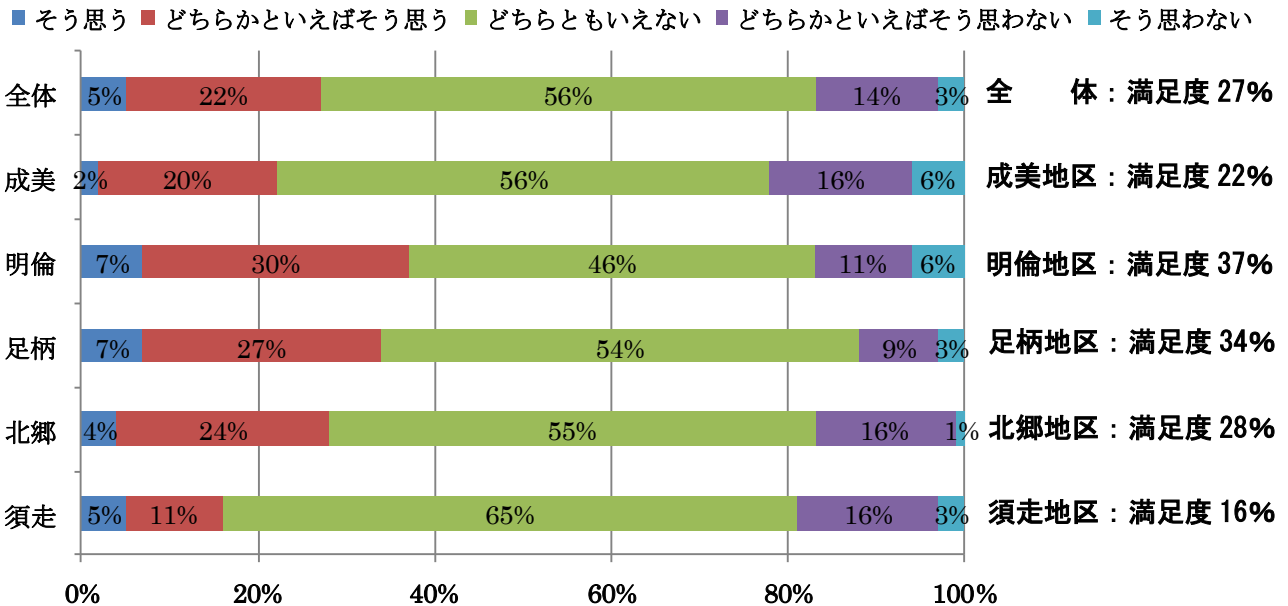


地区別の比較では、どの地区も平均値に近い傾向にあります。須走地区がやや満足度が低く、明倫地区がやや満足度が高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに30歳代の満足度が低い傾向にあります。女性では、20歳代の満足度が最も高く、30歳代以降は世代が上がるほど満足度が高い傾向にあります。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(18) 「障がいのある人が社会参加して、自立している」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 27%

上記の値は、前回の25%から今回の27%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

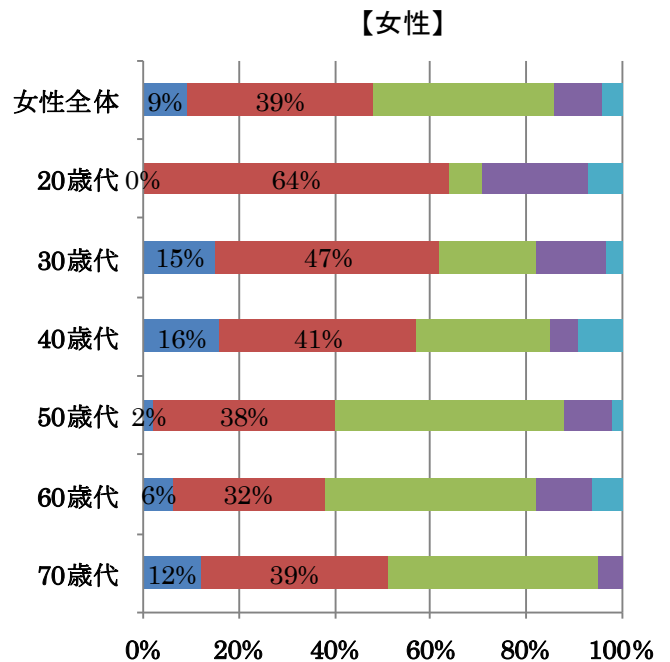
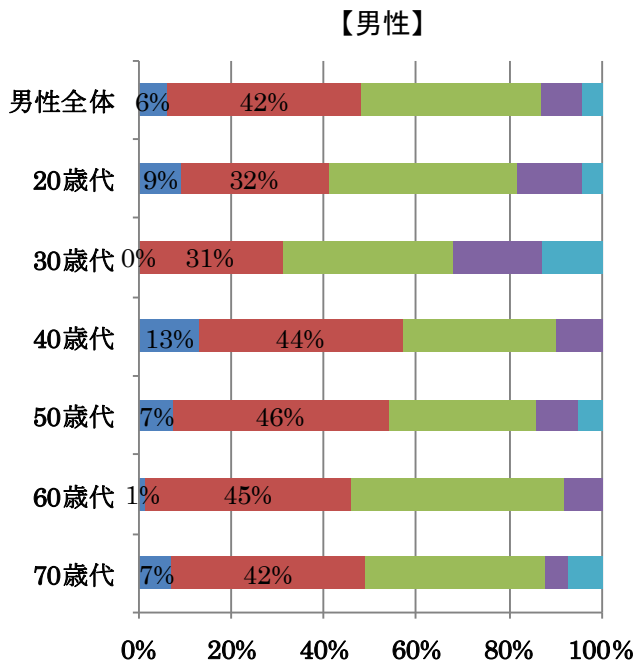
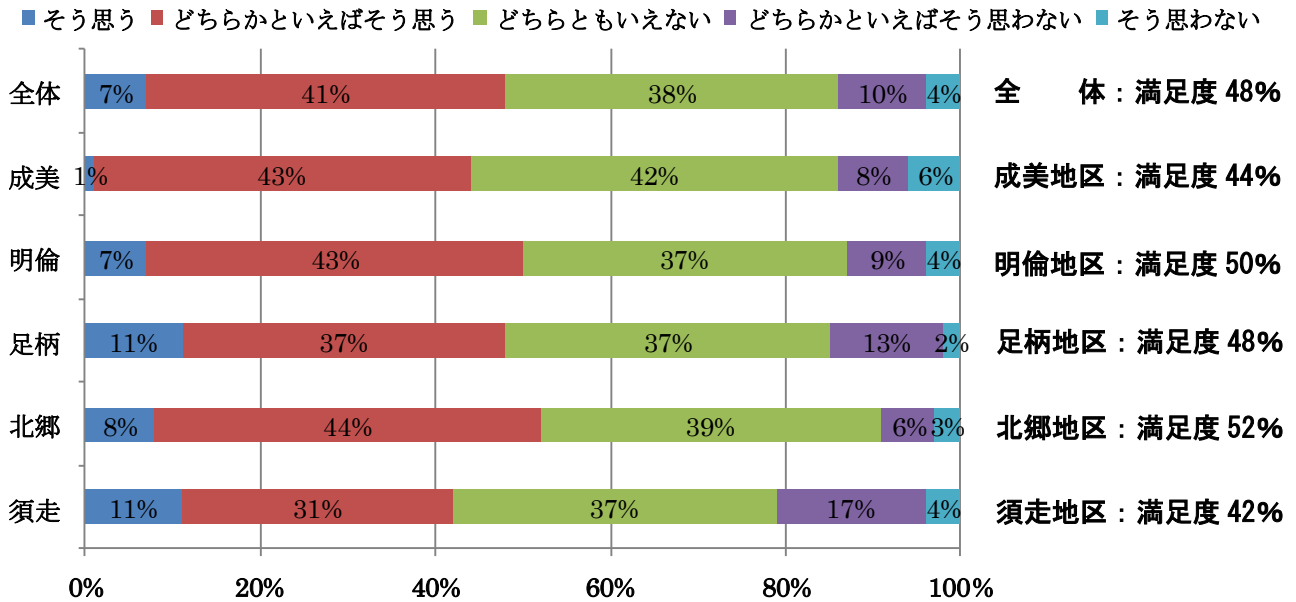


全体的に満足度は低い傾向にあり、地区別の比較では、須走地区の満足度が低く、明倫地区と足柄地区の満足度が高い傾向にあります。男女（年齢）別の比較では、男女ともに60歳代の満足度が低い傾向にあります。女性では、20歳代と40歳代の満足度が高い傾向にあります。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問 8 - (1 9) 「安心して子供を産み育てる環境が整っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 48%

上記の値は、前回の43%から今回の48%に5%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

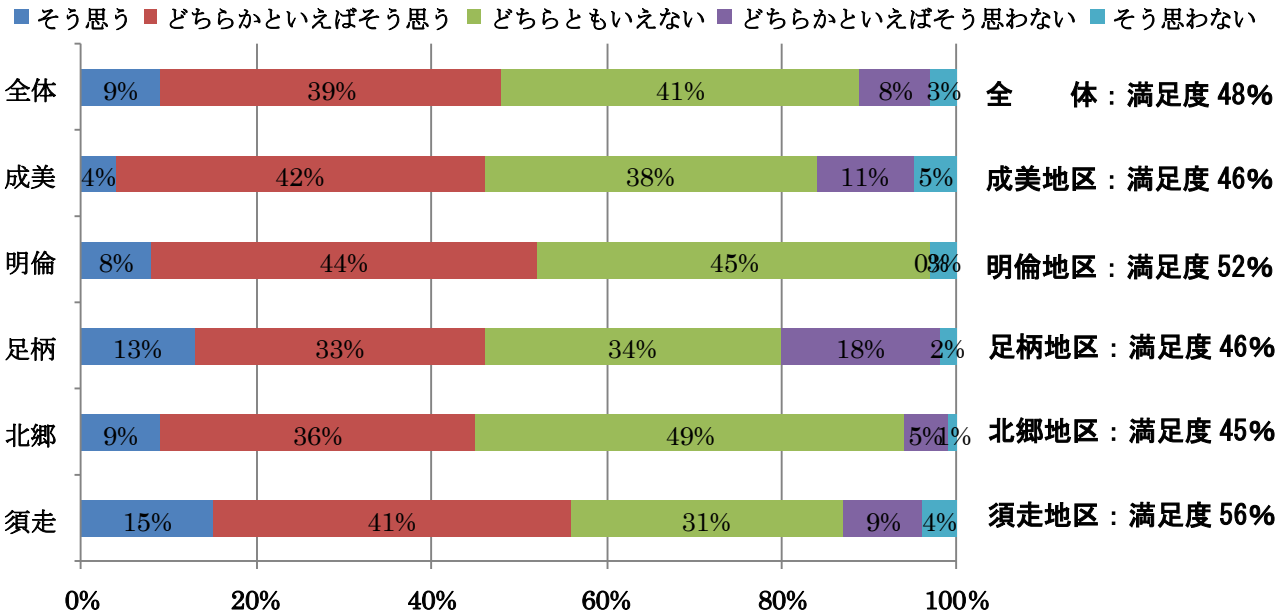


地区別の比較では、どの地区も平均値に近い傾向ですが、成美地区と須走地区が他の3地区と比べやや満足度が低い傾向にあります。男女（年齢）別の比較では、男性では20歳代と30歳代の若い世代が他の世代より満足度が低い傾向があるのに対し、女性では20歳代～40歳代の方が、それより上の高齢者世代より満足度が高いというグラフ構造になっています。

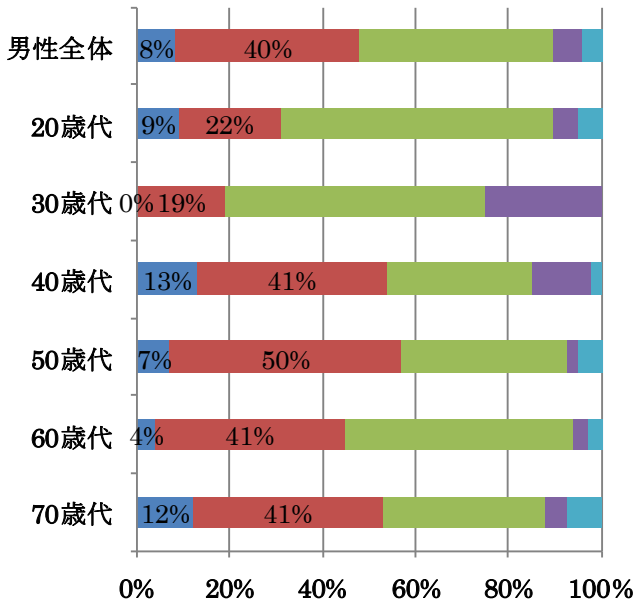
問8－(20) 「地域に安心できる防災の仕組みがある」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 48%

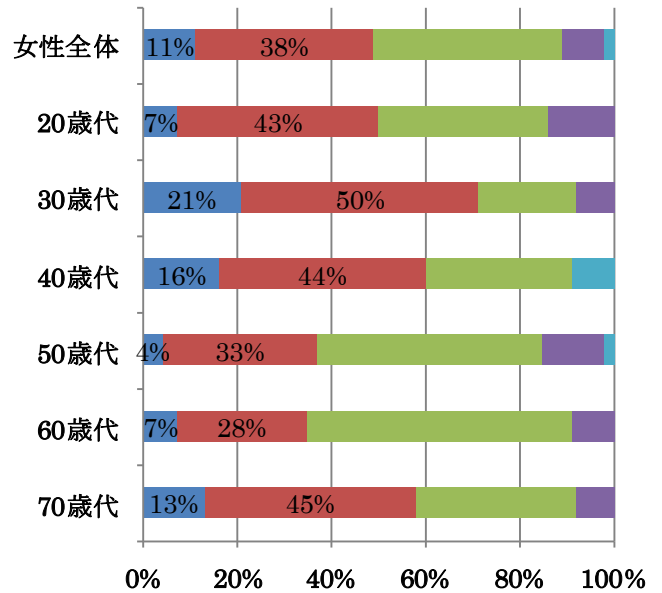
上記の値は、前回の50%から今回の48%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】



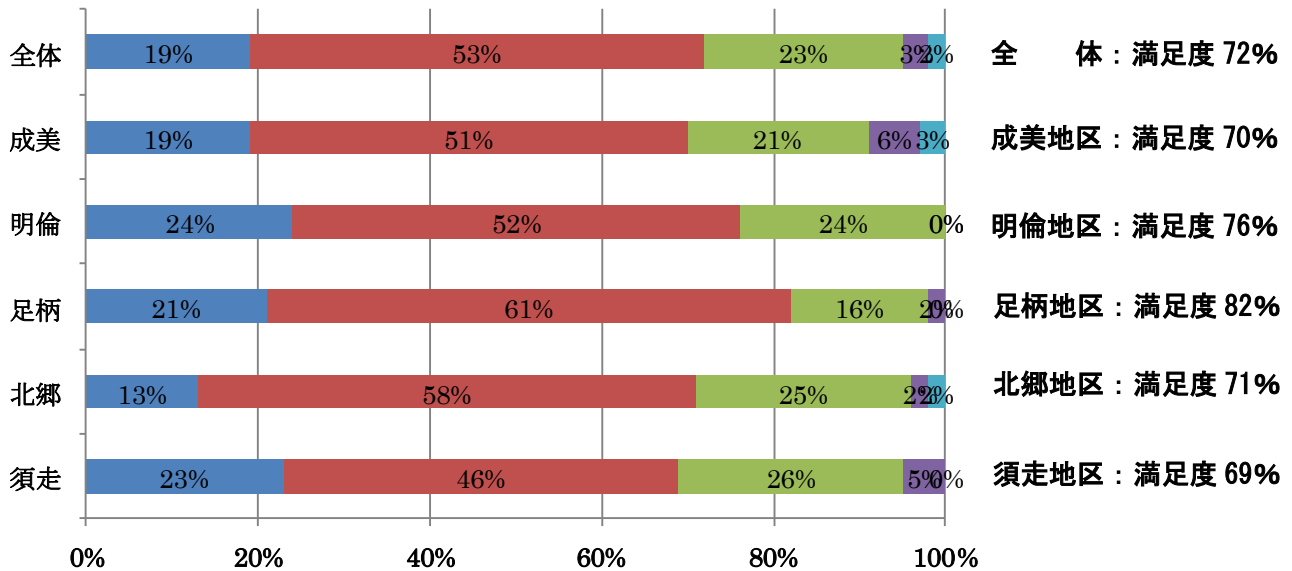
地区別の比較では、明倫地区と須走地区の満足度が、他の3地区と比べてやや高い傾向にあります。男女（年齢）別の比較では、男性は、20歳代と30歳代の若い世代の満足度が低く、40歳代以降の世代の満足度が高いというグラフ構造になっています。女性では、30歳代と40歳代の満足度が高く、50歳代と60歳代の満足度が低いというグラフ構造になっています。また、男女ともに、70歳代の満足度は平均よりやや高いという結果になっています。

問 8 - (2 1) 「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」

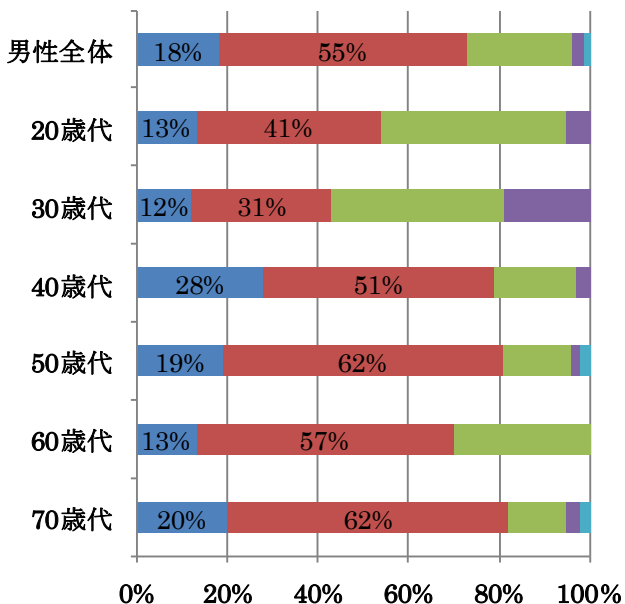
今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 72%

上記の値は、前回の71%から今回の72%に1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

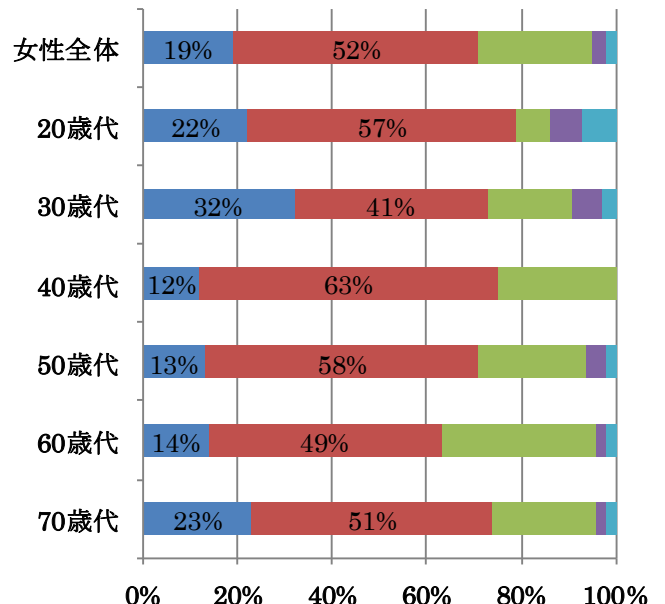
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



【男性】



【女性】

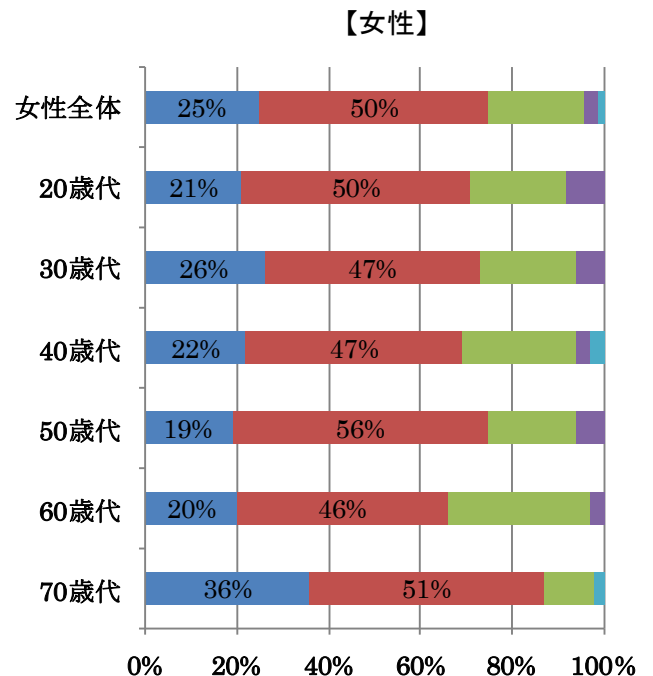
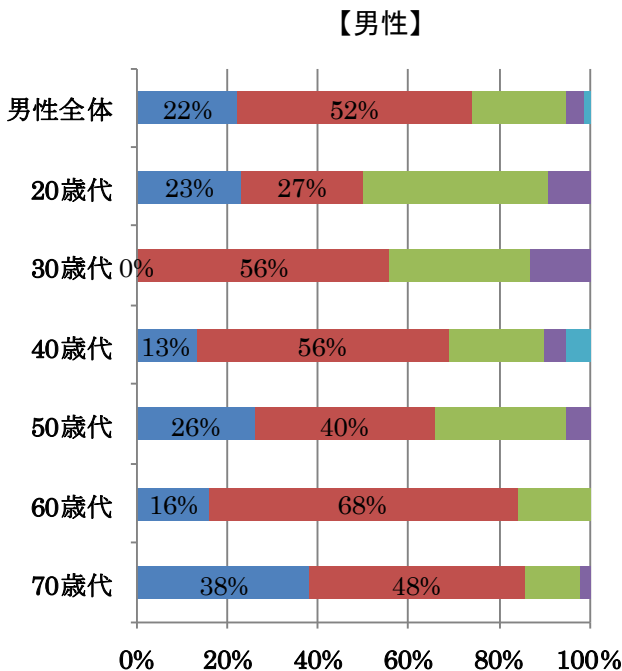
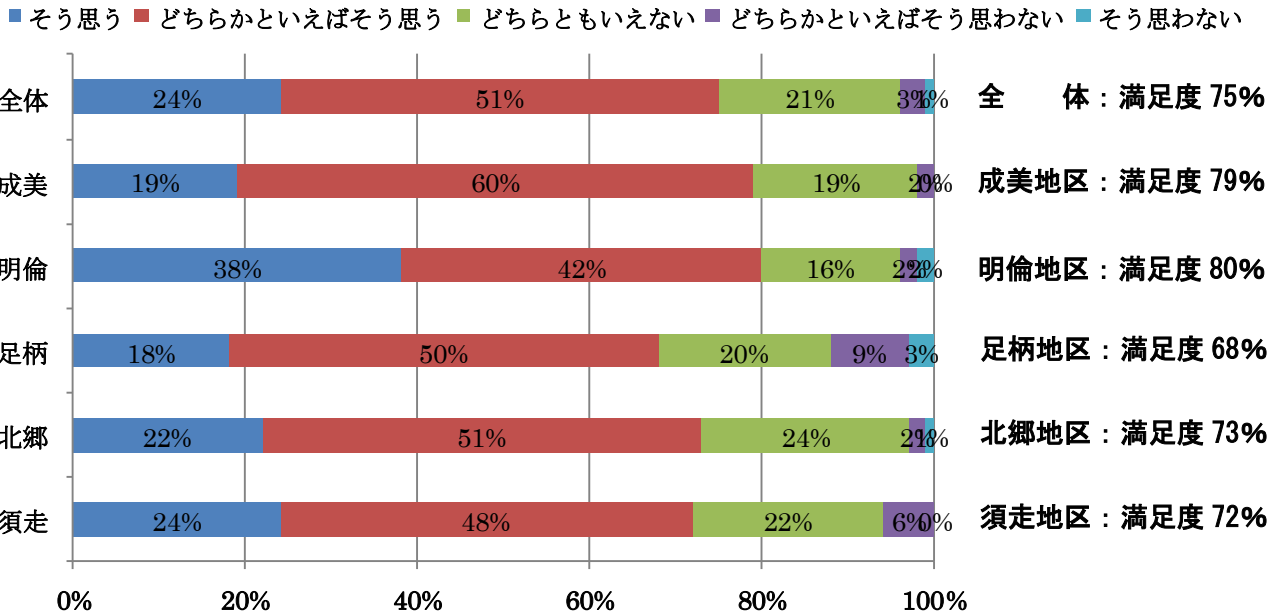


地区別の比較では、明倫地区と足柄地区の満足度が、他の地区よりやや高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性の20歳代と30歳代の満足度が他の世代と比べて低いという結果になっています。女性では、ややばらつきはあるもののどの世代も概ね平均に近い結果となっています。また、すべての比較において、「どちらかといえばそう思う」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(22) 「消防・救急体制が整っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 75%

上記の値は、前回の77%から今回の75%に2%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

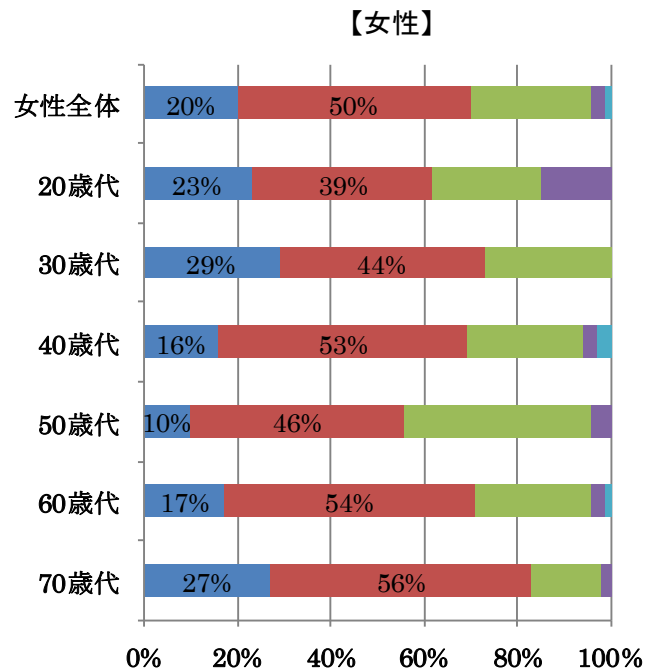
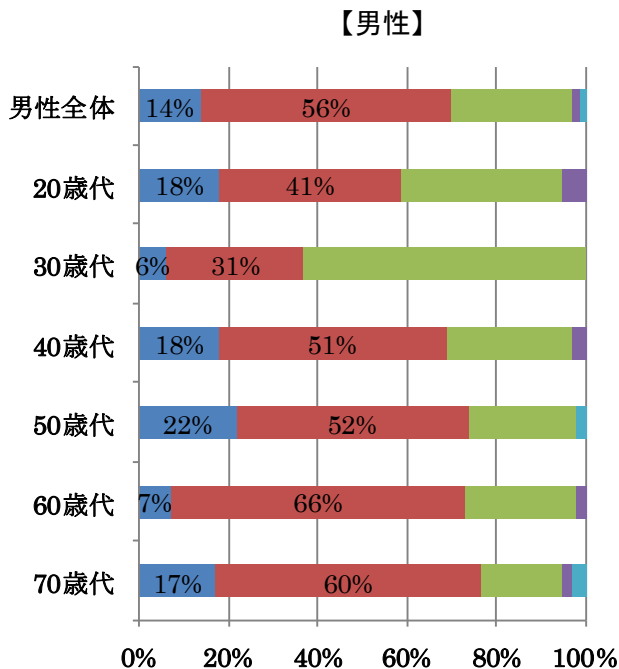
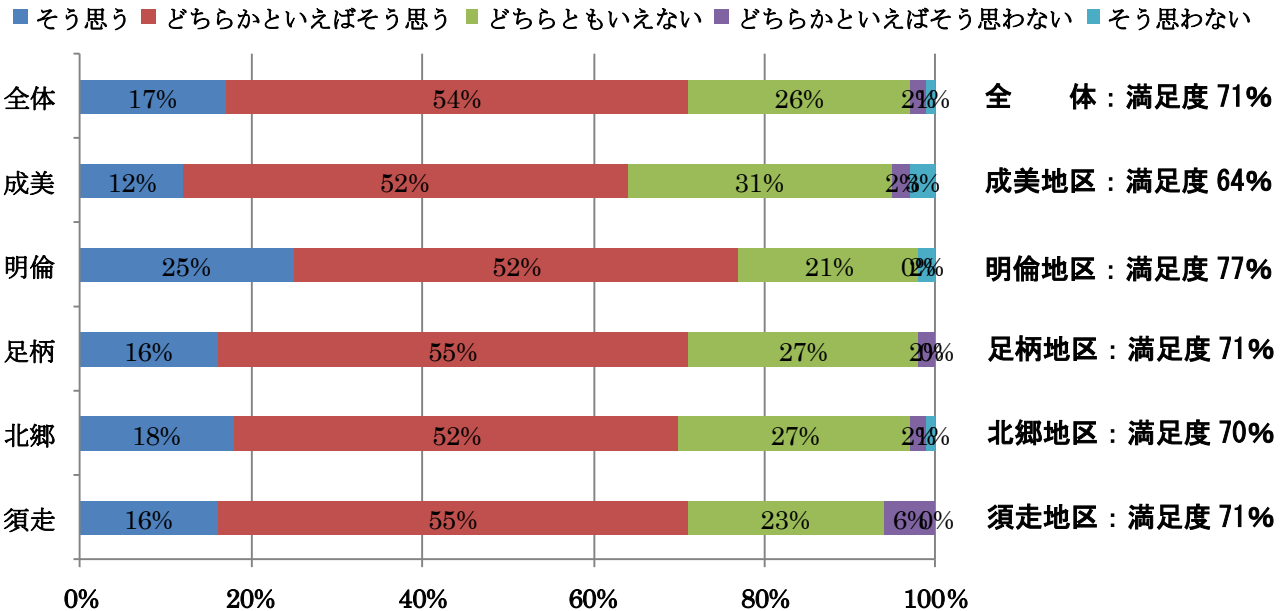


地区別の比較では、成美地区と明倫地区の満足度が他の3地区に比べやや高い傾向にあり、足柄地区の満足度がやや低いです。その他の地区では70%以上の高い満足度を維持しています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに70歳代の満足度が高いという結果になっています。男性では概ね世代が上がるほど満足度が高いという傾向にあります。また、すべての比較において、「どちらかといえばそう思う」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(23) 「消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 71%

上記の値は、前回の69%から今回の71%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

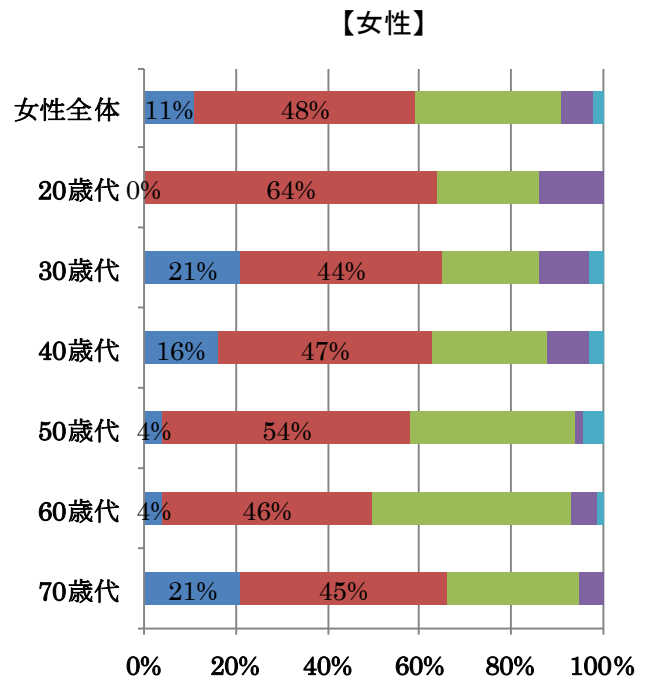
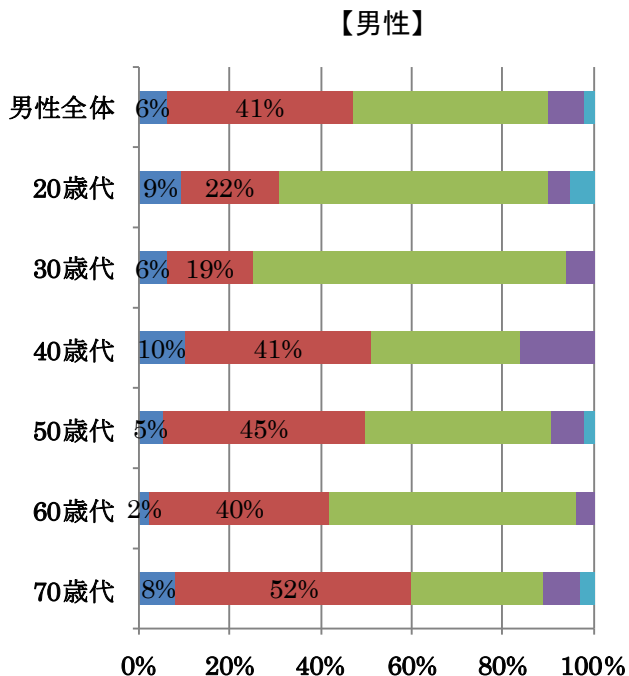
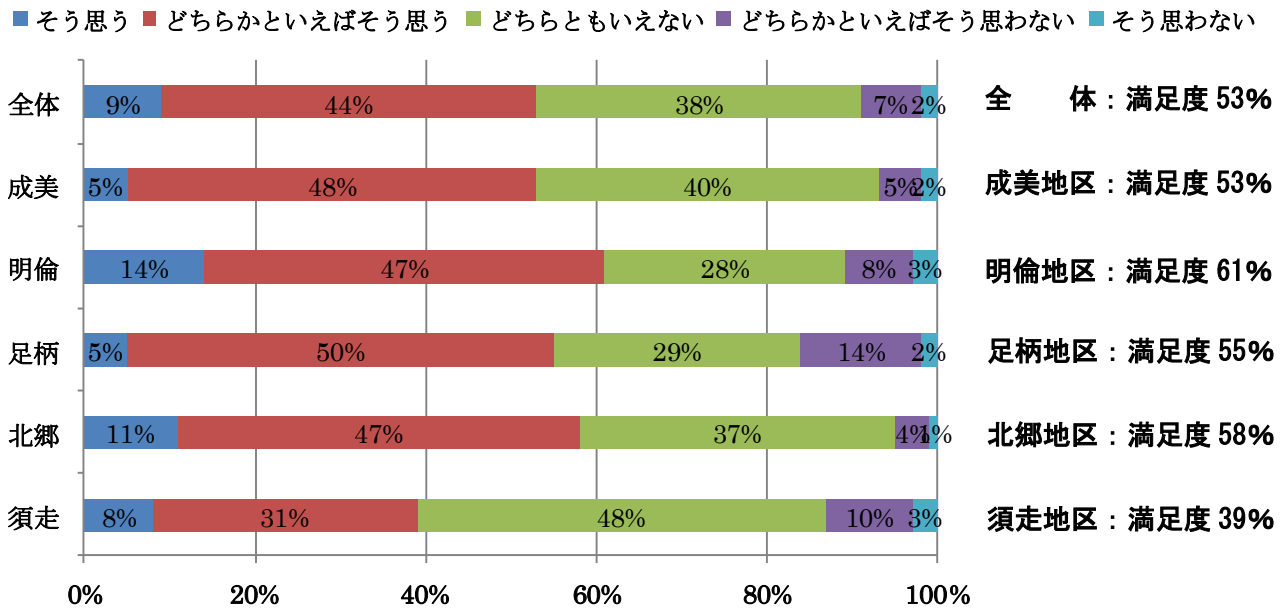


地区別の比較では、成美地区の満足度がやや低めですが、他の4地区の満足度は70%以上という結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性は、高齢者世代に比べて若い世代の満足度が低く、特に30歳代の満足度が低いという結果になっています。女性はばらつきがあり、70歳代の満足度が80%以上と特に高い傾向にあります。

問 8 - (2 4) 「生涯学習活動の機会や場が充実している」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 53%

上記の値は、前回の48%から今回の53%に5%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

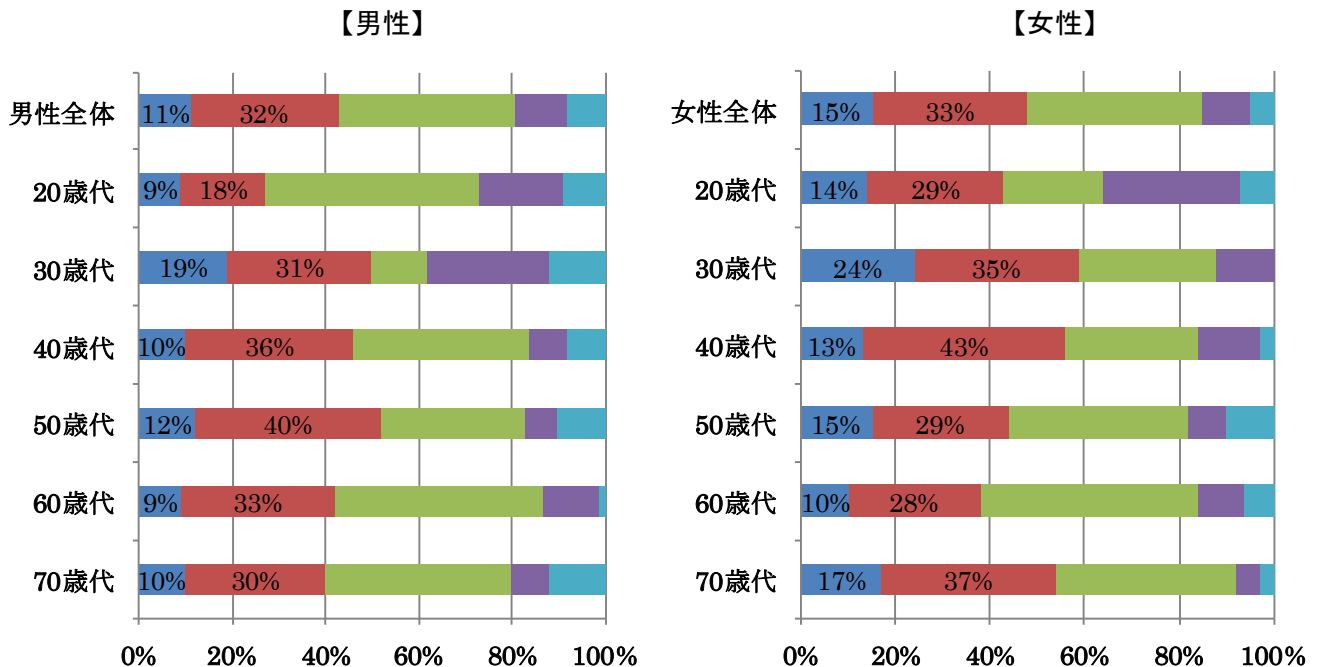
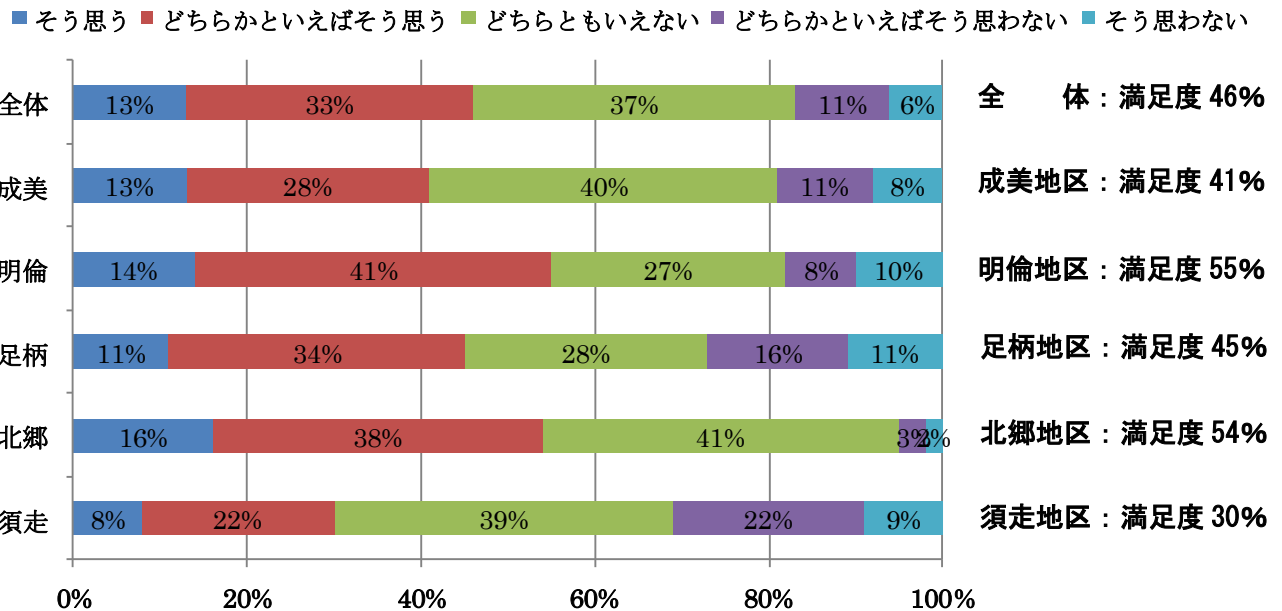


地区別の比較では、須走地区の満足度が低く、他の地区は概ね55%前後の満足度となっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度が高い傾向にあり、男女ともに70歳代の満足度が高いという結果になっています。男性では20歳代と30歳代の若い世代の満足度が他の世代より10%以上低いという結果になっています。

問 8 - (2 5) 「図書館が便利で使いやすい」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 46%

上記の値は、前回の43%から今回の46%に3%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

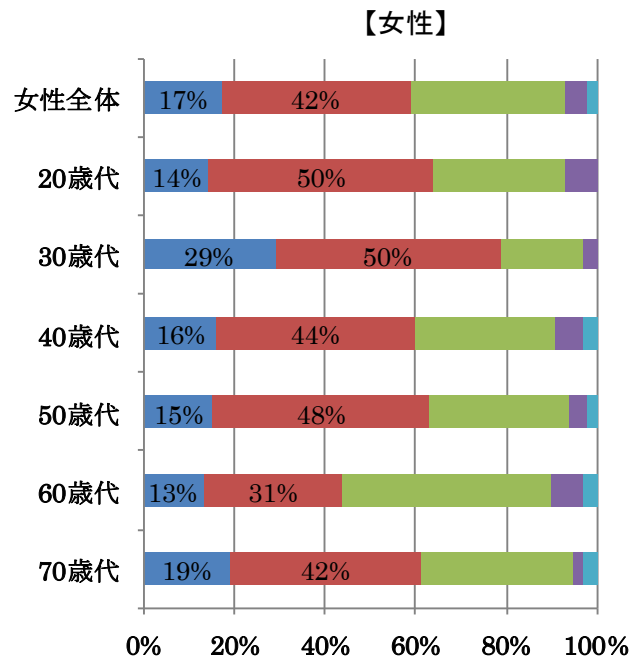
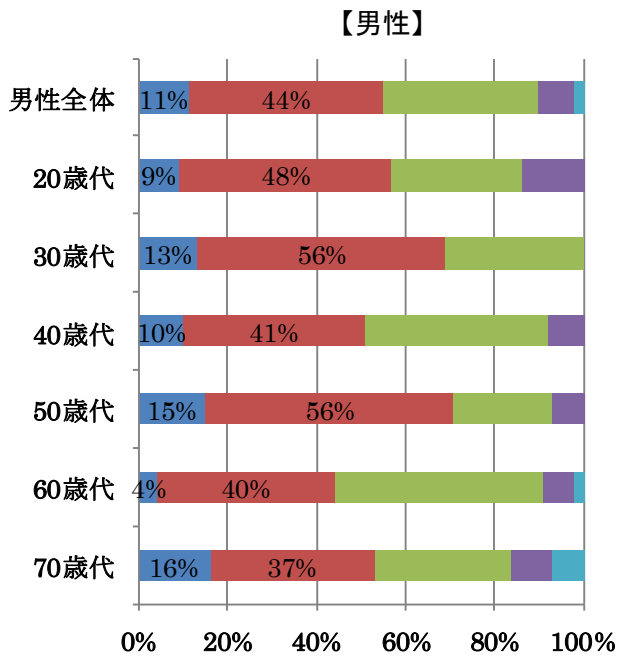
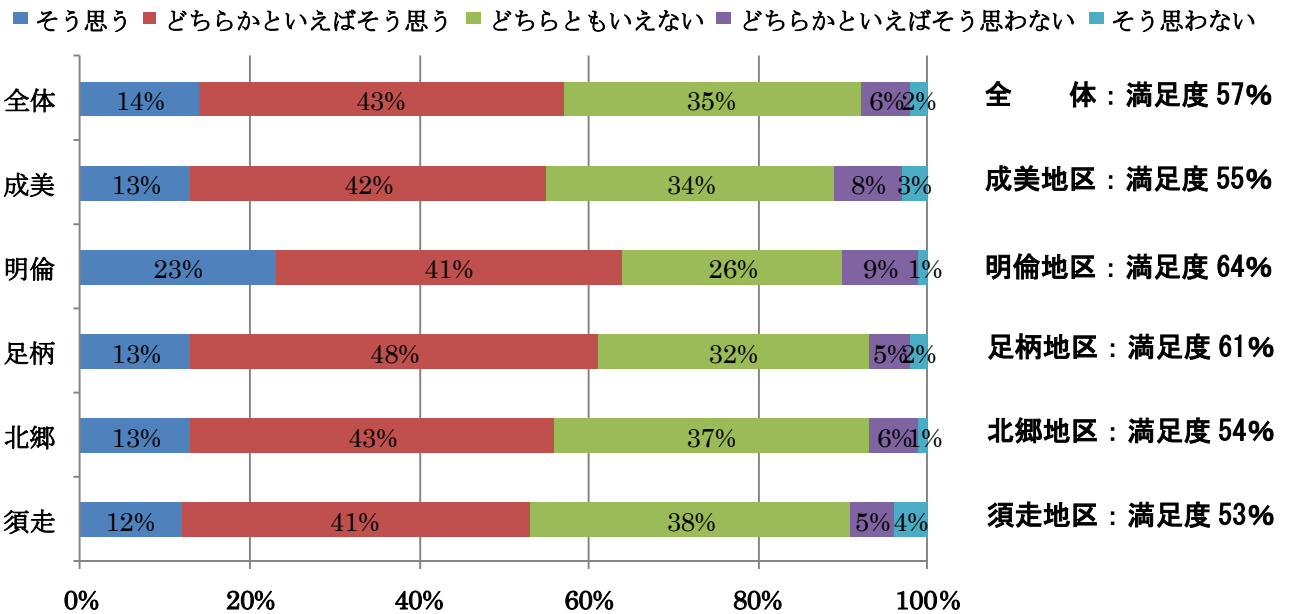


地区別の比較では、明倫地区と北郷地区の満足度が高く、須走地区の満足度が低いという傾向になっています。男女（年齢）別の比較では、ばらつきはあるものの、男女ともに20歳代の満足度が他の世代より低く、30歳代の満足度が高いという傾向にあります。

問8－(26) 「伝統文化や郷土を大切にしている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 57%

上記の値は、前回の54%から今回の57%に3%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

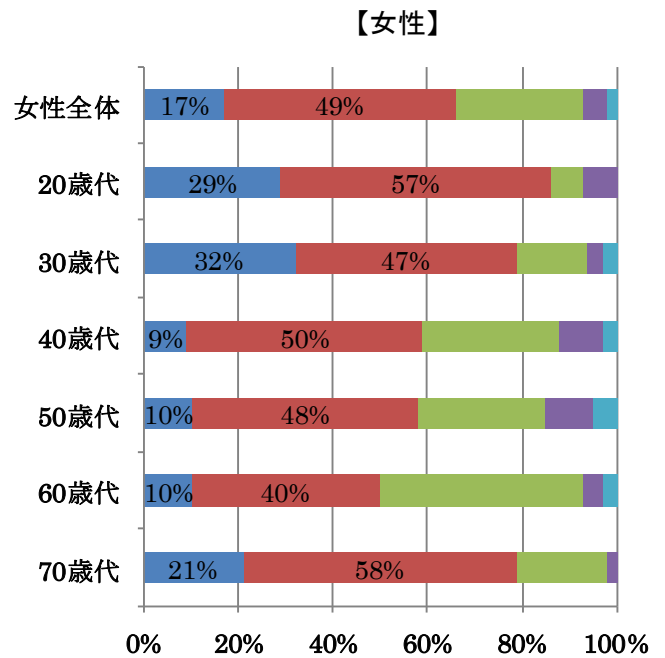
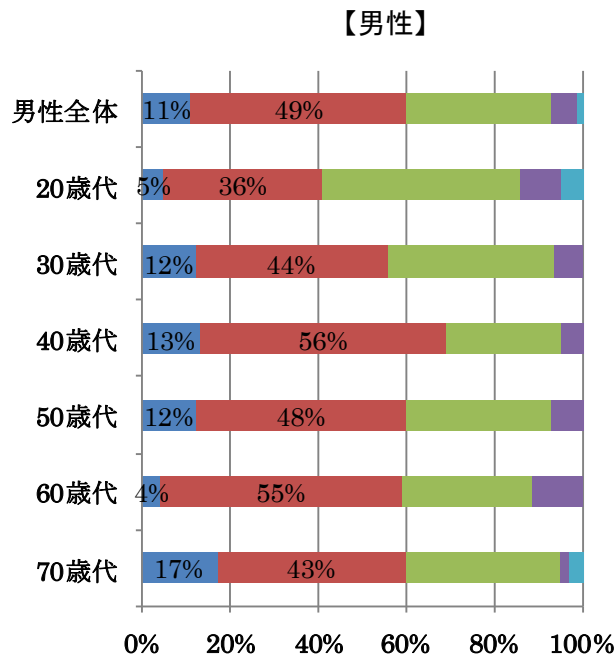
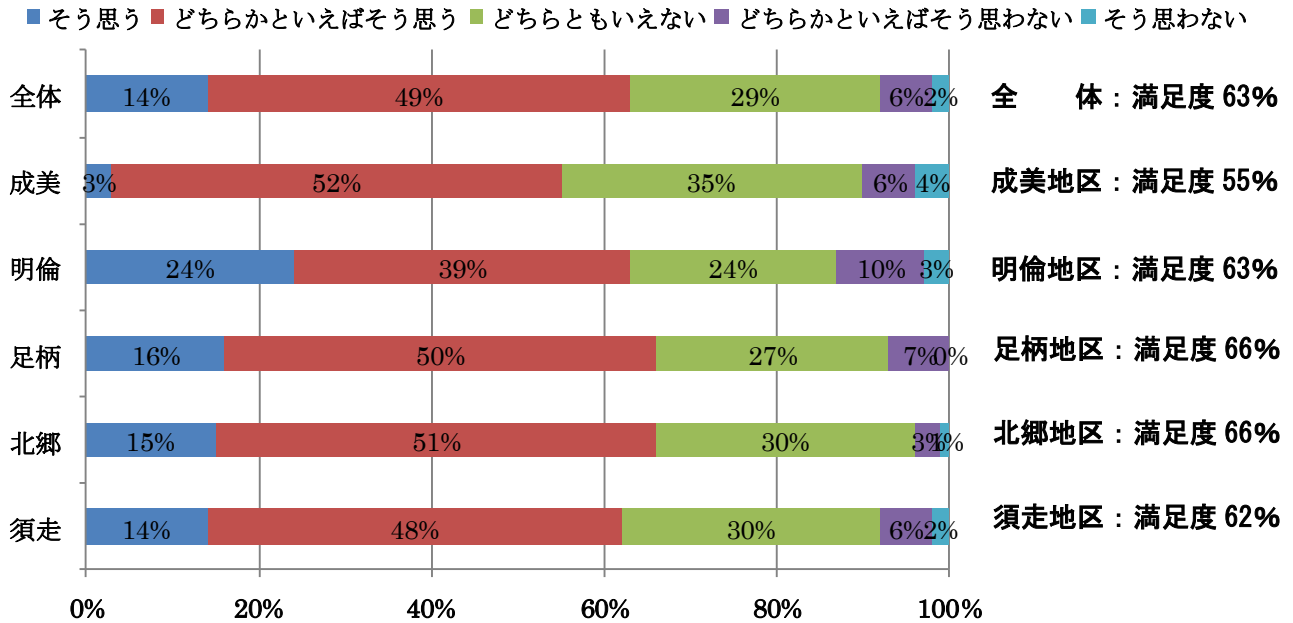


地区別の比較では、明倫地区と足柄地区の満足度が他の3地区よりやや高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに30歳代と50歳代の満足度が高く、60歳代の満足度が低いというグラフ構造になっています。

問 8 - (2 7) 「次世代を担う子どもたちが健やかに成長している」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 63%

上記の値は、前回の65%から今回の63%に2%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

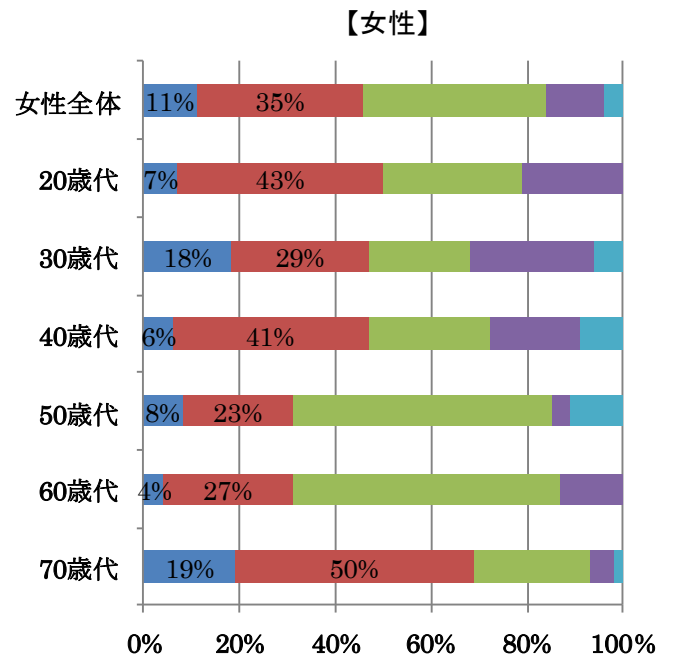
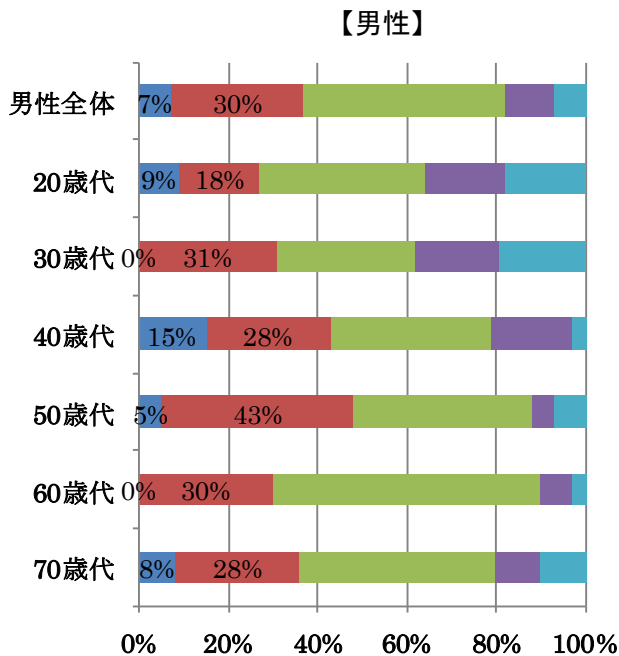
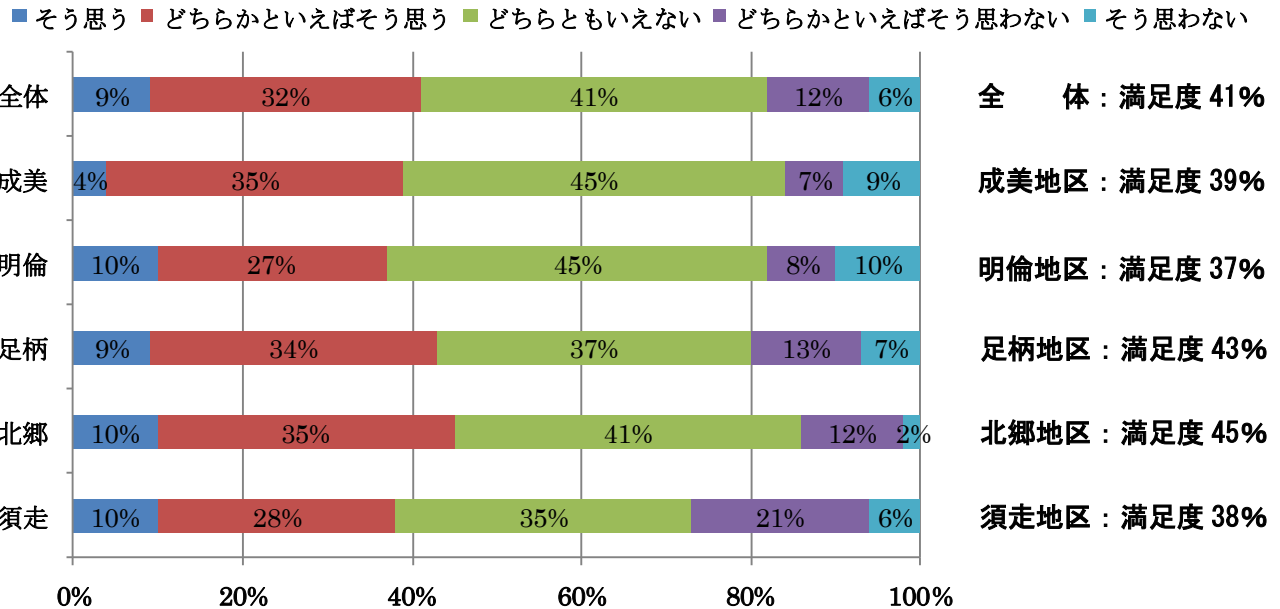


地区別の比較では、足柄地区と北郷地区の満足度がやや高く、成美地区の満足度がやや低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性は、20歳代の満足度が低く、40歳代の満足度が高いという結果になっています。女性では20歳代の満足度が高いという結果になっており、次いで30歳代と70歳代の満足度が高く、60歳代の満足度が低いというグラフ構造になっています。

問8 - (28) 「みんなが気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 41%

上記の値は、前回の40%から今回の41%に1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

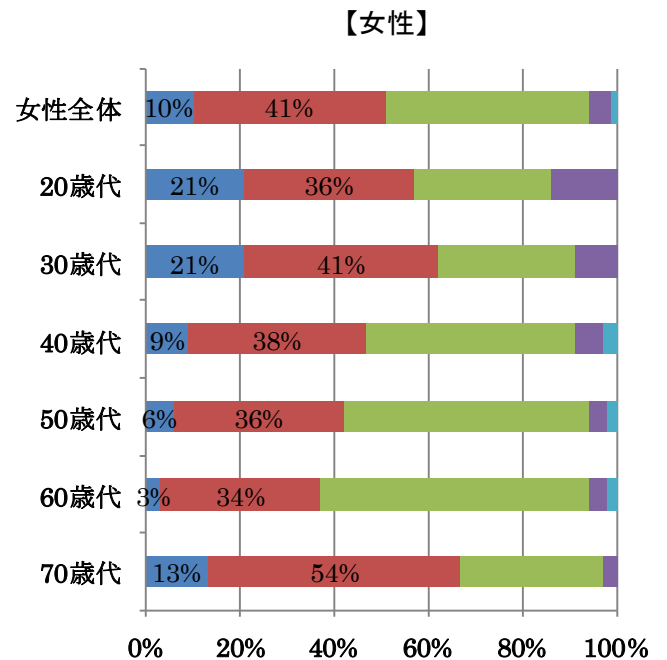
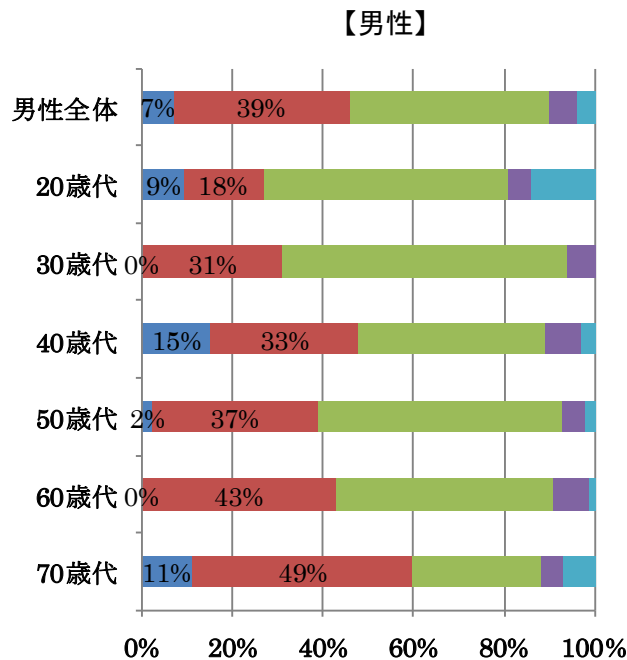
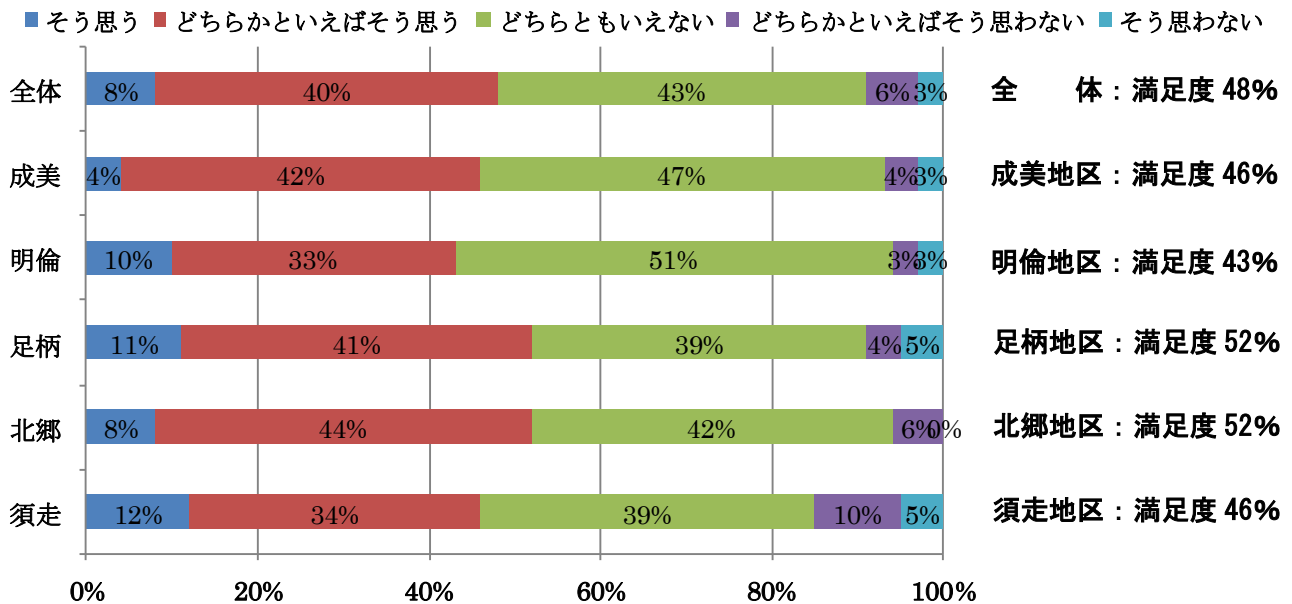


地区別の比較では、概ね40%前後の満足度となっており、北郷地区がやや満足度が高いという傾向になっています。男女（年齢）別の比較では、50歳代以外では男性より女性の方が満足度が高い傾向にあります。女性では、50歳代と60歳代の満足度が低いのにに対して、70歳代の満足度が69%で平均よりもかなり高いという結果になっています。

問 8 - (2 9) 「生きる力をはぐくむ学校教育が行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 48%

上記の値は、前回の45%から今回の48%に3%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

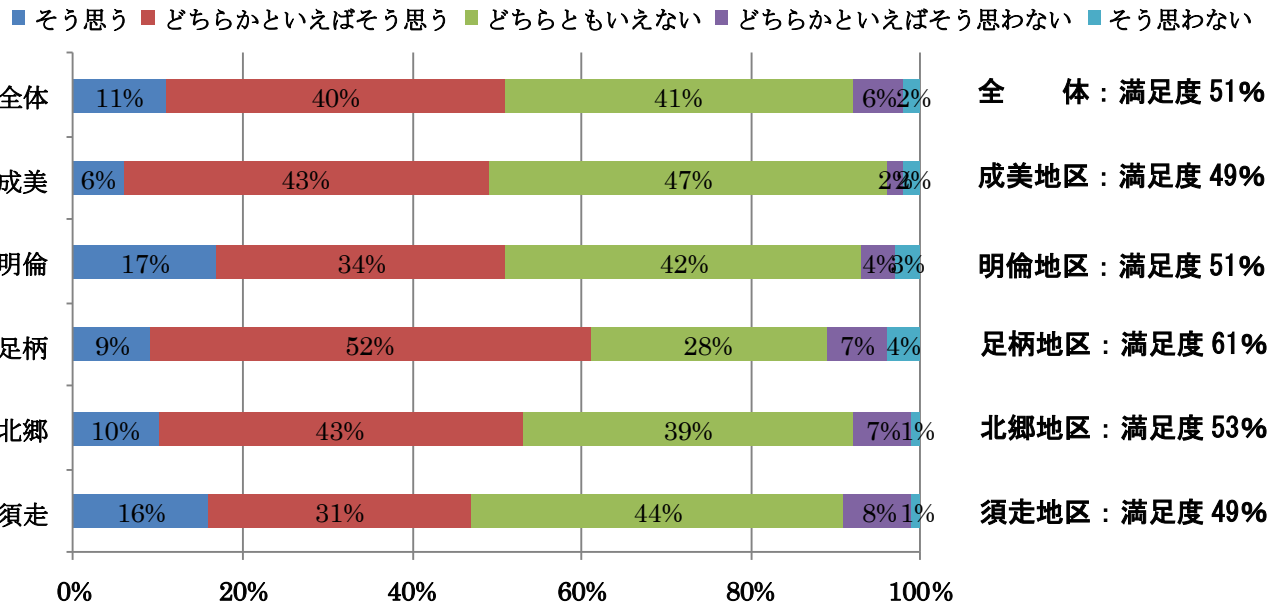


地区別の比較では、概ね平均値前後の満足度で、足柄地区と北郷地区の満足度がやや高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに70歳代の満足度が他の世代と比べて高いという結果になっています。男性では、20歳代の満足度が低く、40歳代の満足度がやや高い以外は世代が上がるほど満足度が高いという傾向にあります。女性では、20歳代、30歳代といった若い世代の満足度が高く、40歳代～60歳代の満足度が低いという結果になっています。

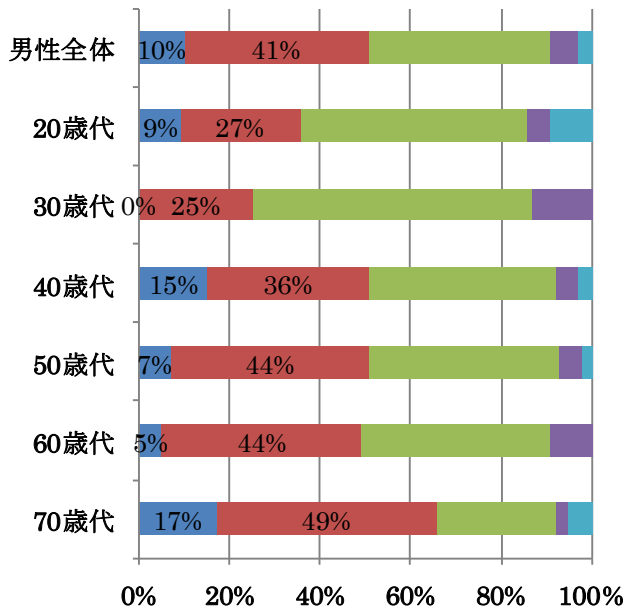
問8－(30) 「子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携が取れている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 51%

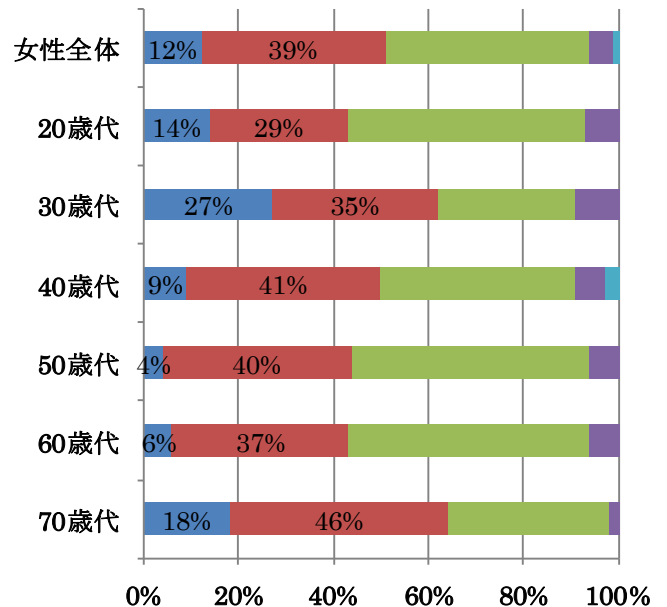
上記の値は、前回の49%から今回の51%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

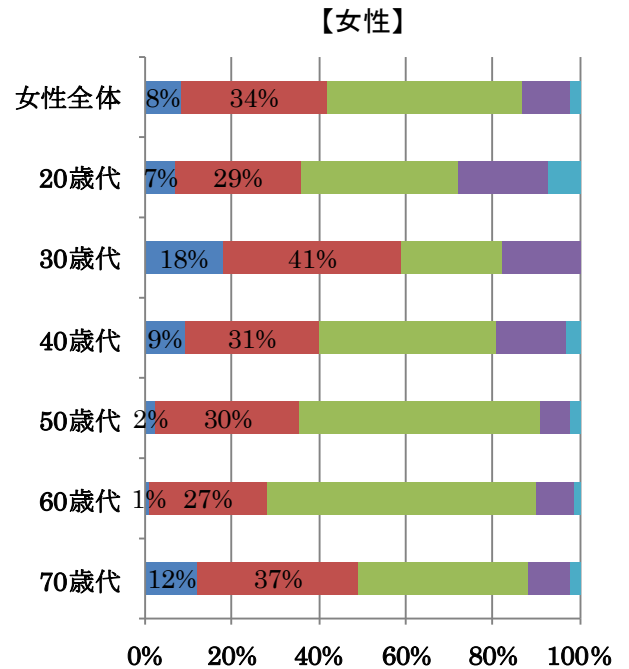
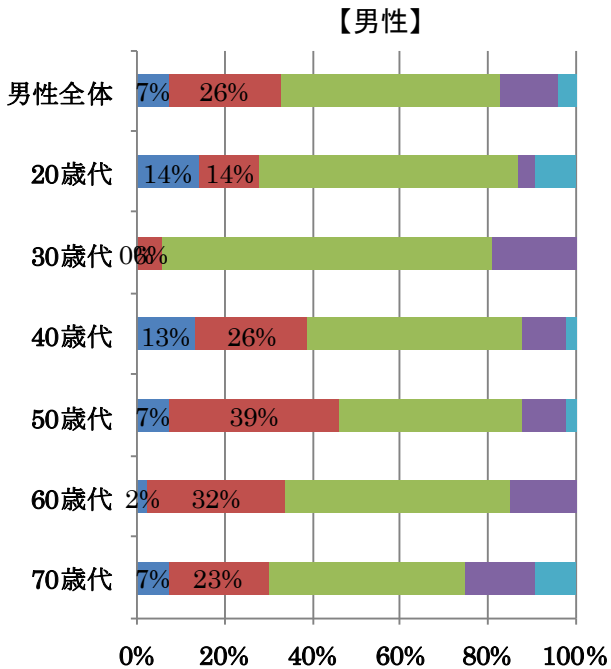
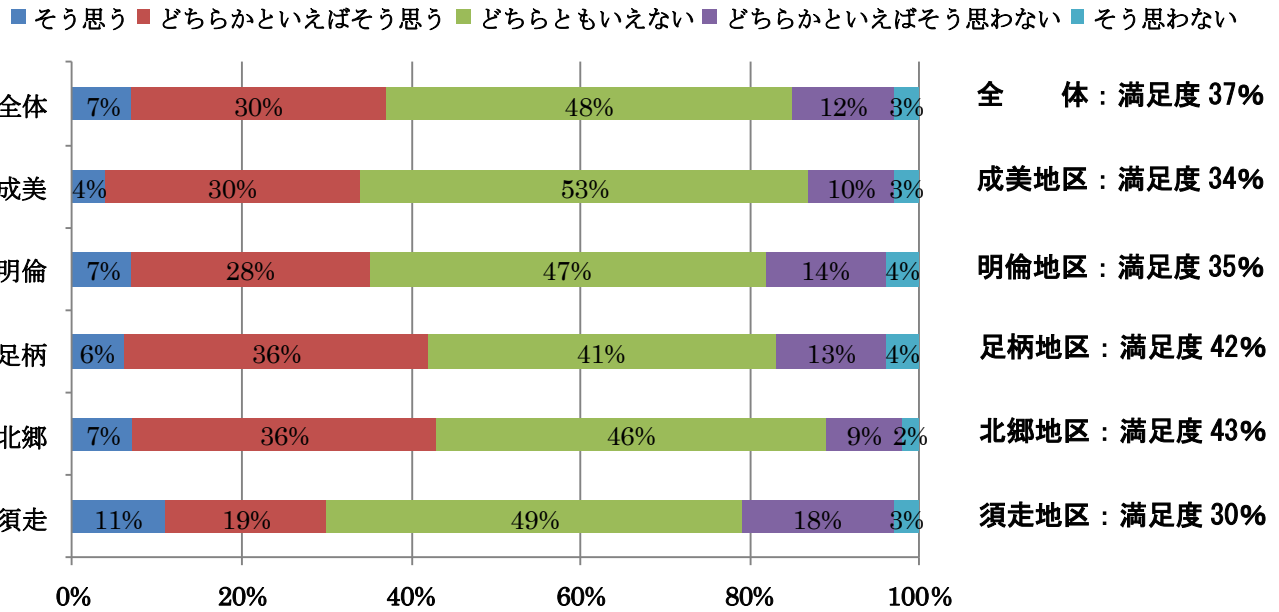


地区別の比較では、足柄地区の満足度が高く、他の地域は概ね40%前後の満足度となっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに70歳代の満足度が他の世代より高くなっています。男性では30歳代の満足度が他の世代よりも低いのにに対し、女性では30歳代の満足度が62%で70歳代に次いで高いという結果になっています。

問 8 - (3 1) 「地域間交流や国際交流が活発に行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 37%

上記の値は、前回調査時と同様の 37%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

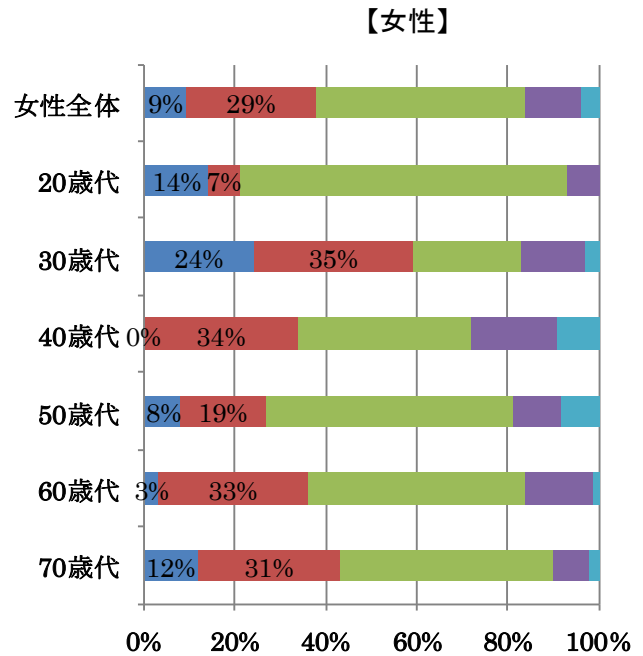
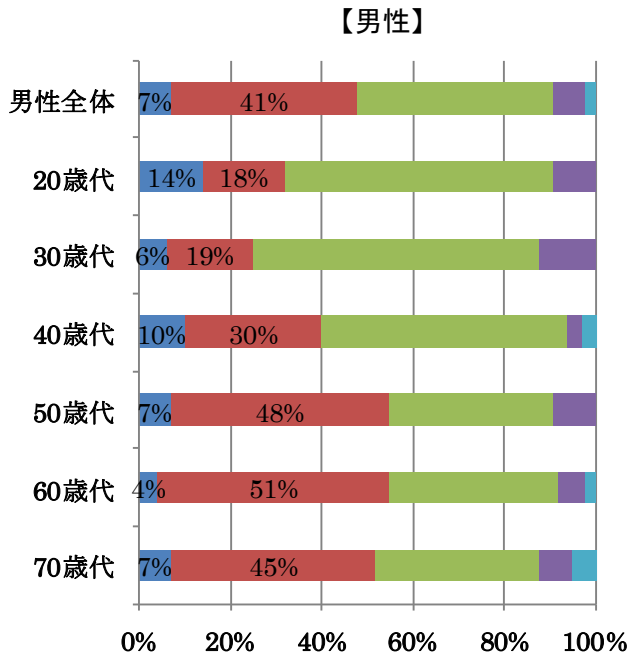
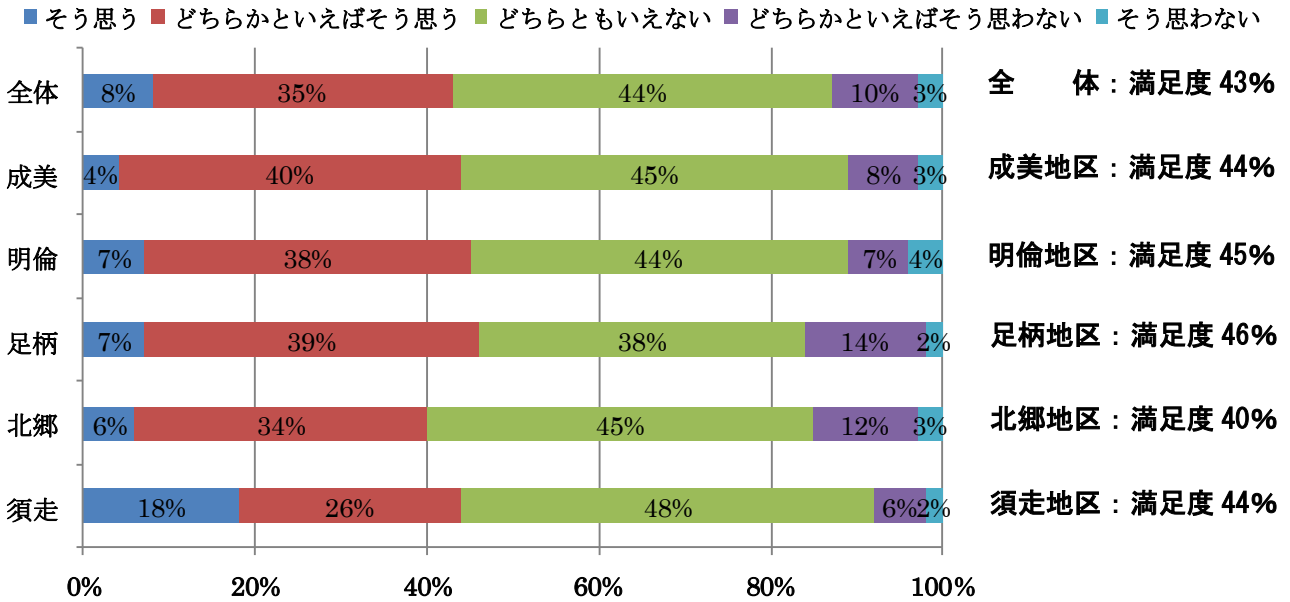


地区別の比較では、足柄地区と北郷地区の満足度が高く、須走地区の満足度が低いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性より女性の方が満足度が高い傾向にあります。男性では30歳代の満足度が非常に低くなっているのに対して、女性では逆に30歳代の満足度が最も高くなっています。

問8－(32) 「普段の生活の中で、男女が平等である」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 43%

上記の値は、前回の42%から今回の43%に1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

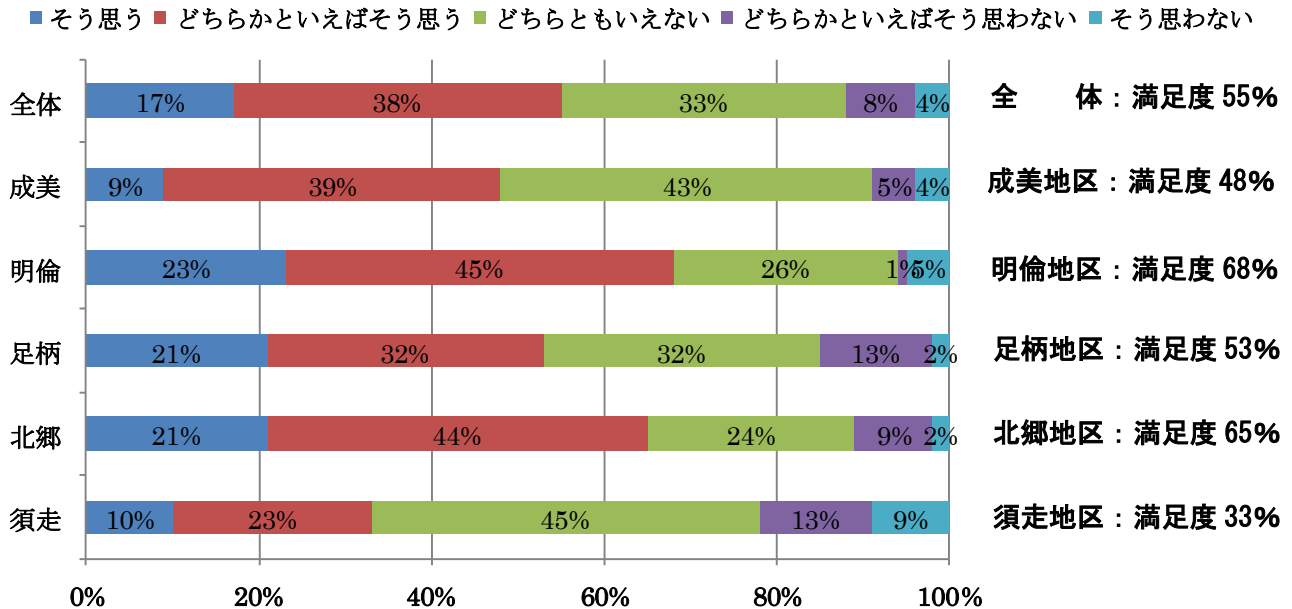


地区別の比較では、北郷地区の満足度がやや低いものの、概ね全体の平均に近い満足度となっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度が“低い”傾向にあります。男性では50歳代～70歳代の世代に比べて20歳代～40歳代の若い世代の満足度が低く、特に30歳代の満足度が低いという結果になっています。女性では、30歳代の満足度が突出して高いという結果になっています。

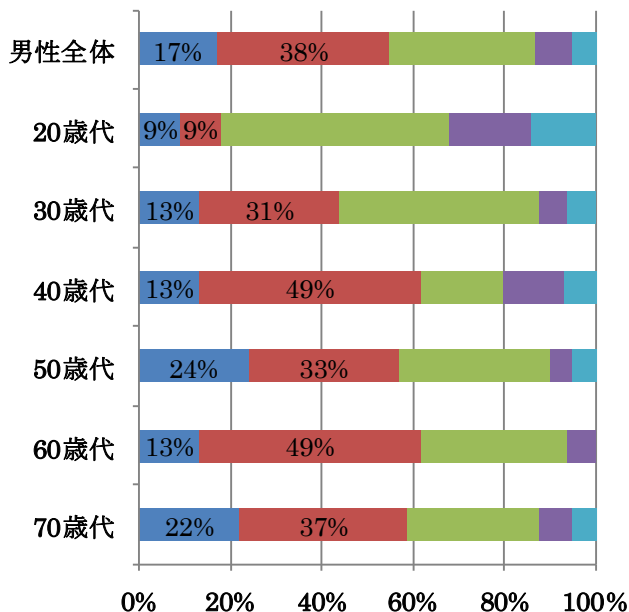
問 8 - (3 3) 「企業誘致を活発に進めている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 55%

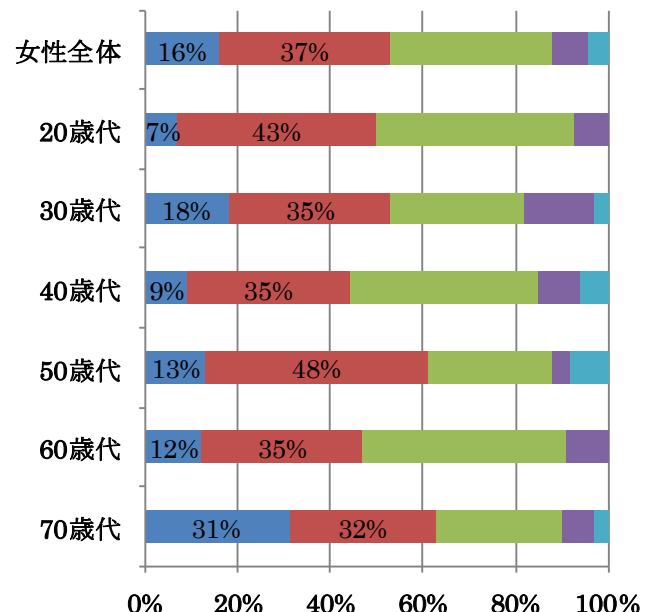
上記の値は、前回の48%から今回の55%に7%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

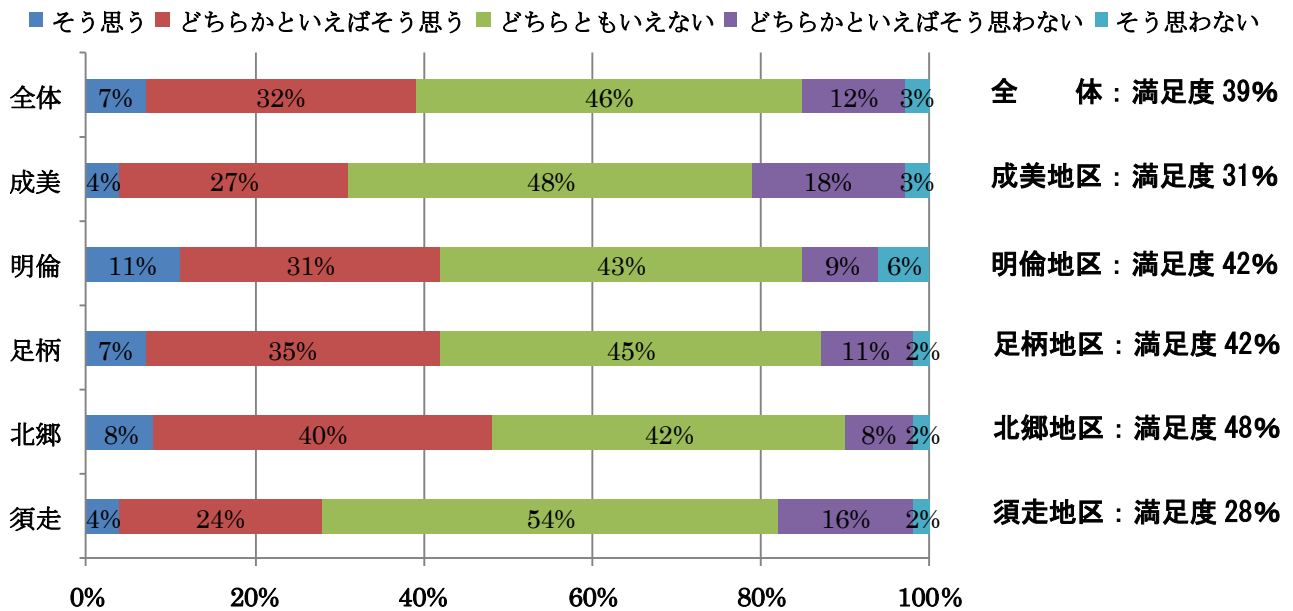


地区別の比較では、明倫地区と北郷地区の満足度がかなり高く、須走地区の満足度がかなり低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性の20歳代の満足度が非常に低くなっています。

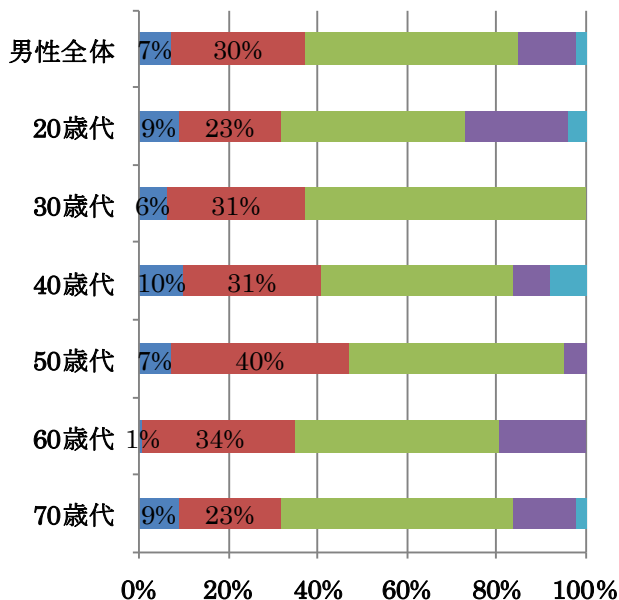
問8－(34) 「小山町が“農業”の活性化に取り組んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 39%

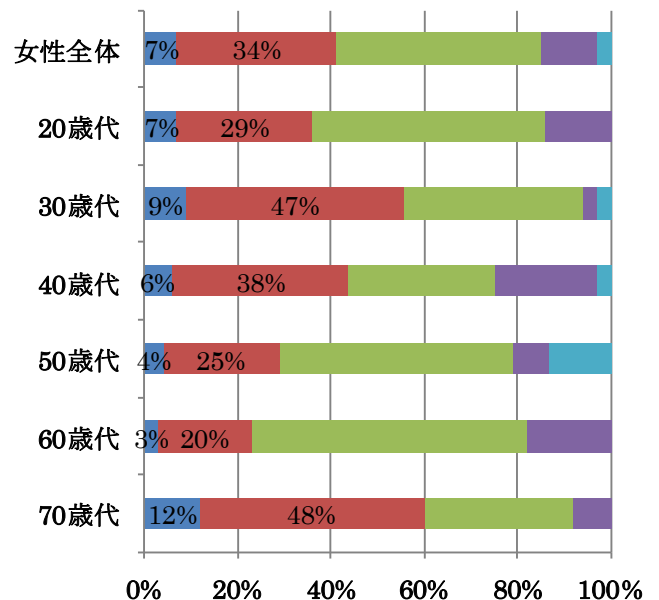
上記の値は、前回の37%から今回の39%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

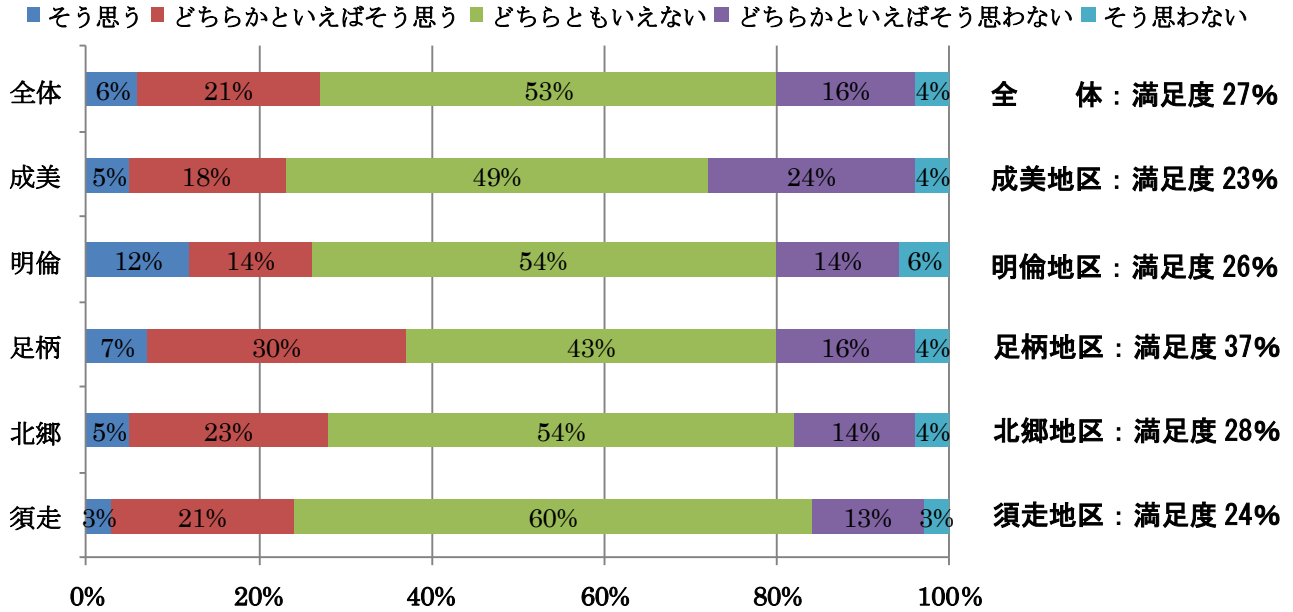


地区別の比較では、北郷地区の満足度が高く、成美地区と須走地区の満足度が低いという結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、50歳代の満足度がやや高くなっています。女性では、30歳代から60歳代にかけて満足度が順に低くなっていき、70歳代で満足度がとても高くなっています。

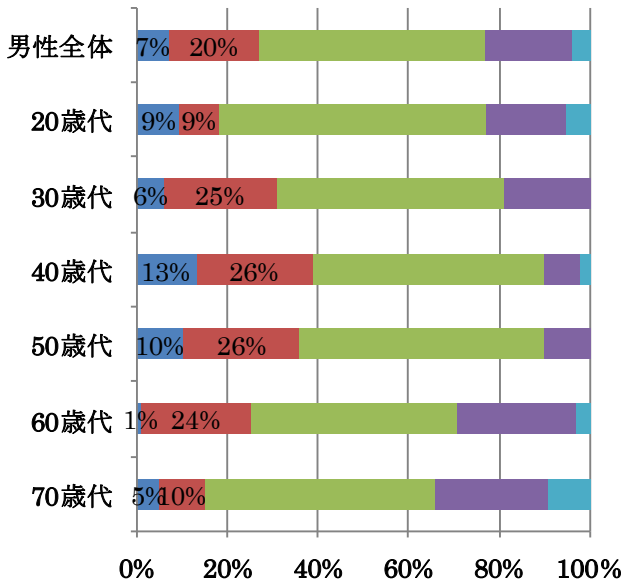
問 8 - (3 5) 「小山町が“林業”の活性化に取り組んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 27%

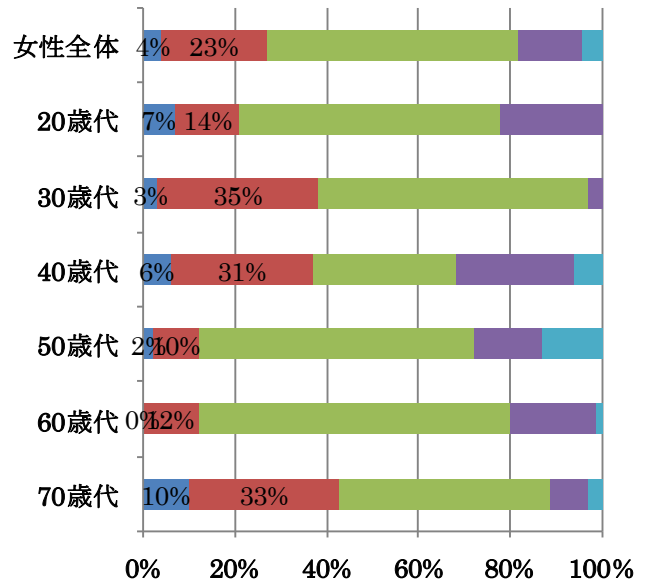
上記の値は、前回調査時と同様の 27%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

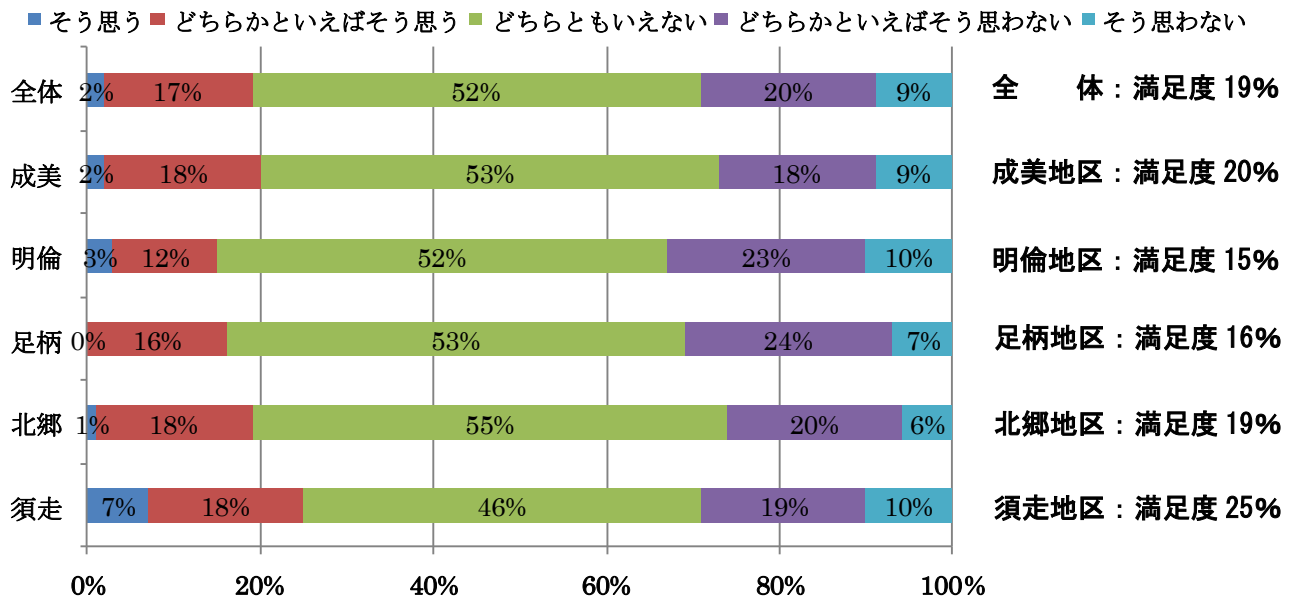


地区別の比較では、足柄地区の満足度が他の地区と比べて高くなっていますが、全体的に満足度が低い傾向にあります。男女（年齢）別の比較では、男性では 20 歳代と 70 歳代、女性では 20 歳代、50 歳代、60 歳代が、他の世代と比べて低い傾向にあります。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

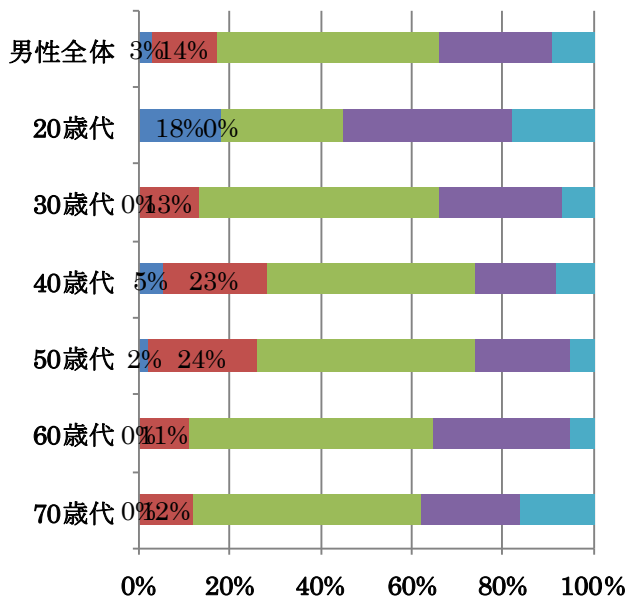
問 8 - (3 6) 「町内の観光施設等で外国語表記が充実している」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 19%

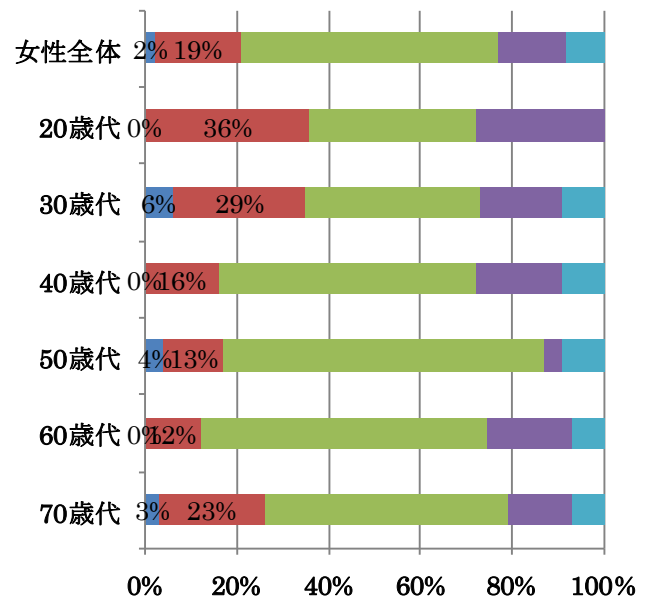
上記の値は、前回の20%から今回の19%に1%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

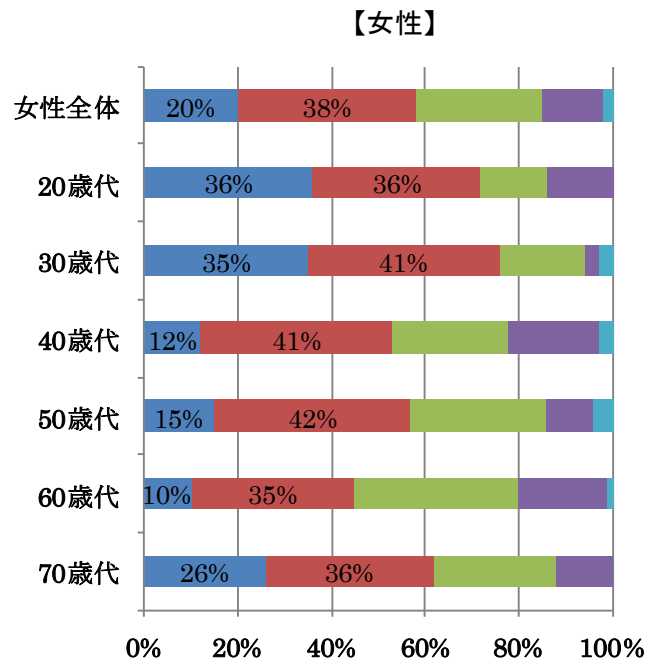
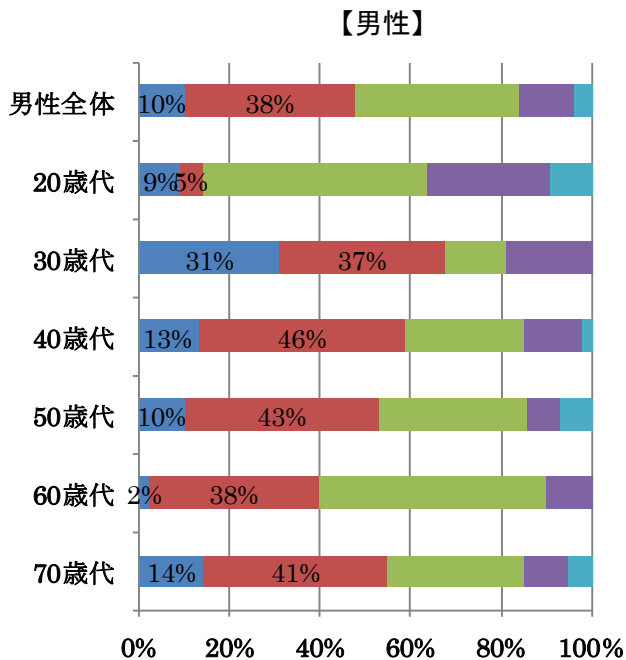
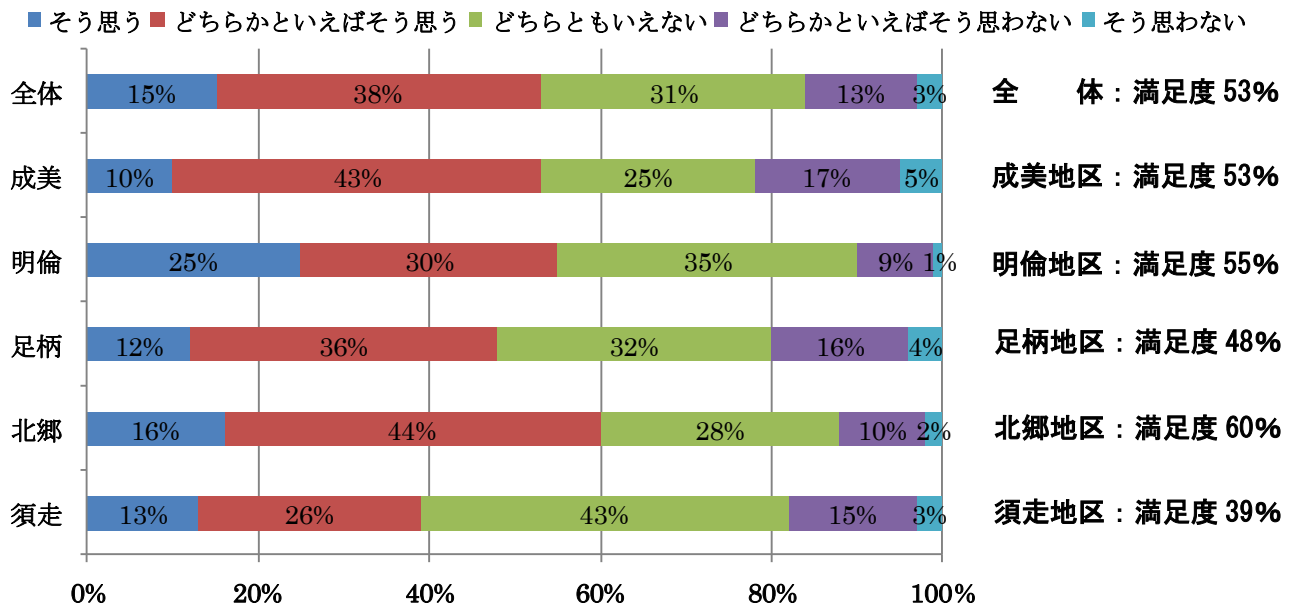


地区別の比較では、須走地区の満足度がやや高く、明倫地区と足柄地区の満足度がやや低いですが、全体的に満足度は低い傾向にあります。男女（年齢）別の比較でも、男性では40歳代と50歳代、女性では20歳代と30歳代が他の世代と比べてやや高いものの、全体的に満足度は低い傾向にあります。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(37) 「金太郎生誕の地おやま」のPRが行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 53%

上記の値は、前回の51%から今回の53%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

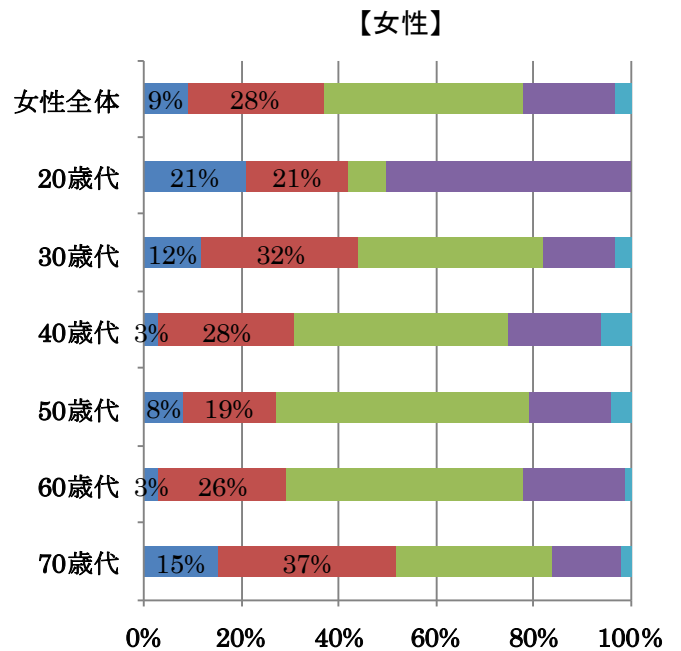
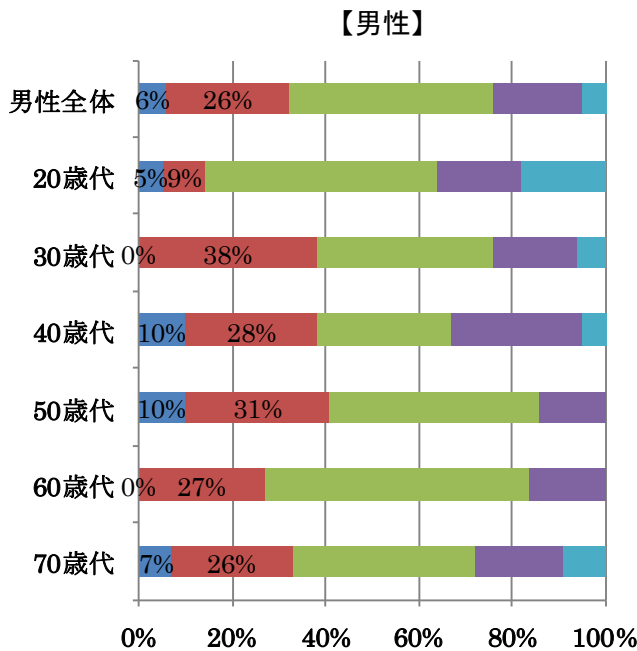
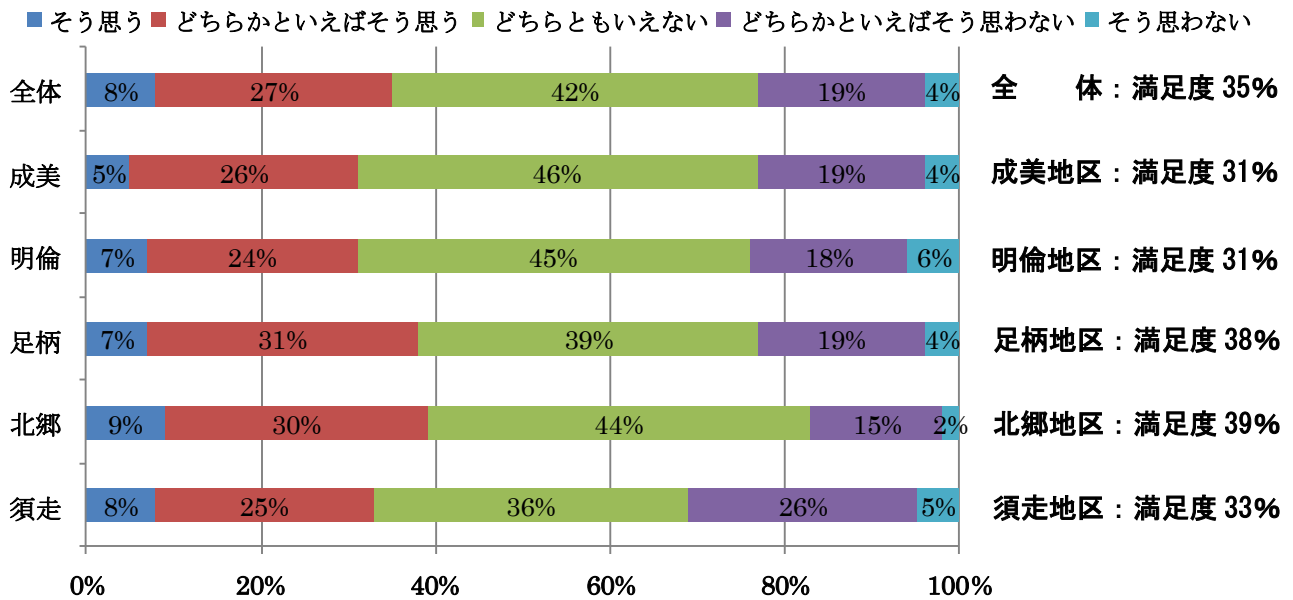


地区別の比較では、北郷地区の満足度が高く、須走地区の満足度が低いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性の20歳代の満足度が非常に低くなっています。女性では、20歳代と30歳代の若い世代は70%以上の高い満足度になっています。

問 8 - (3 8) 「富士山須走口について情報発信が行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 35%

上記の値は、前回の30%から今回の35%に5%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

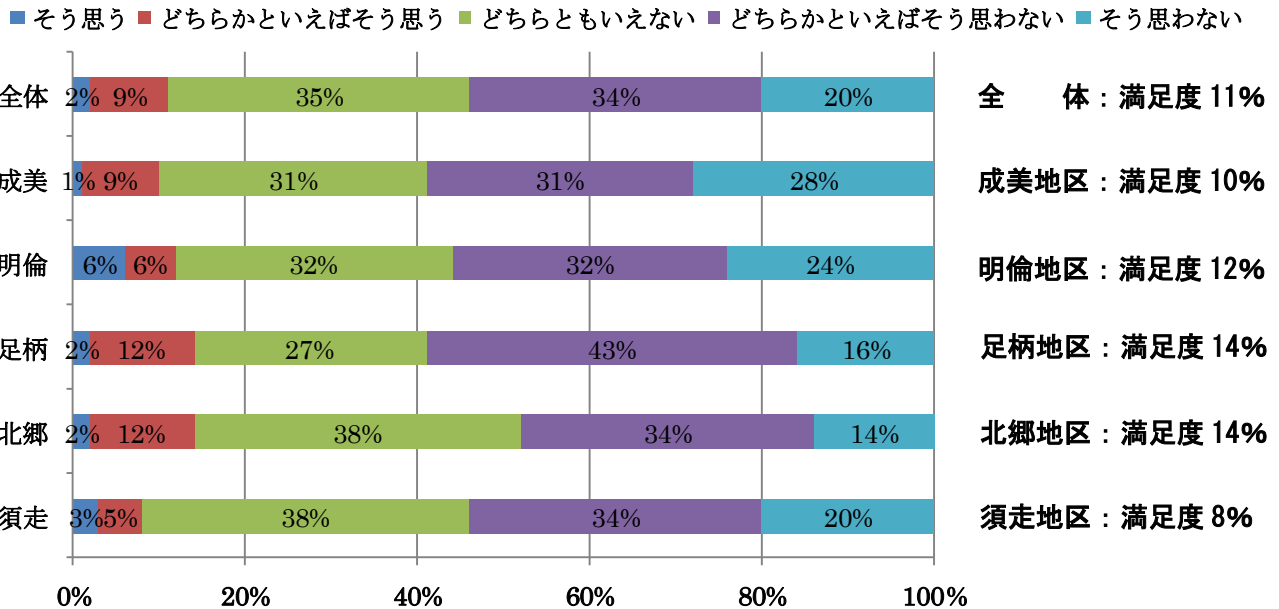


地区別の比較では、足柄地区と北郷地区の満足度が、他の3地区に比べてやや高い傾向にあります。男女（年齢）別の比較では、男性の20歳代の満足度が非常に低くなっています。また、男女ともに60歳代の満足度が低い傾向にあります。

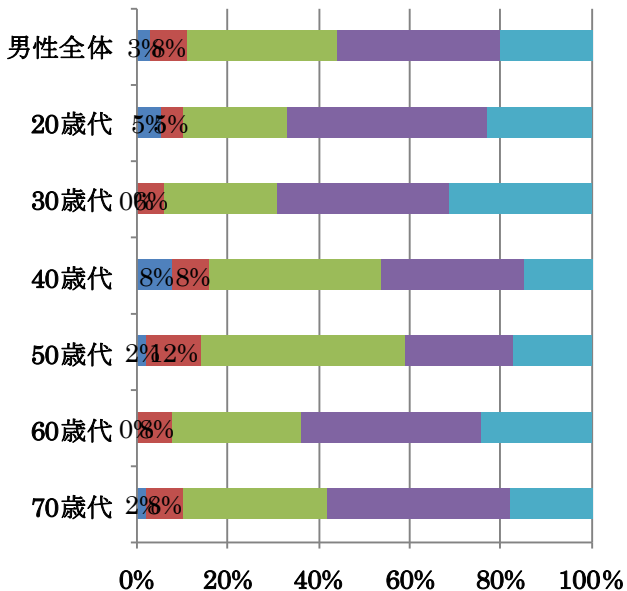
問8－(39) 「賑わいのある商業地づくりを行っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 11%

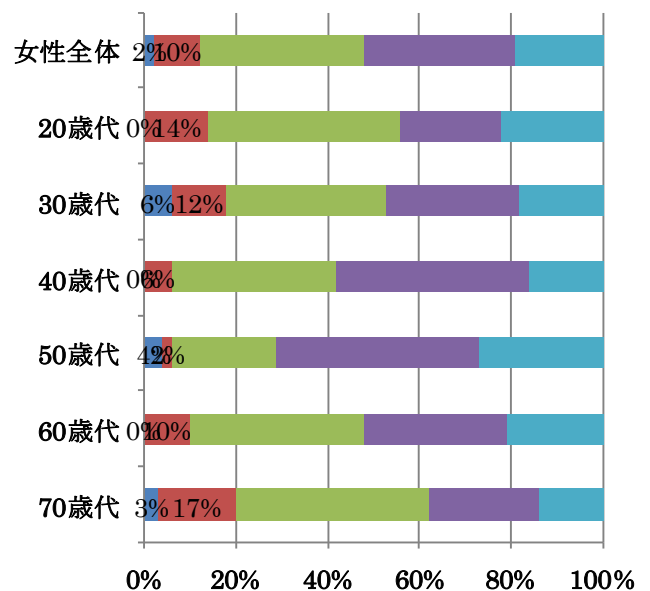
上記の値は、前回調査時と同様の11%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

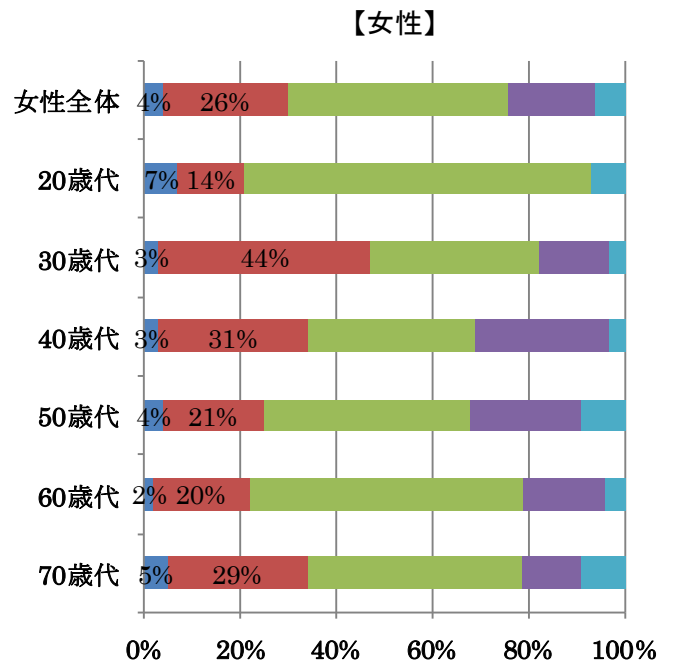
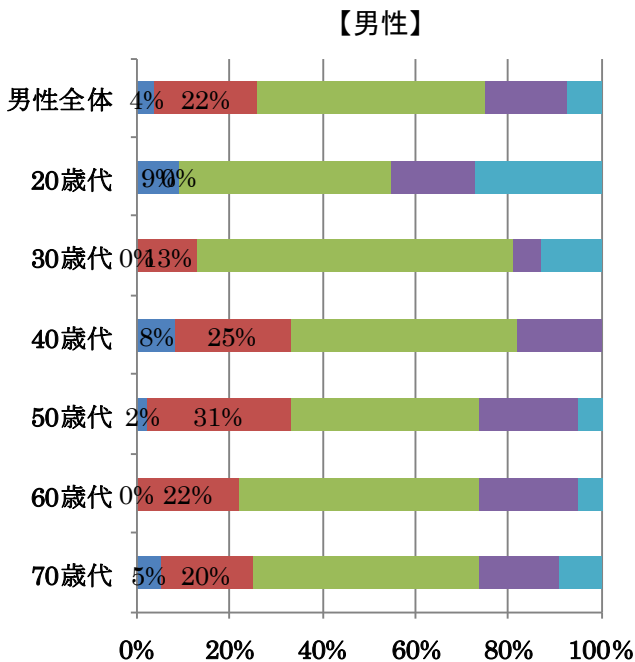
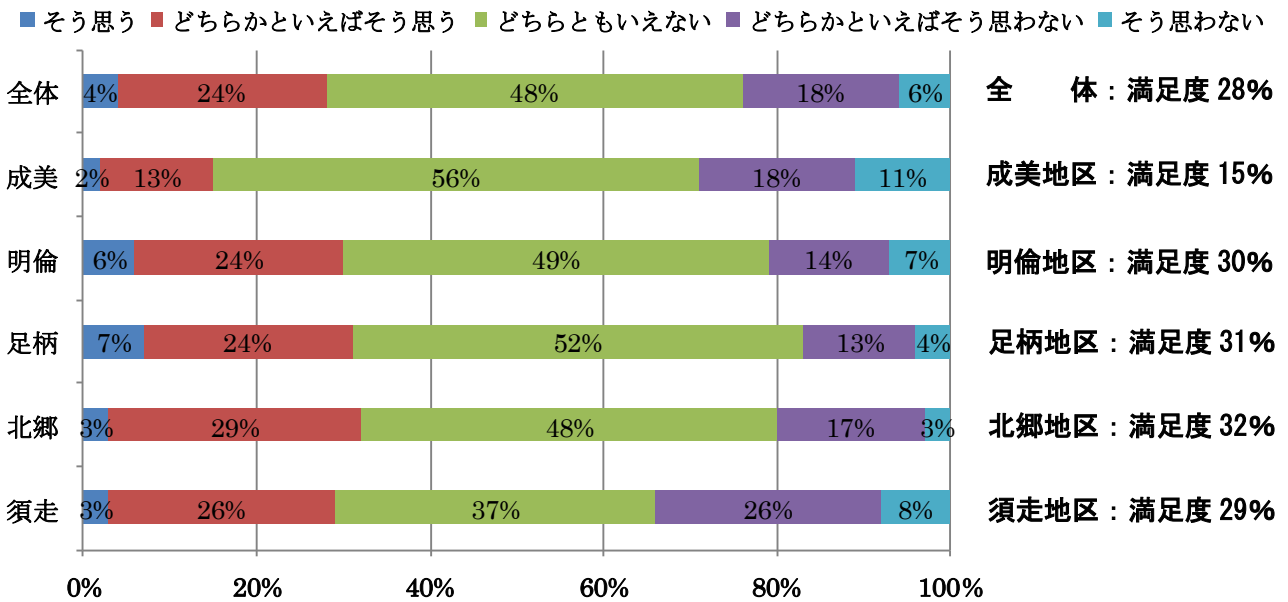


地区別の比較では、満足度は全体的に低い傾向にあります。特に須走地区の満足度は低いという結果になっています。男女（年齢）別の比較でも、全体的に低い満足度となっており、特に男性の30歳代と60歳代、女性の20歳代、40歳代、60歳代については、「そう思う」を選択する人の割合が0%という結果になっています。

問 8 - (4 0) 「周辺市町村との連携が進んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 28%

上記の値は、前回の26%から今回の28%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

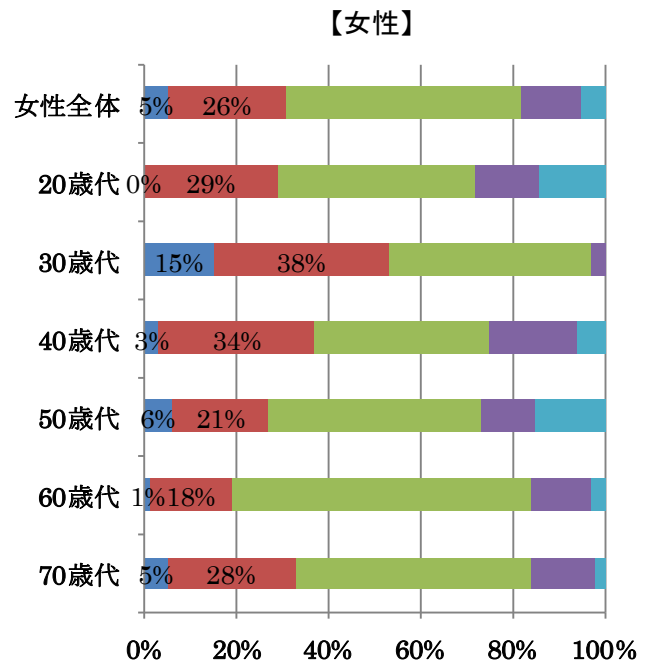
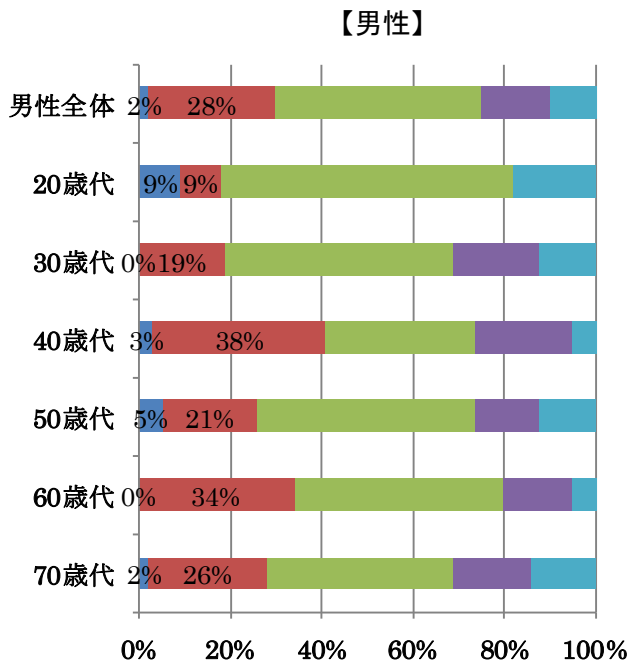
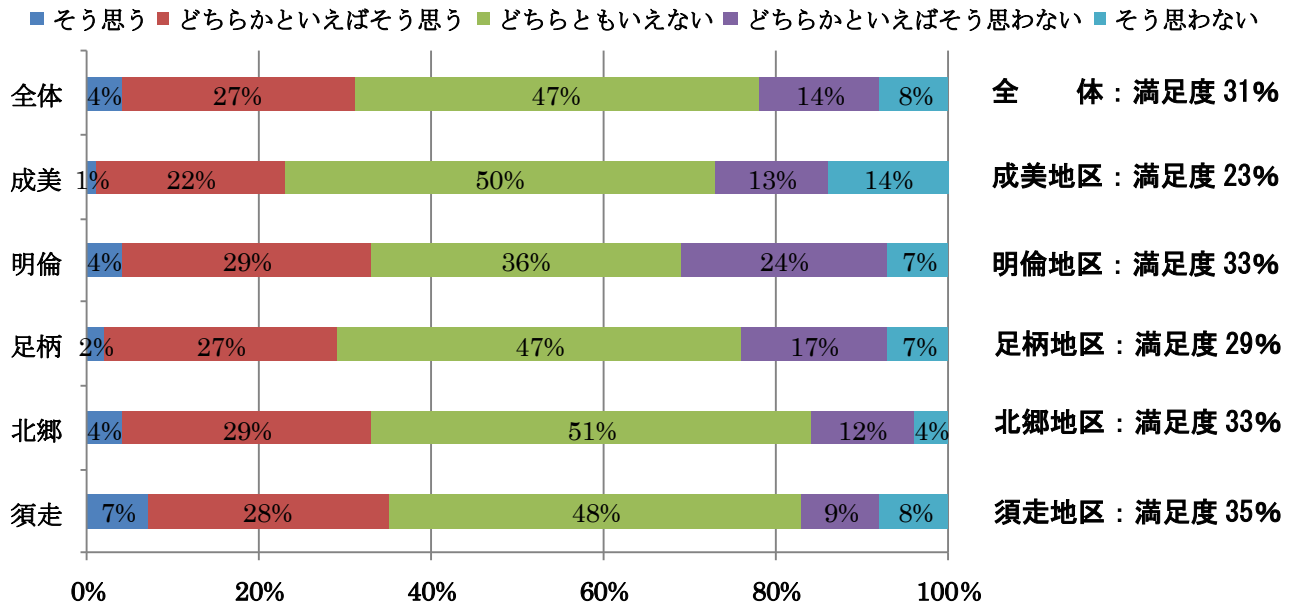


地区別の比較では、成美地区の満足度が他の4地区と比べて低いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性の20歳代から30歳代の満足度が低いという結果になっています。女性では、30歳代の満足度が他の世代と比べて高く、20歳代、50歳代、60歳代の満足度が低いという結果になっています。

問8－(41) 「町の財政運営が健全である」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 31%

上記の値は、前回の28%から今回の31%に3%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

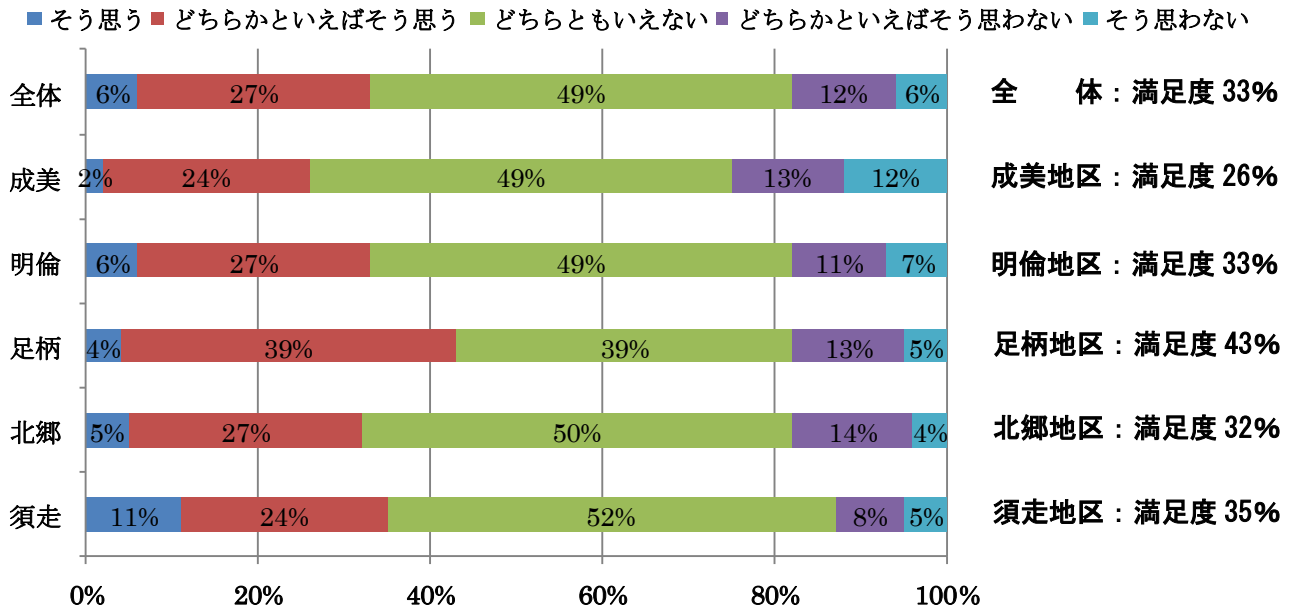


地区別の比較では、成美地区の満足度が他の地区と比べて低いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性では、20歳代から30歳代の満足度が低く、40歳代の満足度が高いという結果になっています。女性では、30歳代の満足度が高く、60歳代の満足度が低いという結果になっています。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

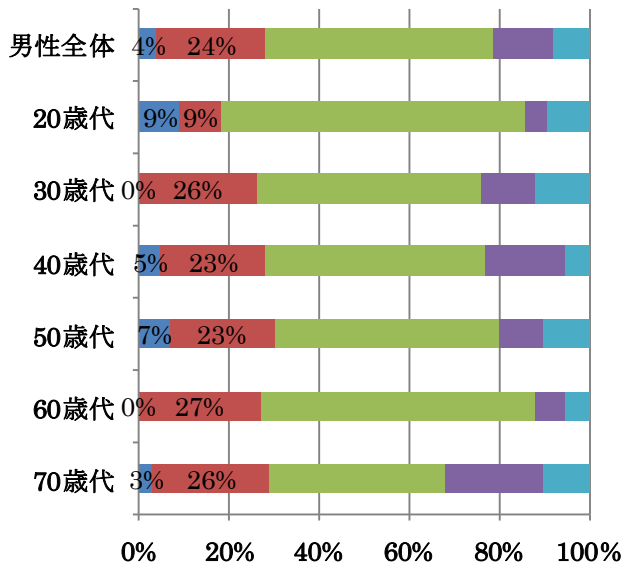
問8－(42) 「町民のための行政運営が行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 33%

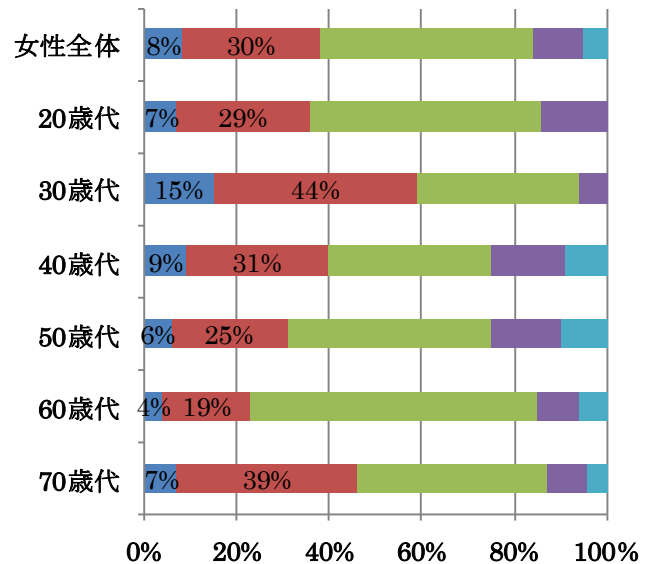
上記の値は、前回の32%から今回の33%に1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

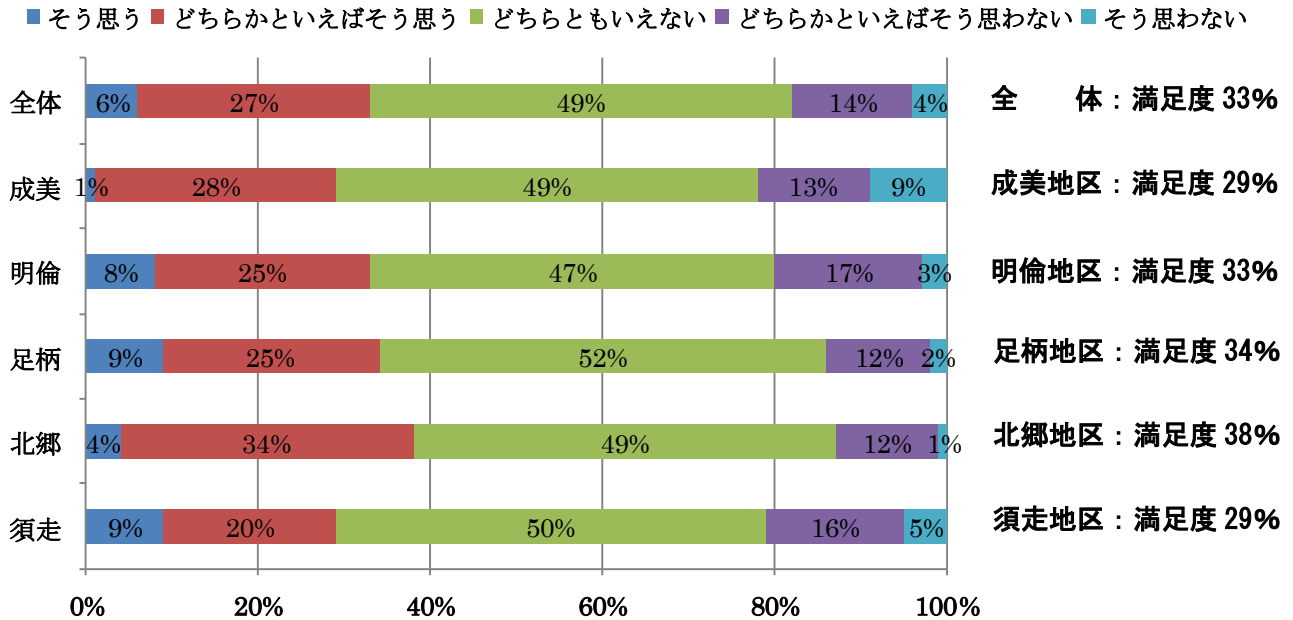


地区別の比較では、足柄地区の満足度が高く、成美地区の満足度が低いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度が高い傾向にあります。男性では、20歳代の満足度が他の世代と比べて低いという結果になっています。女性では、30歳代の満足度が高く、50歳代から60歳代の満足度が低いという結果になっています。

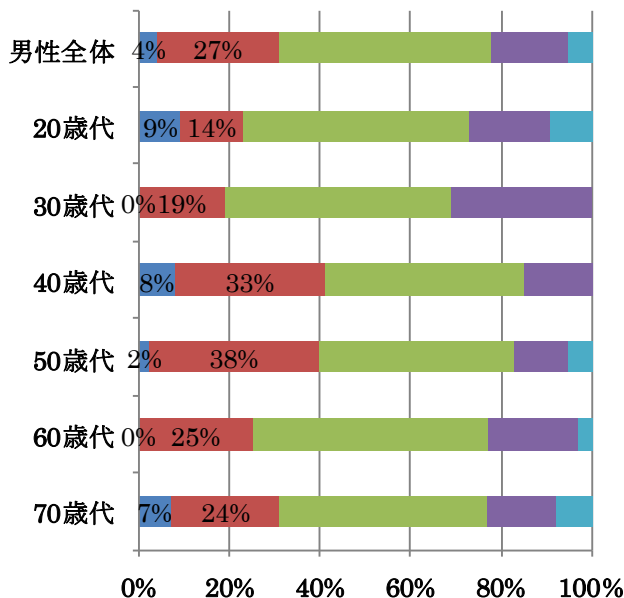
問8- (43) 「地域コミュニティが活発である」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 33%

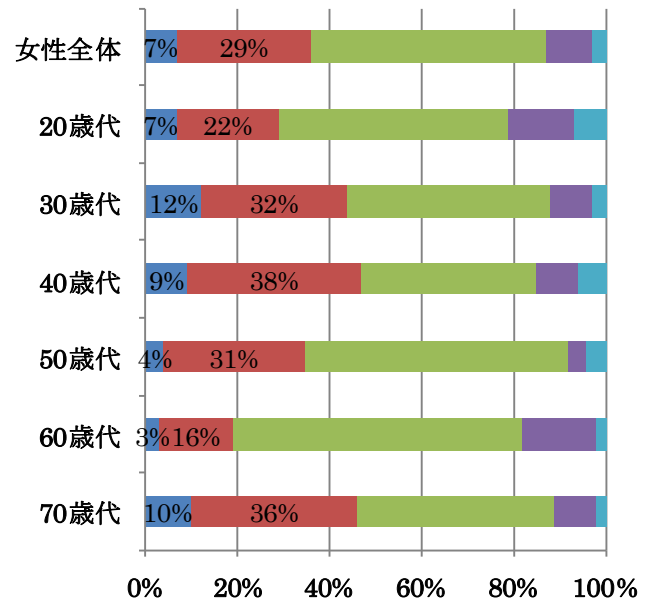
上記の値は、前回調査時と同様の33%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

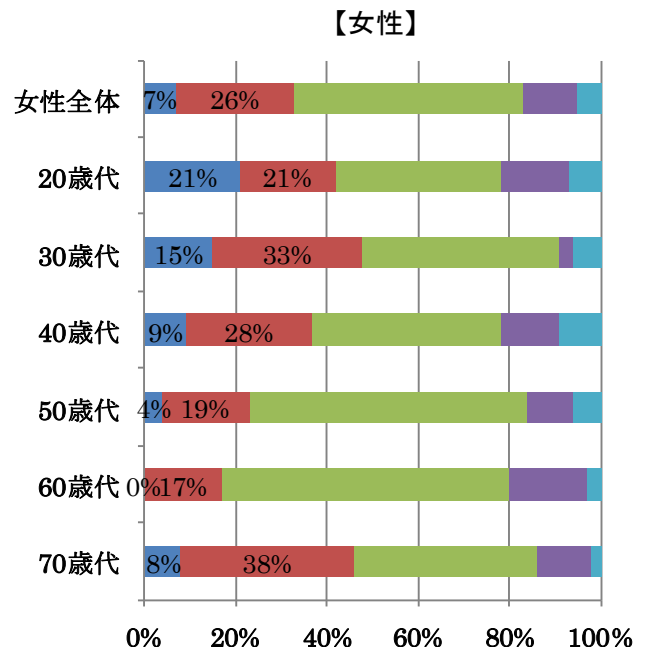
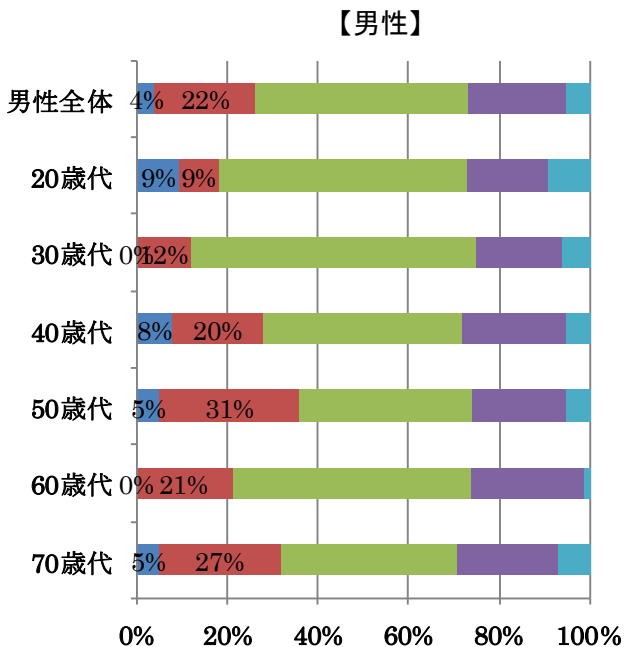
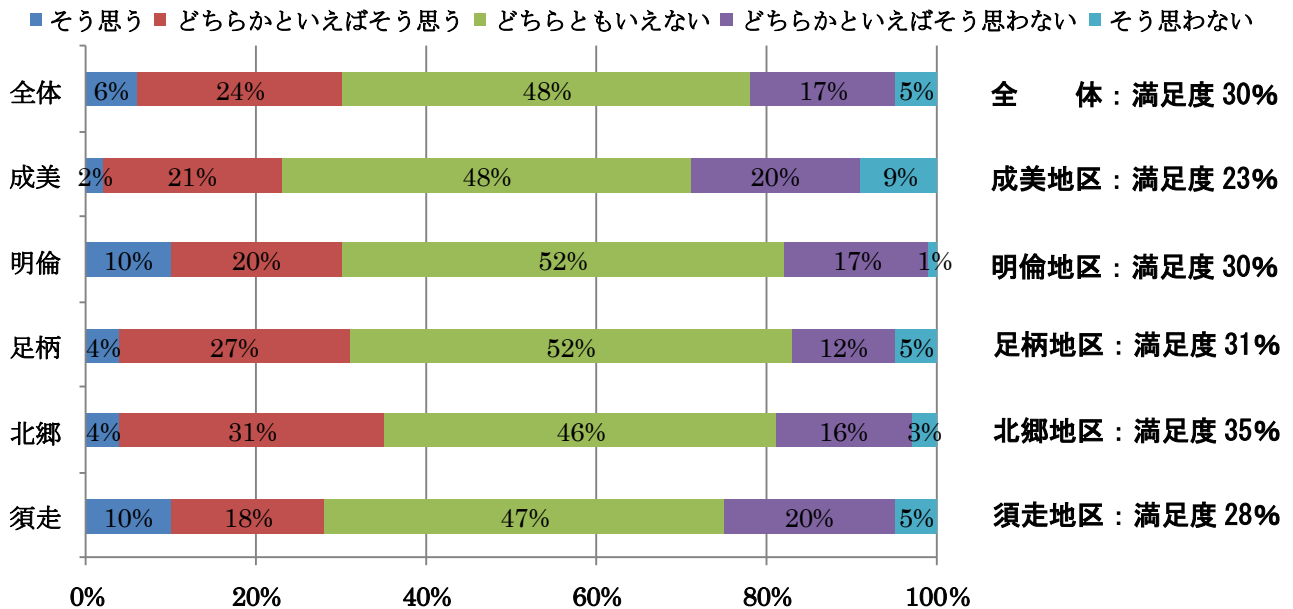


地区別の比較では、成美地区と須走地区の満足度がやや低く、北郷地区の満足度が高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、ややばらつきはあるものの、男女ともに40歳代の満足度が高く、60歳代の満足度が低い傾向にあります。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(44) 「町民が参加してまちづくりを進めている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 30%

上記の値は、前回の28%から今回の30%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

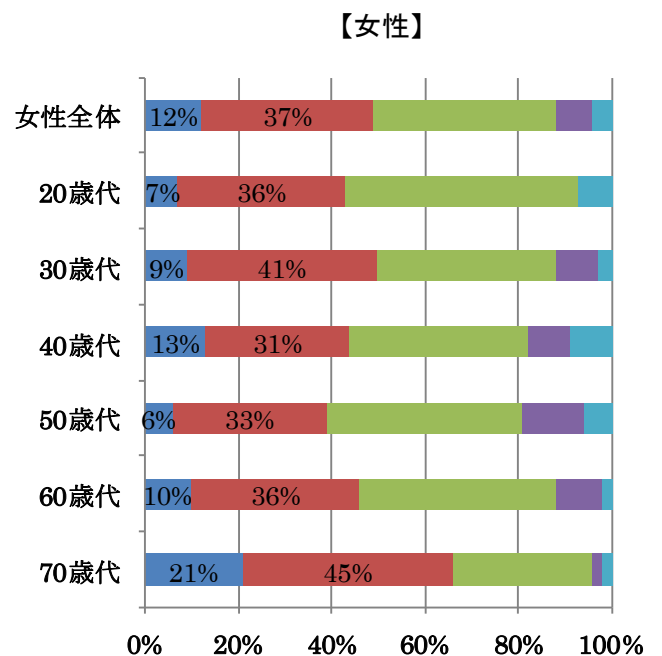
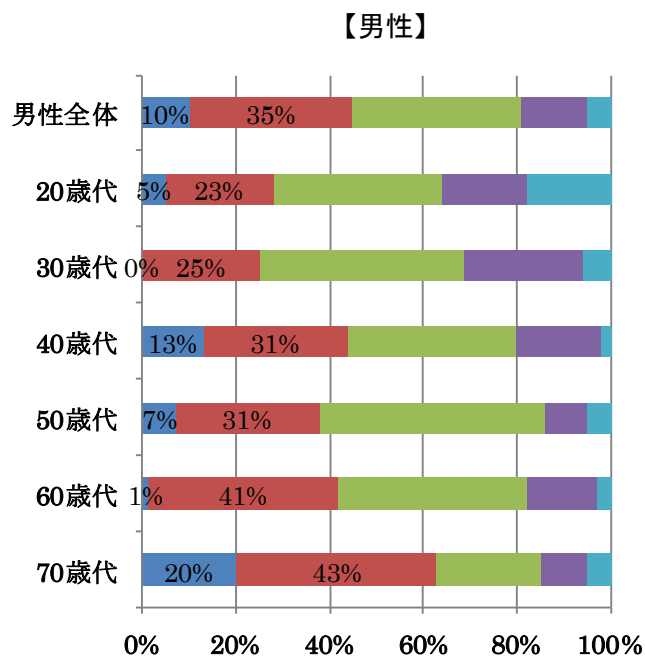
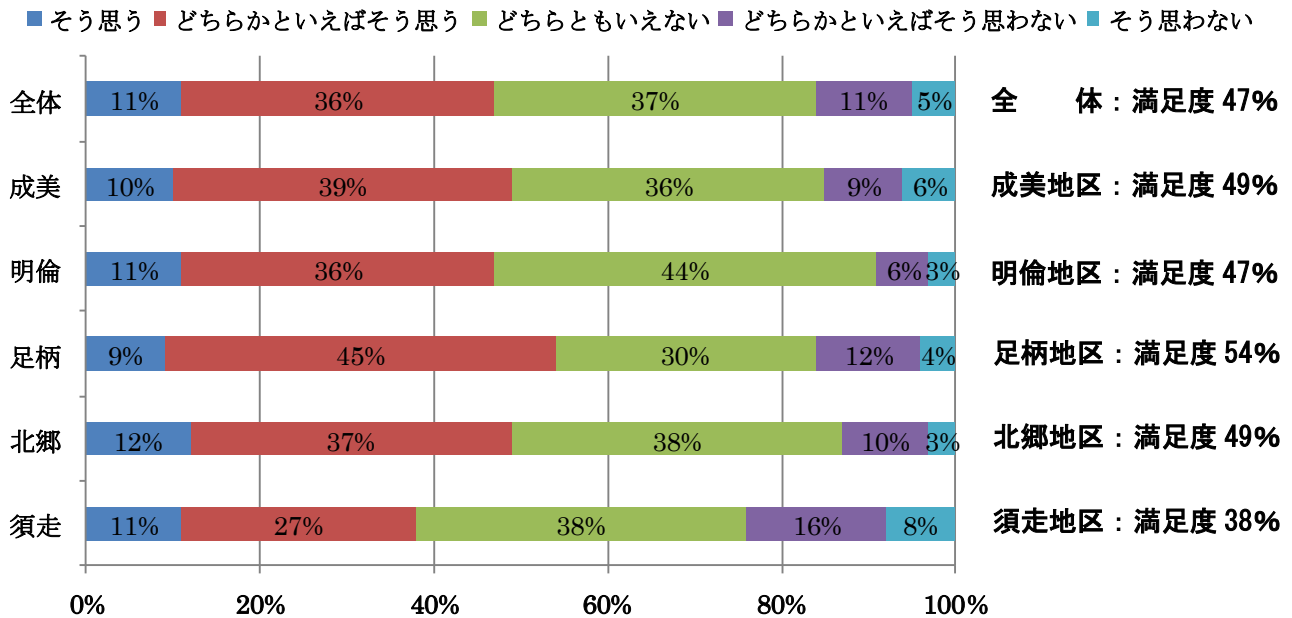


地区別の比較では、成美地区の満足度がやや低く、北郷地区の満足度が高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性より女性の方が満足度がやや高い傾向にあります。男性では20歳代と30歳代の満足度が低く、50歳代と70歳代の満足度が高い傾向にあります。女性では、20歳代から30歳代の満足度が高く、60歳代までは徐々に満足度が低くなっていき、70歳代でまた高い満足度となっています。

問8 - (45) 「役場からの必要な情報が伝わっている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 47%

上記の値は、前回の50%から今回の47%に3%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



地区別の比較では、足柄地区の満足度が高く、須走地区の満足度が低いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに70歳代の満足度が高いという結果になっています。男性では20歳代～30歳代の満足度が、40歳代以降の世代の満足度より低いという結果になっています。